

小型構造物標準図集

平成25年12月

兵庫県 土木部

小型構造物標準図集取り扱い上の注意事項

1 目的

1. 「小型構造物標準図集（以下「図集」という。）」は、兵庫県土木部が事業を実施する土木構造物の標準化、規格化を図り、土木工事の設計、積算、施工等における業務の簡素化及びコスト縮減を図るために定めたものである。

2 取り扱い

1. 「図集」は、兵庫県土木部の発注機関、兵庫県土木部発注の設計業務等委託の受託者、並びに兵庫県土木部発注の工事の受注者においてあらかじめ備え付けておくものとし、その取り扱いは次の各項によるものとする。
2. 「図集」に掲載された土木構造物を設計、積算に採用したときは、その名称、記号等を設計図書に記入するものとし、「図集」の図面は設計図書に原則添付しない。
3. 「図集」に掲載された土木構造物と「図集」に掲載されていない他の土木構造物との相互関係を明確にさせる必要があるとき及びその他必要と認めるときは、図面を設計図書に添付するものとする。
4. 「図集」に掲載されたコンクリート２次製品の寸法については、標準的なものを示したものであり、特定の製品を指定するものではない。
- また、「図集」に掲載されていないコンクリート二次製品の施工承諾願いを受注者が提出した場合は、発注機関が形状・規格・必要な強度等を確認し、認めたときに限り使用できる。

3 参考図について

1. 「図集」に掲載された参考図の使用にあたっては、主管事業課と協議すること。

4 注意事項

1. 各々の土木構造物について、設計上の注意事項及び施工上の注意事項を記載しているので、熟読のうえ誤りのないように使用すること。

5 適用

1. 「図集」は平成 25 年 12 月 1 日以降に兵庫県土木部が発注する設計業務等委託に適用する。
2. 「図集」が現場条件等により設計に使用できない場合は「土木構造物標準設計 建設省制定」及び「コンクリート二次製品 標準図集（案）平成 12 年 4 月 近畿地方整備局」を参考とする。

6 改訂等

1. 法令又は設計基準の改定等により「図集」を改訂するときは発注機関に通知する。通知を受けた発注機関は「図集」を加除修正のうえ整理一覧表に記録すること。
2. 受託者又は受注者が兵庫県土木部発注の設計業務委託又は工事に着手するときは、必ず兵庫県ホームページ等にて改訂等について確認すること。

小型構造物標準図集 加除修正 整理一覧表			
部分改訂通知（日付及び文書番号）		適用基準日	整理日
当初	平成 25 年 11 月 20 日付け	平成 25 年 12 月 1 日	平成 年 月 日
	技 企 第 1281 号		
第 1 回	平成 25 年 12 月 18 日付け	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	技 企 第 1306 号		
第 2 回	平成 26 年 1 月 31 日付け	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	技 企 第 1338 号		
第 3 回	平成 30 年 9 月 7 日付け	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	技 企 第 1159 号		
第 4 回	令和 7 年 3 月 27 日付け	令和年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 1739 号		
第 5 回	令和 年 月 日付け	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 号		
第 6 回	令和 年 月 日付け	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 号		
第 7 回	令和 年 月 日付け	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 号		
第 8 回	令和 年 月 日付け	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 号		
第 9 回	令和 年 月 日付け	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 号		
第 10 回	令和 年 月 日付け	令和 年 月 日	令和 年 月 日
	技 企 第 号		

第1章 擁壁工	1
1-1 設計上の注意事項	2
1-2 施工上の注意事項	10
1-3 図集使用例	10
(標準図)	
1-1-1 コンクリートブロック積み工	
1-1-1-1 コンクリートブロック積み	16
1-1-1-2 コンクリートブロック基礎、天端コンクリート	18
1-1-1-3 小口止(止壁)	19
1-1-1-4 小口止(隔壁)	20
1-2 現場打擁壁工	
1-2-1 現場打小型擁壁	21
1-2-2 現場打擁壁	29
1-2-3 現場打鉄止擁壁	32
第2章 側溝・水路工	33
2-1 設計上の注意事項	34
2-2 施工上の注意事項	35
2-3 街渠工及び側溝付街渠工選定フロー	36
2-4 側溝・水路の設置位置および載荷方法	37
2-5 兵庫県型浸透側溝	38
(標準図)	
2-1 街渠工	39
2-2 側溝付き街渠工	
2-2-1 側溝付き街渠	49
2-2-2 縁石一体型側溝〈参考図〉	61
2-3 側溝工	
2-3-1 U型側溝及び側溝蓋	80
2-3-2 プレキャストU型 落ちふた式U型側溝	91
2-3-3 自由勾配側溝(門型側溝)	93
2-3-4 現場打L型側溝	94
2-4 水路工	
2-4-1 プレキャストU型水路	95
2-4-2 プレキャストU型水路(U型側溝・上ぶた式U型側溝)	96
2-5 集水樹工	
2-5-1 集水樹(車輛考慮なし)	97
2-5-2 集水樹(車輛考慮あり)	98

2-6 浸透側溝工	
2-6-1 浸透樹	99
2-6-2 浸透トレンチ	100
第3章 管渠工	101
3-1 設計上の注意事項	102
3-2 施工上の注意事項	102
(標準図)	
3-1 管渠工	105
3-2 鉄筋コンクリート台付管工	108
3-3 重圧管工	109
第4章 道路付属施設工	110
(標準図)	
4-1 ガードレール基礎工	111
4-2 歩道用防護柵基礎工	113
4-3 ガードレール基礎工・歩道用防護柵基礎工〈参考図〉	114
4-4 照明工	117
4-5 標識工	120
4-6 区画線工	125
4-7 地先境界ブロック工	126
4-8 境界杭工	127
付属資料	
コンクリート2次製品(側溝・水路)の設計計算	128

第 1 章 擁 壁 工

第1章 擁壁工

1-1. 設計上の注意事項

1-1-1. コンクリートブロック積み工

1. コンクリートブロック積み工

(1) コンクリートブロック積みは、直接自動車荷重のかかる盛土部路肩での適用は行わない。

※ただし、災害復旧などで兼用護岸や既存のブロック積みを利用する場合は、直接輪荷重がかかる場合でも使用可とする。

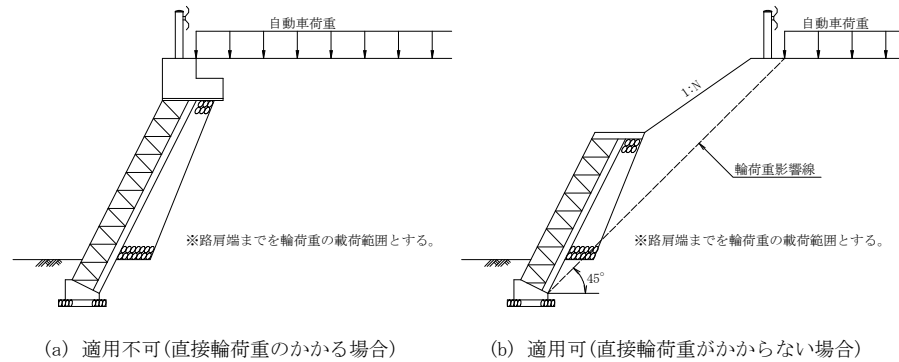


図-1 ブロック積み擁壁の適用基準

(2) コンクリートブロック積みは以下の表1のフローにより選定する。

表-1 ブロック積み形式選定フロー

		直高H(m)	背面勾配 1：N1	裏込め コンクリート厚b(m)	基礎タイプ	天端タイプ	
コンクリートブロック積み工	道路・その他	盛土	0.0<H≦1.5	1：0.3	0.05	K-2	T-2
			1.5<H≦3.0	1：0.4	0.10	K-3	T-5
			3.0<H≦5.0	1：0.5	0.15	K-4	T-8
	切土	0.0<H≦1.5	1：0.3	0.05	K-2	T-2	
		1.5<H≦3.0	1：0.3	0.10	K-3	T-3	
		3.0<H≦5.0	1：0.4	0.15	K-4	T-6	
5.0<H≦7.0		1：0.5	0.20	K-5	T-9		
河川・砂防	盛土	0.0<H≦1.5	1：0.3	無し	K-1	T-1	
		1.5<H≦3.0	1：0.4	無し	K-1	T-4	
		3.0<H≦5.0	1：0.5	無し	K-1	T-7	
	切土	0.0<H≦1.5	1：0.3	無し	K-1	T-1	
		1.5<H≦3.0	1：0.4	無し	K-1	T-4	
		3.0<H≦5.0	1：0.5	無し	K-1	T-7	
		5.0<H≦7.0	1：0.5	0.20	K-5	T-9	

※切土・盛土の区分については、一連（延長が長い場合は隔壁間）を同一条件として取り扱い、全面積の1/2以上を占める状態により切土・盛土を分けて適用する。

※河川・砂防事業（天端に管理用通路がある場合を含む）の護岸工事については、原則として裏込コンクリートを施工しない。ただし、護岸に輪荷重の影響がある場合や土質条件が悪い場合は、道路・その他の基準を適用する。河川・砂防の切土については、背面勾配が $5.0 < H \leq 7.0$ の場合、経験に基づく設計法により $b=200\text{mm}$ とする。

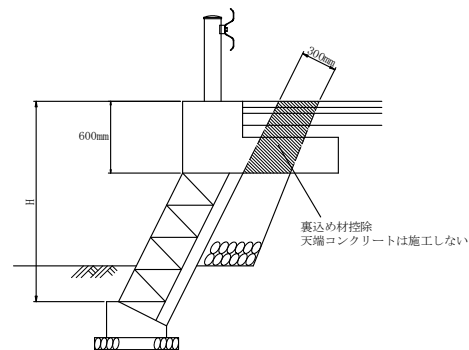
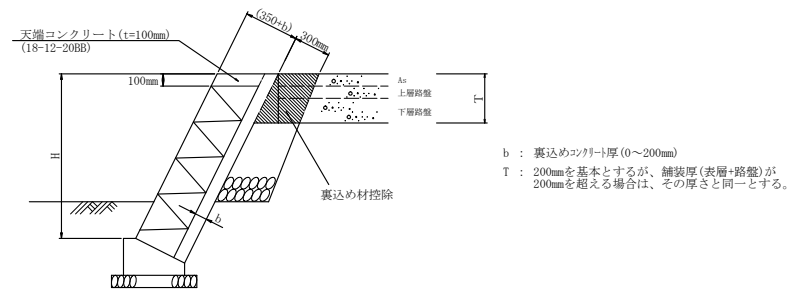
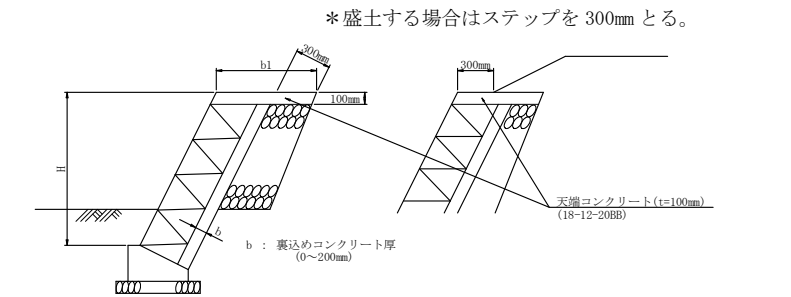
表-2 天端タイプ

記号	背面勾配 1:N1	裏込め コンクリート厚b(m)
T-1	0.3	無し
T-2		0.05
T-3		0.10
T-4		無し
T-5	0.4	0.10
T-6		0.15
T-7	0.5	無し
T-8		0.15
T-9		0.20

表-3 基礎タイプ

記号	裏込め コンクリート厚b(m)
K-1	無し
K-2	0.05
K-3	0.10
K-4	0.15
K-5	0.20

(3) コンクリートブロック積みの天端形状は、図－2を標準とする。



図－2 コンクリートブロック積みの天端形状

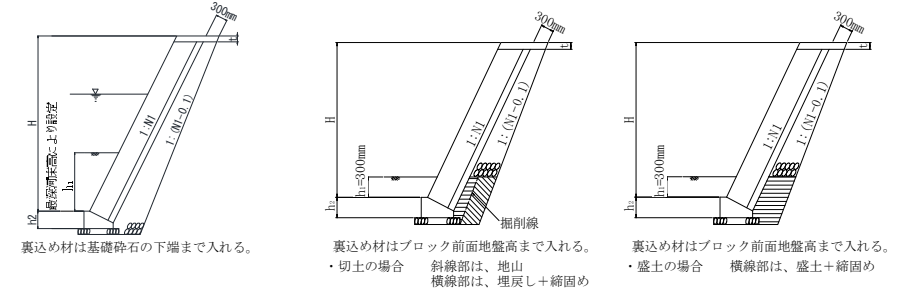
(4) コンクリートブロック積みの根入れ深さ h_1 は、図－3の通りに定める。

- ①コンクリートブロック基礎の底面が土砂で、前面に水位がある場合は、基礎工天端高を洪水時に洗掘が生じても護岸基礎の浮上りが生じないよう、過去の実績や調査研究成果等を利用して最深河床高を評価することにより設定するものとする。
- ②コンクリートブロック基礎の底面が土砂で、前面に水位がない場合は、前面地盤高から 300mm とする。
- ③軟岩（Ⅰ）に着岩させる場合は、岩表面から 500mm とする。
- ④硬岩、中硬岩、軟岩（Ⅱ）に着岩させる場合は、岩表面から 300mm とする。
- ⑤ただし、砂防指定地内河川については岩級区分によらず岩表面から 500mm とする。

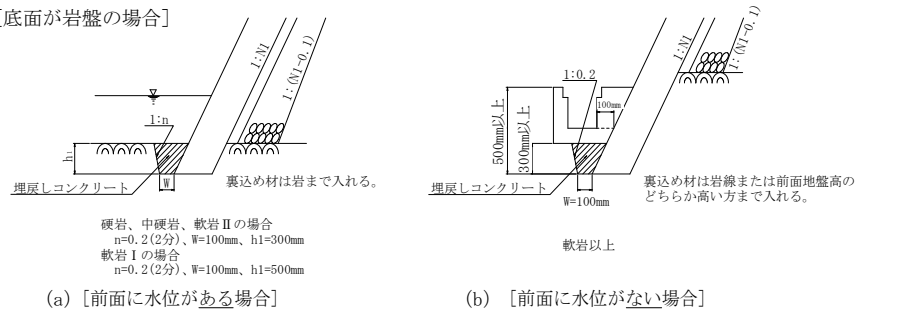
(5) 裏込め材の天端厚さ C は 300mm とする。また裏込め材の水平幅は天端厚さ（ N_1 に直角）に斜率を補正して算出する。

(6) コンクリートブロック積みの裏込め材の形状は図－3を標準とし、数量は表－4を参照するが、着岩させる場合は別途検討すること。

[底面が土砂の場合]

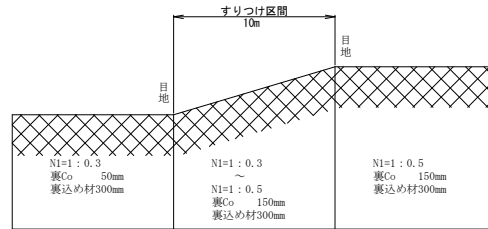


[底面が岩盤の場合]



図－3 裏込め材の形状

- (7) 伸縮目地は10 mごとに1箇所設けることを標準とする。なお、特殊な場合は、施工性等考慮のうえ1ブロック長を5 mとしてもよい。
- (8) コンクリートブロック積みの施工高さが変化するとき
前面勾配の変化のすりつけは10 m程度で行うが、裏込めコンクリート及び裏込め材は、すりつけ区間全体にわたって安全側で施工する（図－4参照）。

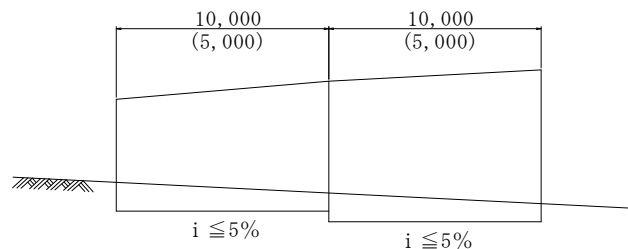


図－4 施工高さが変化するとき

- (9) 混合擁壁は、使用しない。
- (10) 環境に配慮した工法等については、「美しい山河を守る災害復旧基本指針」、「河川災害復旧護岸工法技術指針（案）」、「護岸の力学設計法」等に基づき設計する。

2. コンクリートブロック基礎、天端コンクリート

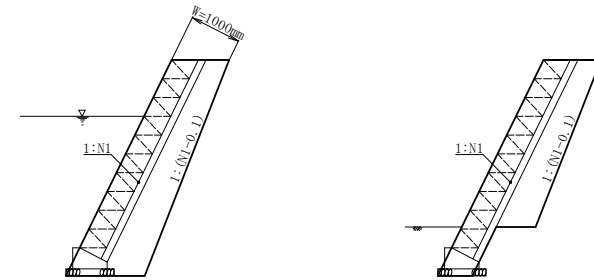
- (1) コンクリートブロック積み直高は天端コンクリートを含めて5.0 m（切土は7.0 m）以下とする。
- (2) 止壁、隔壁には、天端コンクリートを施工しない。
- (3) コンクリートブロック基礎は水平を基本とし、コンクリートブロック積みの天端勾配、地形勾配によっては基礎勾配 $i=5\%$ を限度とし、施工性、経済性を考慮して決定するものとする。
- (4) 軟岩（Ⅰ）以上ではコンクリートブロック基礎は設けない。
- (5) 現場条件（前面に水田等が位置する場合や地盤が軟弱な場合など）により必要と判断される場合は、基礎碎石に替えて均しコンクリート（ $t=10\text{cm}$ ）を使用する。



図－5 基礎勾配とブロック長

3. 小口止（止壁）

- (1) 前面に水位がある場合は厚さ T を 500 mm、天端幅 W を 1,000mm とし、コンクリートブロック基礎底面が土砂のときは、コンクリートブロック基礎の基礎材下端まで、着岩させるときはコンクリートブロック積み底面及び裏込め材底面までの形状とする。
- (2) 前面に水位がない場合は厚さ T を 300 mm とし、裏込材の形状に合わせる。



(a) 前面に水位がある場合

(b) 前面に水位がない場合

図－6 小口止（止壁）

- (1) 前面に水位がある場合は 30～50m に 1 基の割合で隔壁を設ける。
- (2) 前面に水位のない場合は隔壁を設けない。

--	--

[illegible]

(a) 前面に水位のある場合 $\{ (0.300 \times S + t \times 0.1) + (0.300 \times S + (H + h_2 + 0.100) \times 0.1) \} / 2 \times (H + h_2 + 0.100 - t) - K$

(b) 前面に水位のない場合 $\{ (C \times S + t \times 0.1) + (C \times S + (H - h_1) \times 0.1) \} / 2 \times (H - h_1 - t)$

K: 基礎部控除 0.016 (N1=0.3)、0.018 (N1=0.4)、0.020 (N1=0.5)

www.intel.com

			車込
--	--	--	----

直高 H (m)		両側壁あり H+H/2 (m)	基礎長さ2.3m(3m)															
			控除無し				天竺(3m)				歩道階階上基礎型				カーポート基礎			
			背面勾配				背面勾配				背面勾配				背面勾配			
		N1				N1				N1				N1				
10	0.2	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5		
12	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
13	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2		
14	0.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
15	0.2	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
16	0.2	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
17	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4		
18	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
19	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
20	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
21	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
22	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
23	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
24	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
25	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
26	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8		
27	1.0	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9		
28	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9		
29	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.2	1.0	1.0	1.1	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
30	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
31	2.8	-	1.3	1.3	-	1.3	1.3	-	1.1	1.2	-	1.1	1.2	-	1.1	1.1		
32	2.9	-	1.4	1.4	-	1.4	1.4	-	1.2	1.2	-	1.1	1.2	-	1.1	1.2		
33	3.0	-	1.4	1.5	-	1.4	1.4	-	1.3	1.3	-	1.2	1.2	-	1.2	1.2		
34	3.1	-	1.5	1.5	-	1.4	1.5	-	1.3	1.4	-	1.3	1.4	-	1.3	1.3		
35	3.2	-	1.5	1.6	-	1.5	1.6	-	1.4	1.4	-	1.3	1.4	-	1.3	1.4		
36	3.3	-	1.6	1.7	-	1.6	1.8	-	1.5	1.5	-	1.4	1.4	-	1.4	1.4		
37	3.4	-	1.7	1.7	-	1.6	1.7	-	1.5	1.6	-	1.5	1.6	-	1.5	1.5		
38	3.5	-	1.7	1.8	-	1.7	1.8	-	1.6	1.6	-	1.6	1.7	-	1.6	1.6		
39	3.6	-	1.8	1.9	-	1.8	1.8	-	1.7	1.7	-	1.7	1.7	-	1.7	1.6		
40	3.7	-	1.9	1.9	-	1.8	1.9	-	1.7	1.8	-	1.7	1.8	-	1.7	1.7		
41	3.8	-	1.9	2.0	-	1.9	2.0	-	1.8	1.8	-	1.7	1.8	-	1.7	1.8		
42	3.9	-	2.0	2.1	-	2.0	2.0	-	1.8	1.9	-	1.8	1.9	-	1.8	1.8		
43	4.0	-	2.1	2.1	-	2.1	2.1	-	1.9	1.9	-	1.9	1.9	-	1.9	1.9		
44	4.1	-	2.2	2.2	-	2.1	2.2	-	2.0	2.1	-	1.9	2.0	-	1.9	2.0		
45	4.2	-	2.2	2.3	-	2.2	2.3	-	2.1	2.1	-	2.0	2.1	-	2.0	2.1		
46	4.3	-	2.3	2.4	-	2.3	2.3	-	2.2	2.2	-	2.1	2.1	-	2.1	2.1		
47	4.4	-	2.4	2.4	-	2.4	2.4	-	2.3	2.3	-	2.2	2.2	-	2.2	2.2		
48	4.5	-	2.5	2.5	-	2.4	2.5	-	2.3	2.4	-	2.2	2.3	-	2.2	2.3		
49	4.6	-	2.5	2.6	-	2.5	2.6	-	2.4	2.4	-	2.3	2.4	-	2.3	2.4		
50	4.7	-	2.6	2.7	-	2.6	2.6	-	2.5	2.5	-	2.4	2.5	-	2.4	2.4		
51	4.8	-	2.6	2.8	-	2.7	2.7	-	2.6	2.6	-	2.5	2.6	-	2.5	2.5		
52	4.8	-	2.7	2.8	-	2.7	2.8	-	2.7	2.7	-	2.6	2.7	-	2.6	2.7		
53	5.0	-	2.9	-	-	2.9	-	-	2.8	-	-	2.8	-	-	2.8	-		
54	5.1	-	3.0	-	-	3.0	-	-	2.9	-	-	2.9	-	-	2.9	-		
55	5.2	-	3.1	-	-	3.1	-	-	3.0	-	-	3.0	-	-	3.0	-		
56	5.3	-	3.2	-	-	3.2	-	-	3.1	-	-	3.1	-	-	3.1	-		
57	5.4	3.3	-	-	-	3.2	-	-	3.1	-	-	3.0	-	-	2.9	-		
58	5.5	-	3.4	-	-	3.3	-	-	3.2	-	-	3.1	-	-	3.0	-		
59	5.6	3.4	-	-	-	3.4	-	-	3.3	-	-	3.2	-	-	3.1	-		
60	5.7	-	3.5	-	-	3.5	-	-	3.4	-	-	3.3	-	-	3.2	-		
61	5.8	-	3.6	-	-	3.6	-	-	3.5	-	-	3.4	-	-	3.3	-		
62	5.9	-	3.7	-	-	3.7	-	-	3.6	-	-	3.5	-	-	3.4	-		
63	6.0	-	3.8	-	-	3.8	-	-	3.7	-	-	3.6	-	-	3.5	-		
64	6.1	-	3.9	-	-	3.9	-	-	3.8	-	-	3.7	-	-	3.6	-		
65	6.2	-	4.0	-	-	4.0	-	-	3.9	-	-	3.8	-	-	3.7	-		
66	6.3	-	4.1	-	-	4.1	-	-	4.0	-	-	3.9	-	-	3.8	-		
67	6.4	-	4.2	-	-	4.2	-	-	4.0	-	-	4.0	-	-	4.0	-		
68	6.5	-	4.3	-	-	4.3	-	-	4.1	-	-	4.1	-	-	4.1	-		
69	6.6	-	4.4	-	-	4.4	-	-	4.2	-	-	4.2	-	-	4.2	-		
70	6.7	-	4.5	-	-	4.5	-	-	4.3	-	-	4.3	-	-	4.3	-		

1-1-2. 現場打擁壁工

1. 現場打擁壁工の設計条件

- (1)「図集」を適用するにあたっての設計条件および土質条件は、表－5、表－6とする。
- (2)滑動摩擦係数 μ の値は 0.6 とするが、これにより難い場合は、「道路土工 擁壁工指針」等を参考に別途検討する。
- (3)地盤の許容支持力度は 200kN/㎡以上で直接基礎とするが、これにより難い場合は別途検討する。
- (4)擁壁の直接基礎の根入れ深さは、地表面から支持地盤までの深さとし、原則として 500 mm以上は確保するものとする。また、中位の砂質地盤（N値 20～30）において高さ 2.5 m以上の現場打擁壁を設ける場合には、擁壁高さの 0.2 倍以上の十分な根入れ深さを確保するのが望ましい。上記によりがたい場合は、「道路土工 擁壁工指針」等を参考に別途設計する必要がある。
- (5)基礎材については、再生切込碎石を標準とする。
- (6)遮水性を必要とする箇所でも均しコンクリートを基礎材として用いる場合は、上記(2)の条件を適用する。

2. タイプの選定

- (1)現場打小型擁壁は、擁壁高さが 2.0 m 以下で歩道に面した場所、のり尻擁壁および境界壁等に利用する。この際、擁壁背面の盛土水平部分に載荷重 $q = 3.5\text{kN/㎡}$ （群集荷重）を考慮している場合と、考慮していない場合がある。
- (2)現場打ち擁壁は、直接輪荷重 $q = 10\text{kN/㎡}$ の影響を考慮する場合に利用する（図－9）。
- (3)現場打小型擁壁および現場打擁壁は、図－10. 図面検索と利用の流れ、図－11. タイプ選定フローにより、表－7から選定する。なお、前面勾配、擁壁高さ、滑動摩擦係数、裏込め土等、「図集」によりがたい場合には、「土木構造物標準設計 建設省」を参照のこと。また、高さが 5.0 m を越える場合等は、経済性等勘案の上、安定計算により工法を決定するものとする。
- (4)中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用する。
- (5)高さ比 1 を越える場合、全盛土高（ $h + H$ ）が 15 m 程度以下までは高さ比 1 の条件を使用してもよい。
- (6)高さが変化する場合で、擁壁延長方向に連続施工する場合は、背面の型枠のねじれを防ぐため現場における最大高さを基準として選定する。なお、鉛直方向に伸縮目地を入れ擁壁背面勾配を変化させる場合はこの限りでない。
- (7)1 ブロックにおいて背面の盛土高さが変化する場合、その盛土高さの範囲で利用できる形状寸法の最大のものを選定する。
- (8)法尻に現場打鉄止擁壁を設けるときは、小段（泥上げ）がある場合 K101 型を、小段がない場合 K102 型を使用する。

3. その他

- (1)現場打擁壁工の 1 ブロック長は 10 m を標準とする。なお、特殊な場合は、施工性等考慮のうえ 1 ブロック長を 5 m としてもよい。（図－7）

- (2)伸縮目地は、目地材のみを用いた目地構造を標準とする。（図－8（b））

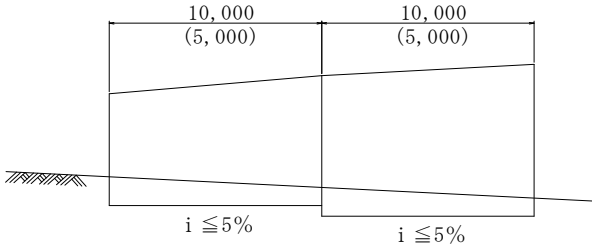
なお、壁体の一部が水路、または、常に浸水をうけており、擁壁背面への漏えいを防ぐ必要のあるとき、または、背面からの湧水や浸透水が、目地を通して流出すると考えられる場合は、伸縮目地に止水板を併用する構造（図－8（a））とする。

- (3)収縮目地（施工目地）は、コンクリート表面に深さ約 1.5cm 切みぞを付けた目地構造を標準とする。（図－8（c））

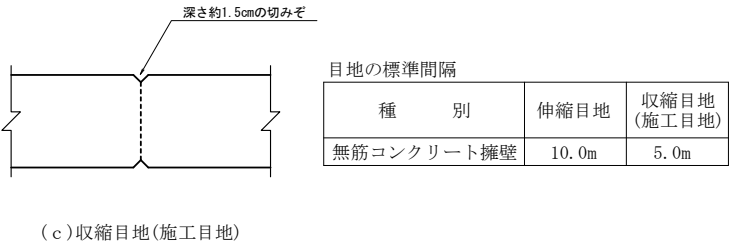
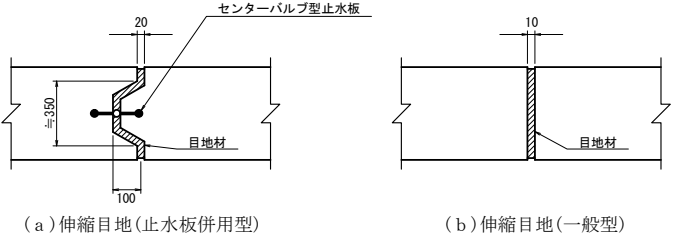
また、温度変化や乾燥収縮によりひび割れが生じやすい箇所については、ひび割れ誘発目地等による対策の検討を行うものとする。

- (4)現場打擁壁前面に歩道などがある場所で前面勾配 0.0 を利用する場合は、圧迫感緩和のため前面勾配に 1 : 0.02 の傾きを設ける。このとき現場打擁壁の断面形状は、背面勾配を 0.02 減じて底幅を同じとする。なお、安定計算等の必要はない。

- (5)現場打擁壁の基礎は水平を基本とし、擁壁の天端勾配、地形勾配によっては基礎勾配 $i = 5\%$ を限度とし、施工性、経済性を考慮して決定するものとする。（図－7）



図－7 基礎勾配とブロック長



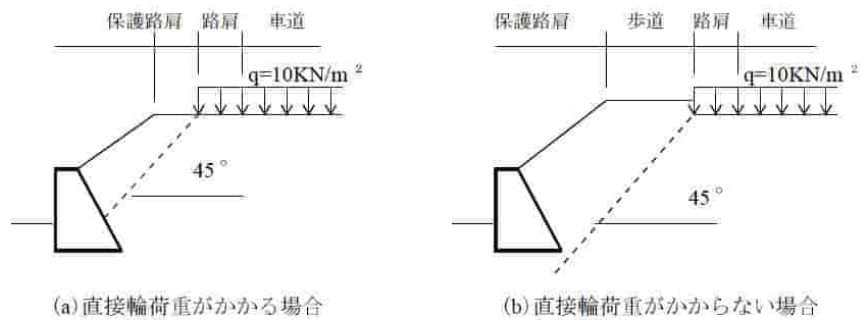
図－8 伸縮目地と収縮目地の構造

表－５ 設計条件

設計条件	現場打小型擁壁	現場打擁壁
コンクリート単重	23kN/m ³	23kN/m ³
載 荷 重	0.0 または 3.5kN/m ²	10kN/m ²
擁 壁 高	0.5～2.0 m	1.0～3.0 m
前 面 勾 配	0.0 または 0.2	0.0
許 容 支 持 力 度	200kN/m ²	200kN/m ²
滑 動 摩 擦 係 数	0.6	0.6

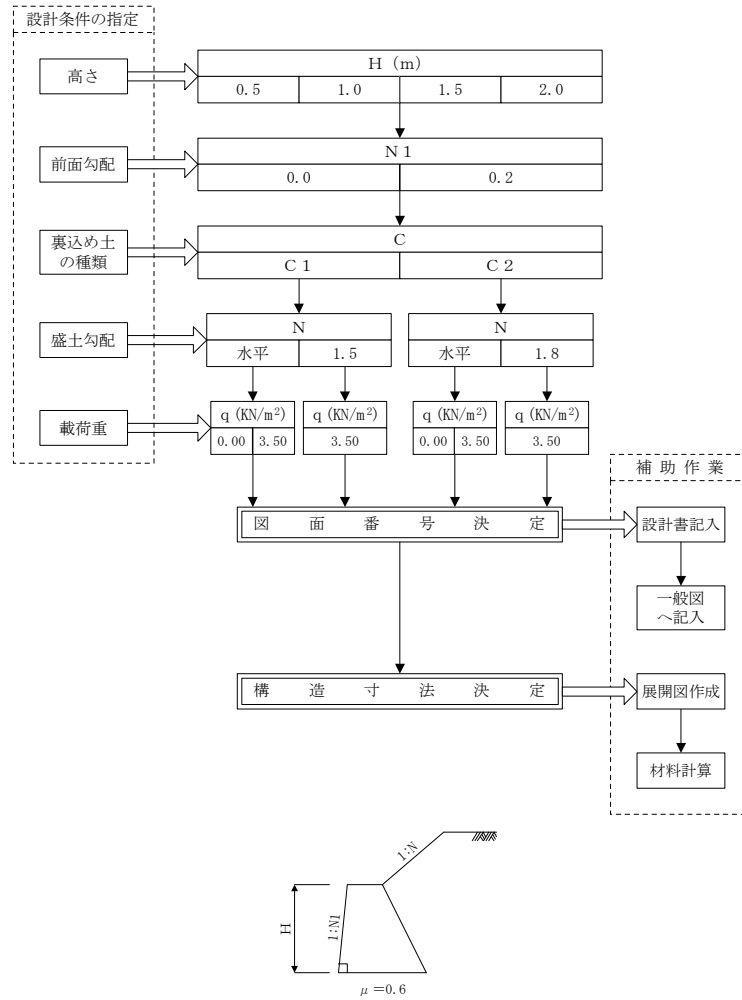
表－６ 土質条件

裏込め土の種類	小型構造物図集での呼称	せん断抵抗角 ϕ (度)	単位体積重量 γ (kN/m ³)
礫 質 土	C 1	35	20
砂 質 土	C 2	30	19



図－９ 輪荷重の考え方

(1) 現場打小型擁壁



(2) 現場打擁壁

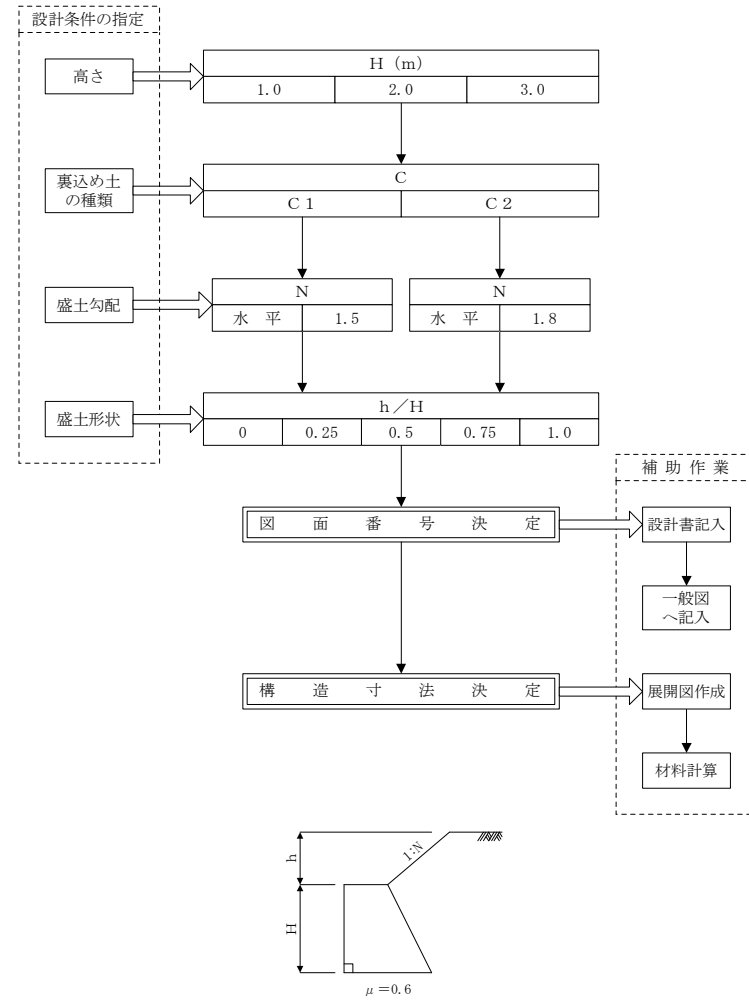


図-10 現場打小型擁壁および現場打擁壁の図面の検索と利用の流れ

表－７ 現場打小型擁壁および現場打擁壁図面番号索引表

(1) 現場打小型擁壁図面番号索引表

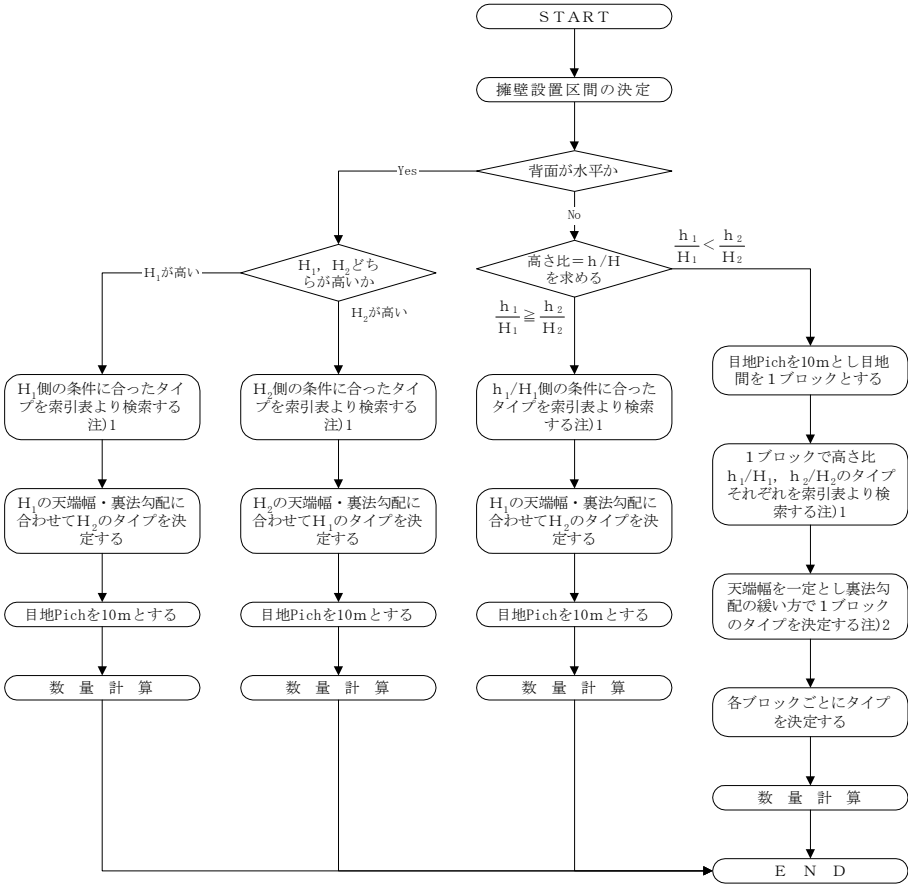
擁壁高 H(m)		前面勾配 N1	背面勾配 N2	高さ比 h/H	土留間 B(m)	$\mu = 0.6$				
						C 1		C 2		
						水平	1:1.5	水平	1:1.8	
						0.00	1.00	0.00	1.00	
						0.00	3.50	3.50	0.00	3.50
0.50	0.0	20	0.30	SGW1	SGW2	SGW2	SGW2	SGW2	SGW2	SGW3
	0.2	24	0.35	SGW4	SGW4	SGW4	SGW4	SGW4	SGW4	SGW5
1.00	0.0	21	0.40	SGW16	SGW16	SGW16	SGW16	SGW16	SGW16	SGW19
	0.2	25	0.25	SGW20	SGW20	SGW20	SGW20	SGW20	SGW20	SGW22
1.50	0.0	22	0.30	SGW40	SGW40	SGW40	SGW40	SGW40	SGW40	SGW44
	0.2	26	0.65	SGW46	SGW46	SGW46	SGW46	SGW46	SGW46	SGW47
2.00	0.0	23	1.00	SGW68	SGW68	SGW68	SGW68	SGW68	SGW68	SGW71
	0.2	27	0.70	SGW72	SGW72	SGW72	SGW72	SGW72	SGW72	SGW75

(2) 現場打擁壁図面番号索引表

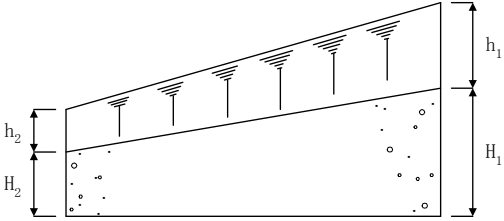
擁壁高 H(m)		前面勾配 N1	背面勾配 N2	高さ比 h/H	土留間 B(m)	$\mu = 0.6$				
						C 1		C 2		
						水平	1:1.5	水平	1:1.8	
						0.00	0.25	0.50	0.75	1.00
1.00	0.0	28	0.60	GW1	GW1	GW1	GW1	GW1	GW1	GW1
2.00	0.0	29	1.40	GW15	GW15	GW15	GW15	GW15	GW15	GW15
3.00	0.0	30	2.00	GW35	GW35	GW35	GW35	GW35	GW35	GW35

(注)

SGW68 : 内の番号は断面形状に対する構造図番号を表す。
 : 標準設計の適用範囲外であることを表す。



注1. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用する。
注2. H_1 , H_2 の天端幅がそれぞれ異なる場合は、天端幅が広い方を採用する。



図－１１ 現場打小型擁壁および現場打擁壁のタイプ選定フロー

現場打擁壁では、基礎地盤を水平とした場合、高さの変化する条件として図－13のような二通りが考えられる。(1)は高さ比が一定あるいは高さの低くなる方向にしたがって高さ比 (h/H) が小さくなる場合で、(2)は高さの低くなる方向にしたがって高さ比が大きくなる場合である。(1)の場合には高さ H_1 に対する構造寸法のものを使用し、高さ H_2 まですりつければよい。また、(2)の場合には H_1 、 H_2 それぞれの高さに対する構造寸法のことを比較して背面勾配を緩い方に合わせる。



本例の場合、高さ 3.0 m に対する構造寸法を使用し、擁壁の下部を随時切断することによって高さ 1.0 m まですりつける。

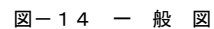


表-12の索引表から設計条件の擁壁高、裏込め土の種類、盛土勾配、高さ比に該当する断面形状番号を決定する。

断面形状番号は GW35 となる。



② 材料計算

伸縮目地を10mに1箇所設けるため1ブロック10mとし、材料数量は各ブロックについて平均して求める。

表-13 材 料 計 算

項 目	規 格	単位	材 料	摘 要
コンクリート	18-8-40BB	m ³	①ブロック 1m当り : V a = 3.600m ³ /m : V b = 2.663m ³ /m ①ブロック当り : (3.600+2.663)/2×10.00 m = 31.3m ³	
			②ブロック 1m当り : V b = 2.663m ³ /m : V c = 1.870m ³ /m ②ブロック当り : (2.663+1.870)/2×10.00 m = 22.7m ³	
			③ブロック 1m当り : V c = 1.870m ³ /m : V d = 1.200m ³ /m ③ブロック当り : (1.870+1.200)/2×10.00 m = 15.4m ³	
			④ブロック 1m当り : V d = 1.200m ³ /m : V e = 0.665m ³ /m ④ブロック当り : (1.200+0.665)/2×10.00 m = 9.3m ³	
			合 計 = 78.7m ³	
			①ブロック 1m当り : A a = 6.400m ² /m : A b = 5.332m ² /m ①ブロック当り : (6.400+5.332)/2×10.00 m = 58.7m ²	
			②ブロック 1m当り : A b = 5.332m ² /m : A c = 4.268m ² /m ②ブロック当り : (5.332+4.268)/2×10.00 m = 48.0m ²	
			③ブロック 1m当り : A c = 4.268m ² /m : A d = 3.200m ² /m ③ブロック当り : (4.268+3.200)/2×10.00 m = 37.3m ²	
			④ブロック 1m当り : A d = 3.200m ² /m : A e = 2.132m ² /m ④ブロック当り : (3.200+2.132)/2×10.00 m = 26.7m ²	
			端部型枠 : 3.600m ² +0.665m ² = 4.3m ²	
型 枠	無筋構造物	m ²	合 計 = 175.0m ²	
			①ブロック 1m当り : A a = 6.400m ² /m : A b = 5.332m ² /m ①ブロック当り : (6.400+5.332)/2×10.00 m = 58.7m ²	
			②ブロック 1m当り : A b = 5.332m ² /m : A c = 4.268m ² /m ②ブロック当り : (5.332+4.268)/2×10.00 m = 48.0m ²	
			③ブロック 1m当り : A c = 4.268m ² /m : A d = 3.200m ² /m ③ブロック当り : (4.268+3.200)/2×10.00 m = 37.3m ²	
			④ブロック 1m当り : A d = 3.200m ² /m : A e = 2.132m ² /m ④ブロック当り : (3.200+2.132)/2×10.00 m = 26.7m ²	
			端部型枠 : 3.600m ² +0.665m ² = 4.3m ²	
			合 計 = 175.0m ²	
			①ブロック 1m当り : A a = 6.400m ² /m : A b = 5.332m ² /m ①ブロック当り : (6.400+5.332)/2×10.00 m = 58.7m ²	
			②ブロック 1m当り : A b = 5.332m ² /m : A c = 4.268m ² /m ②ブロック当り : (5.332+4.268)/2×10.00 m = 48.0m ²	
			③ブロック 1m当り : A c = 4.268m ² /m : A d = 3.200m ² /m ③ブロック当り : (4.268+3.200)/2×10.00 m = 37.3m ²	

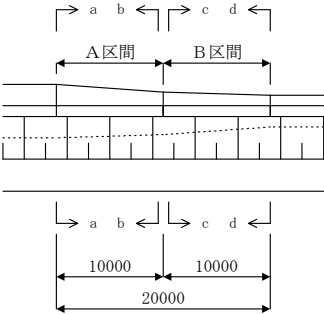
項 目	規 格	単位	材 料	摘 要
基 礎 材	再生切込砕石 RC-40 (t=0.2m)	m ²	①ブロック 1m当り : A a = 2.200m ² /m : A b = 1.930m ² /m ①ブロック当り : (2.200+1.930)/2×10.00 m = 20.7m ²	
			②ブロック 1m当り : A b = 1.930m ² /m : A c = 1.670m ² /m ②ブロック当り : (1.930+1.670)/2×10.00 m = 18.0m ²	
			③ブロック 1m当り : A c = 1.670m ² /m : A d = 1.400m ² /m ③ブロック当り : (1.670+1.400)/2×10.00 m = 15.4m ²	
			④ブロック 1m当り : A d = 1.400m ² /m : A e = 1.130m ² /m ④ブロック当り : (1.400+1.130)/2×10.00 m = 12.7m ²	
			端部 : 2.200m ² /m×0.10 m = 0.2m ² 端部 : 1.130m ² /m×0.10 m = 0.1m ²	
			合 計 = 67.1m ²	
			①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
			①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
目 地 材	t=10 mm	m ²	①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
			①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
			①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
			①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
			①～②ブロック : (0.400 m+1.733 m)/2×2.50 m = 2.7m ² ②～③ブロック : (0.400 m+1.467 m)/2×2.00 m = 1.9m ² ③～④ブロック : (0.400 m+1.200 m)/2×1.50 m = 1.2m ²	
			合 計 = 5.8m ²	
水 抜	道路、その他 VP φ 75 河川・砂防 VU φ 75	m	1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	2.0m ² に1箇所 設ける
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	
			1箇所当りパイプ長 : (3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 m (1.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 0.667 m (0.400m+1.733m+0.400m+0.667m)/4 = 0.800 m 延長当り箇所数 : (2.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 × 40.00m/2.0m ² = 30 箇所 延長当りパイプ長 : 30 箇所×0.800 m = 24.0 m	

(2) 高さの低くなる方向にしたがって高さ比が大きくなる場合

① 図面の検索

図－１６に示す区間に現場打擁壁を設ける場合、設計条件を表－１４のとおりとすれば、標準図は以下のように検索でき、構造寸法は図－１７のようになる。

なお、伸縮目地を10 mに1箇所設けるため、1ブロック10 mとする。



図－１６ 一般図

表－１４ 設計条件

擁壁高	1.00m～3.00m
裏込め土の種類	C 1 (礫質土)
盛土勾配	1.5
高さ比	1.00～0.25
前面勾配	0.00
擁壁延長	20.0 m

図－１６のＡ区間を例にとって図面の検索方法および断面形状の決定方法について説明する。

(a) a－aおよびb－b断面それぞれの設計条件を満足するものを表－１５の索引表により検索する。

使用図面はa－a断面は断面形状番号GW35、b－b断面は断面形状番号GW15となり、構造寸法関係は図－１７に示すとおりである。

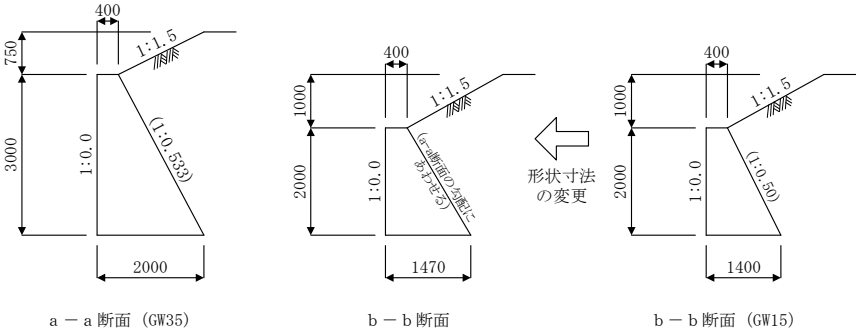
表－１５

索引表 (a－a断面のH=3.0 mに対して)

擁壁高 H (m)	前面勾配 N1	盛土勾配 N	高さ比 h/H B (m)	滑动摩擦係数 μ		0.6				
				裏込め土の種類		C 1				
				水平		1 : 1.5				
				0.00		0.25	0.50	0.75	1.00	
3.00	0.0	30	2.00	GW35	GW35	GW35	GW35			
			2.20							
			2.40							

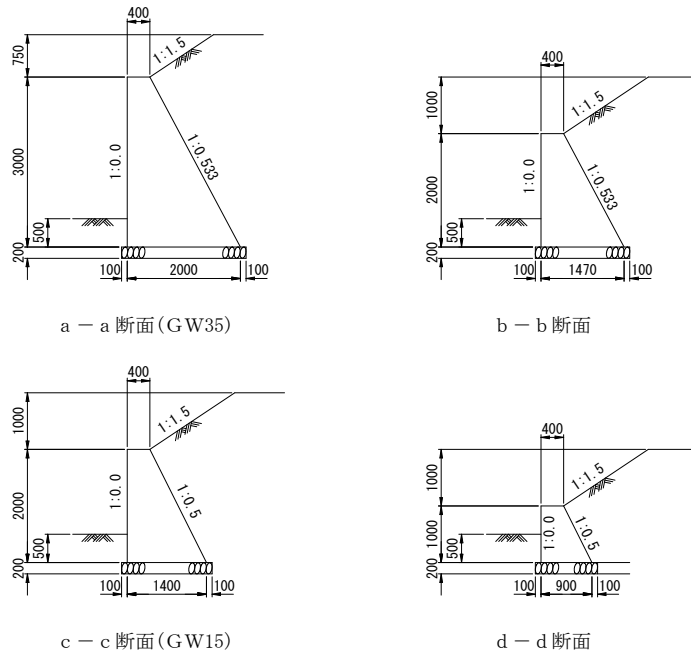
索引表 (b－b断面のH=2.0 mに対して)

擁壁高 H (m)	前面勾配 N1	盛土勾配 N	高さ比 h/H B (m)	滑动摩擦係数 μ		0.6				
				裏込め土の種類		C 1				
				水平		1 : 1.5				
				0.00		0.25	0.50	0.75	1.00	
2.00	0.0	29	1.40	GW15	GW15	GW15	GW15	GW15	GW15	
			1.60							



図－１７ 断面図

(b) GW35 と GW15 を比較した場合、擁壁の背面勾配がちがうため型枠のねじれが生ずる。そこで、GW35 の勾配の方が緩いので、この勾配に合わせて GW15 の断面形状を図－17 のように変更する。B 区間についても以上と同様な作業を行い、断面形状を決定する。図－18 にその結果を示す。



図－18 断面図

材料数量は各ブロックについて平均して求める。

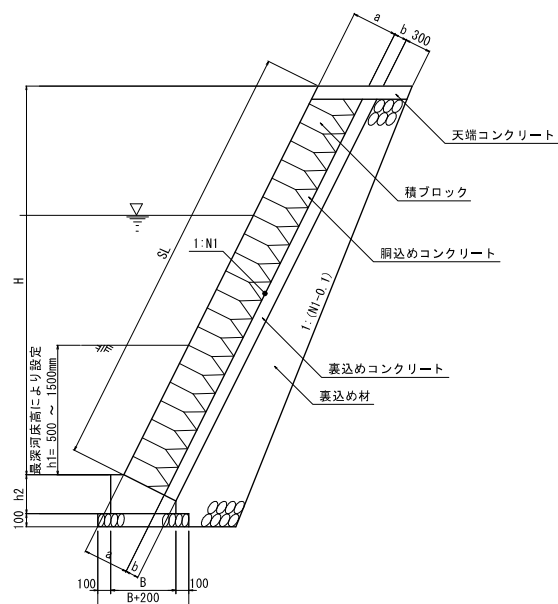
表-16 材料計算

項 目	規 格	単位	材 料	摘 要
コンクリート	18-8-40BB	m ³	①ブロック (A 区間) 1 m 当り : V a = 3.600m ³ /m : V b = 1.870m ³ /m ①ブロック 当り : (3.600 + 1.870) / 2 × 10.00 m = 27.4m ³ ②ブロック (B 区間) 1 m 当り : V c = 1.800m ³ /m : V d = 0.650m ³ /m ②ブロック 当り : (1.800 + 0.650) / 2 × 10.00 m = 12.3m ³ 合 計 = 39.7m ³	
型 枠	無筋構造物	m ²	①ブロック (A 区間) 1 m 当り : A a = 6.400m ² /m : A b = 4.268m ² /m ①ブロック 当り : (6.400 + 4.268) / 2 × 10.00 m = 53.3m ² ②ブロック (B 区間) 1 m 当り : A c = 4.236m ² /m : A d = 2.118m ² /m ②ブロック 当り : (4.236 + 2.118) / 2 × 10.00 m = 31.8m ² 端部型枠 : 3.600m ² + 1.870m ² - 1.800m ² + 0.650m ² = 4.3m ² 合 計 = 89.4m ²	
基 礎 材	再生切込砕石 RC-40 (t=0.2m)	m ²	①ブロック (A 区間) 1 m 当り : A a = 2.200m ² /m : A b = 1.670m ² /m ①ブロック 当り : (2.200 + 1.670) / 2 × 10.00 m = 19.4m ² ②ブロック (B 区間) 1 m 当り : A c = 1.600m ² /m : A d = 1.100m ² /m ②ブロック 当り : (1.600 + 1.100) / 2 × 10.00 m = 13.5m ² 端部 : 2.200m ² /m × 0.10 m = 0.2m ² 端部 : 1.100m ² /m × 0.10 m = 0.1m ² 合 計 = 33.2m ²	
目 地 材	t = 10 mm	m ²	①～②ブロック : (0.400 m + 1.400 m) / 2 × 2.00 m = 1.8m ² 合 計 = 1.8m ²	

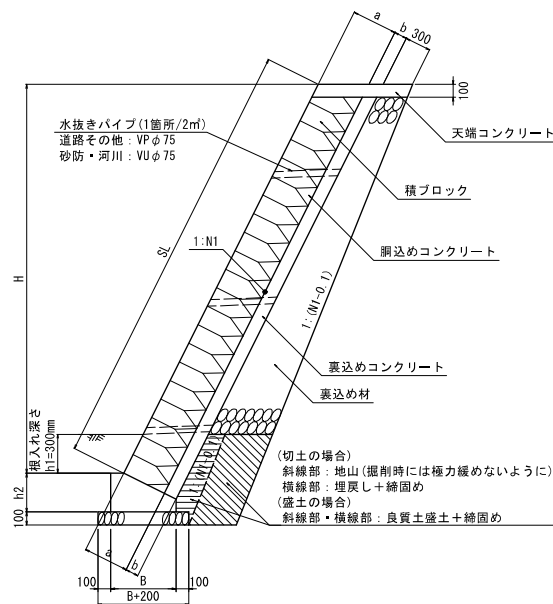
項 目	規 格	単位	材 料	摘 要
水抜パイプ	道路、その他 VPφ75 河川・砂防 VUφ75	m	①ブロック(A区間) 1ヶ所当りパイプ長：(3.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.733 (2.0-0.5) × 0.533 + 0.4 = 1.200 (0.400m+1.733m+0.400m+1.200m)/4 = 0.933 m ブロック長当り箇所数：(2.500m ² /m+1.500m ² /m)/2 ×10.00m/2.0m ² = 10 箇所 ブロック当りパイプ長：10 箇所×0.933 m = 9.3 m	2.0m ² に1箇所 設ける
			②ブロック(B区間) 1ヶ所当りパイプ長：(2.0-0.5) × 0.500 + 0.4 = 1.150 (1.0-0.5) × 0.500 + 0.4 = 0.650 (0.400m+1.150m+0.400m+0.650m)/4 = 0.650 m ブロック長当り箇所数：(1.500m ² /m+0.500m ² /m)/2 ×10.00m/2.0m ² = 5 箇所 ブロック当りパイプ長：5 箇所×0.650 m = 3.3 m	
			合 計 = 12.6 m	

コンクリートブロック積み 道路・その他

前面に水位がある場合



前面に水位がない場合



寸法及び材料表

背面	直高 H (m)	控長 a (mm)	裏込め コンクリート厚さ b (mm)	コンクリート ブロック基礎高 h2 (mm)	法長 SL (mm)		
					N1 (前面勾配)		
					1 : 0.3	1 : 0.4	1 : 0.5
盛土	1.00	350	50	280	1,044	(1,077)	(1,118)
	1.50	350	50	280	1,566	(1,616)	(1,677)
	2.00	350	100	300	—	2,154	(2,236)
	2.50	350	100	300	—	2,693	(2,795)
	3.00	350	100	300	—	3,231	(3,354)
	3.50	350	150	350	—	—	3,913
	4.00	350	150	350	—	—	4,472
	4.50	350	150	350	—	—	5,031
切土	5.00	350	150	350	—	—	5,590
	1.00	350	50	280	1,044	(1,077)	(1,118)
	1.50	350	50	280	1,566	(1,616)	(1,677)
	2.00	350	100	300	2,088	(2,154)	(2,236)
	2.50	350	100	300	2,610	(2,693)	(2,795)
	3.00	350	100	300	3,132	(3,231)	(3,354)
	3.50	350	150	350	—	3,770	(3,913)
	4.00	350	150	350	—	4,308	(4,472)
	4.50	350	150	350	—	4,847	(5,031)
	5.00	350	150	350	—	5,385	(5,590)
	5.50	350	200	400	—	—	6,149
	6.00	350	200	400	—	—	6,708
	6.50	350	200	400	—	—	7,267
	7.00	350	200	400	—	—	7,826

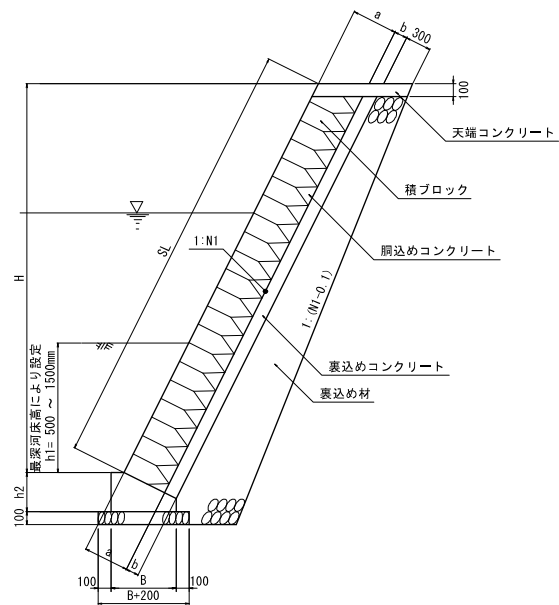
注1. () 内はすりつけ区間使用する。

- 基礎工天端高は、洪水時に洗掘が生じても護岸基礎の浮き上がりが生じないように過去の実績や調査研究成果等を利用して、洪水時に推定される最大洗掘深を考慮して設定した最深河床の評価高とする。
最深河床高の評価方法としては、過去の実績や調査研究成果等を基にした次の方法により推定するのが一般的である。
 - ・方法1：経年的な河床変動からの評価
 - ・方法2：既往研究成果からの評価
 - ・方法3：数値計算による評価
 - ・方法4：移動床推理模型実験による評価これらの方法の中から、河床変動データの所在状況、河道特性設計対象区間の重要性等を勘案して適切な方法を用いる。
根入れが深くなる場合には、根固め工を設置することで基礎工天端高を高くする方法も検討することが必要である。

コンクリートブロック積み 道路・その他	
記 号	———
図面番号	1-1-1
兵 庫 県	

コンクリートブロック積み 河川・砂防

前面に水位がある場合



寸法及び材料表

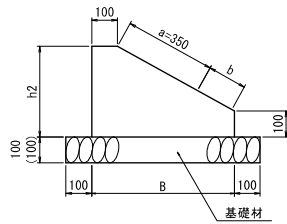
背面	直高 H (m)	控長 a (mm)	裏込め コンクリート厚さ b (mm)	コンクリート ブロック基礎高 h2 (mm)	法長 SL (mm)		
					N1(前面勾配)		
					1 : 0.3	1 : 0.4	1 : 0.5
盛土	1.00	350	無し	250	1,044	(1,077)	(1,118)
	1.50	350	無し	250	1,566	(1,616)	(1,677)
	2.00	350	無し	250	—	2,154	(2,236)
	2.50	350	無し	250	—	2,693	(2,795)
	3.00	350	無し	250	—	3,231	(3,354)
	3.50	350	無し	250	—	—	3,913
	4.00	350	無し	250	—	—	4,472
	4.50	350	無し	250	—	—	5,031
切土	5.00	350	無し	250	—	—	5,590
	1.00	350	無し	250	1,044	(1,077)	(1,118)
	1.50	350	無し	250	1,566	(1,616)	(1,677)
	2.00	350	無し	250	—	2,154	(2,236)
	2.50	350	無し	250	—	2,693	(2,795)
	3.00	350	無し	250	—	3,231	(3,354)
	3.50	350	無し	250	—	—	3,913
	4.00	350	無し	250	—	—	4,472
	4.50	350	無し	250	—	—	5,031
	5.00	350	無し	250	—	—	5,590
	5.50	350	200	400	—	—	6,149
	6.00	350	200	400	—	—	6,708
	6.50	350	200	400	—	—	7,267
	7.00	350	200	400	—	—	7,826

- 注1. 河川・砂防事業（天端に管理用通路がある場合を含む）の護岸工事については原則として裏込コンクリートを施工しない。
ただし、護岸に輪荷重の影響がある場合や土質条件が悪い場合は、道路・その他の基準を適用する。
2. () 内はすりつけ区間に使用する。
3. 基礎工天端高は、洪水時に洗掘が生じても護岸基礎の浮き上がりが生じないよう過去の実績や調査研究成果等を利用して、洪水時に推定される最大洗掘深を考慮して設定した最深河床の評価高とする。
最深河床高の評価方法としては、過去の実績や調査研究成果等を基にした次の方法により推定するのが一般的である。
- ・方法1：経年的な河床変動からの評価
 - ・方法2：既往研究成果からの評価
 - ・方法3：数値計算による評価
 - ・方法4：移動床推理模型実験による評価
- これらの方法の中から、河床変動データの所在状況、河道特性設計対象区間の重要性等を勘案して適切な方法を用いる。
根入れが深くなる場合には、根固め工を設置することで基礎工天端高を高くする方法も検討することが必要である。

コンクリートブロック積み 河川・砂防	
記 号	————
図面番号	1-1-2
兵 庫 県	

コンクリートブロック基礎 天端コンクリート

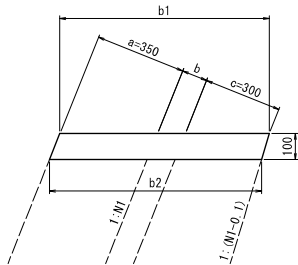
コンクリートブロック基礎 K型（積ブロック用）



寸法及び材料表

記号	b (mm)	寸法表 (mm)		材料表 (10m当たり)					摘要
		h 2	B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材			
						基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	
K-1	—	250	430	0.83	3.5	0.6	0.63	2.0	
K-2	50	280	480	1.00	3.8	0.7	0.68	2.0	
K-3	100	300	520	1.14	4.0	0.7	0.72	2.0	
K-4	150	350	550	1.36	4.5	0.8	0.75	2.0	
K-5	200	400	590	1.63	5.0	0.8	0.79	2.0	

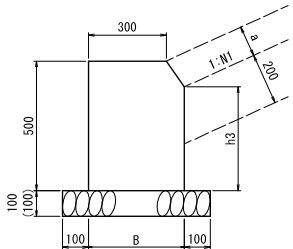
天端コンクリート



寸法及び材料表

記号	c (mm)	勾配	寸法表 (mm)			材料表 (10m当たり)		摘要
			b	b1	b2	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	
T-1	300	0.3	—	680	690	0.69	2.1	
T-2			50	740	750	0.75	2.1	
T-3			100	790	800	0.80	2.1	
T-4		0.4	—	700	710	0.71	2.1	
T-5			100	810	820	0.82	2.1	
T-6			150	870	880	0.88	2.1	
T-7		0.5	—	730	740	0.74	2.2	
T-8			150	900	910	0.91	2.2	
T-9			200	950	960	0.96	2.2	

コンクリートブロック基礎 A型（平張ブロック用）



寸法及び材料表

記号	a (mm)	寸法表 (mm)			材料表 (10m当たり)					摘要
		N1	h3	B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材			
							基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	
A-1	120	1.0	420	380	1.87	10.3	0.6	0.58	2.0	
A-2		1.2	410	380	1.86	10.3	0.6	0.58	2.0	
A-3		1.5	400	370	1.82	10.2	0.6	0.57	2.0	
A-4		1.8~2.0	390	350	1.72	10.1	0.6	0.55	2.0	
A-5	180	1.0	370	430	2.07	10.5	0.6	0.63	2.0	
A-6		1.2	360	420	2.02	10.4	0.6	0.62	2.0	
A-7		1.5	350	400	1.93	10.3	0.6	0.60	2.0	
A-8		1.8~2.0	340	380	1.84	10.2	0.6	0.58	2.0	

[現場打仕様]

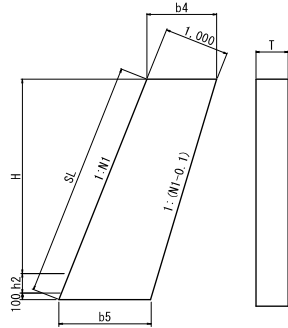
1. コンクリート 基礎 18-8-40BB
天端 18-12-20BB
2. 型枠 小型構造物

注. ()内は均しコンクリート厚さ。
現場条件（前面に水田等が位置する場合や地盤が軟弱な場合など）により必要と判断される場合は、基礎砕石に替えて均しコンクリート（t=10cm）を使用する。

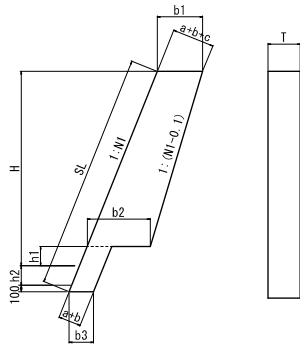
コンクリートブロック基礎、天端コンクリート	
記号	K型, A型, T型
図面番号	1-1-3
兵庫県	

小口止（止壁）

コンクリートブロック積み用（前面に水位がある場合）

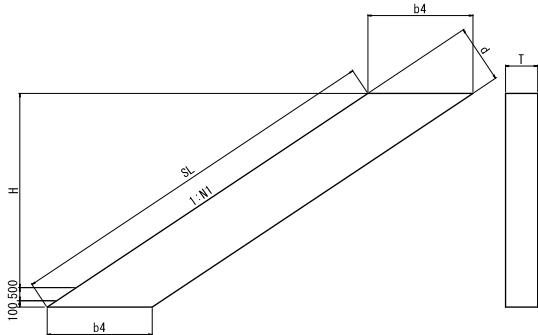


コンクリートブロック積み用（前面に水位がない場合）



コンクリートブロック張用

（平板ブロックa＝180mm、練張りブロックa＝350mm）



寸法及び材料表

区分	寸法表 (mm)							材料表 (1基当たり)		寸法表 (mm)			材料表 (1基当たり)		寸法表 (mm)			材料表 (1基当たり)	
	H(m)	b	h2	T	N1＝ 0.3			コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	N1＝ 0.4			コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	N1＝ 0.5			コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
					SL	b4	b5			SL	b4	b5			SL	b4	b5		
道路・その他	1.00	50	280	500	1,450	1,050	1,190	0.77	3.82	1,490	1,080	1,220	0.79	3.92	1,550	1,120	1,260	0.82	4.06
	1.50	50	280	500	1,970	1,050	1,240	1.08	5.29	2,030	1,080	1,270	1.10	5.43	2,110	1,120	1,310	1.14	5.62
	2.00	100	300	500	2,510	1,050	1,290	1.40	6.87	2,590	1,080	1,320	1.44	7.06	2,690	1,120	1,360	1.49	7.30
	2.50	100	300	500	3,030	1,050	1,340	1.73	8.45	3,130	1,080	1,370	1.78	8.67	3,250	1,120	1,410	1.83	8.96
	3.00	100	300	500	3,550	1,050	1,390	2.07	10.07	3,670	1,080	1,420	2.13	10.34	3,810	1,120	1,460	2.19	10.68
	3.50	150	350	500	—	—	—	—	—	4,260	1,080	1,480	2.53	12.24	4,420	1,120	1,520	2.61	12.64
	4.00	150	350	500	—	—	—	—	—	4,800	1,080	1,530	2.90	14.01	4,980	1,120	1,570	2.99	14.46
	4.50	150	350	500	—	—	—	—	—	5,340	1,080	1,580	3.29	15.84	5,540	1,120	1,620	3.39	16.33
	5.00	150	350	500	—	—	—	—	—	5,870	1,080	1,630	3.69	17.70	6,100	1,120	1,670	3.80	18.26
	5.50	200	400	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,710	1,120	1,720	4.26	20.40
	6.00	200	400	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,270	1,120	1,770	4.70	22.42
	6.50	200	400	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,830	1,120	1,820	5.15	24.50
	7.00	200	400	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,390	1,120	1,870	5.61	26.62
河川・砂防	1.00	0	250	500	1,410	1,050	1,190	0.76	3.73	1,460	1,080	1,220	0.78	3.84	1,510	1,120	1,260	0.80	3.97
	1.50	0	250	500	1,940	1,050	1,240	1.06	5.21	2,000	1,080	1,270	1.09	5.35	2,070	1,120	1,310	1.12	5.53
	2.00	0	250	500	2,460	1,050	1,290	1.37	6.73	2,540	1,080	1,320	1.41	6.91	2,630	1,120	1,360	1.46	7.14
	2.50	0	250	500	2,980	1,050	1,340	1.70	8.30	3,070	1,080	1,370	1.75	8.52	3,190	1,120	1,410	1.80	8.81
	3.00	0	250	500	3,500	1,050	1,390	2.04	9.92	3,610	1,080	1,420	2.09	10.18	3,750	1,120	1,460	2.16	10.52
	3.50	0	250	500	—	—	—	—	—	4,150	1,080	1,470	2.45	11.89	4,310	1,120	1,510	2.53	12.28
	4.00	0	250	500	—	—	—	—	—	4,690	1,080	1,520	2.83	13.66	4,870	1,120	1,560	2.91	14.09
	4.50	0	250	500	—	—	—	—	—	5,230	1,080	1,570	3.21	15.47	5,430	1,120	1,610	3.31	15.96
	5.00	0	250	500	—	—	—	—	—	5,770	1,080	1,620	3.61	17.33	5,990	1,120	1,660	3.72	17.87
	5.50	0	250	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,550	1,120	1,710	4.14	19.83
	6.00	0	250	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,100	1,120	1,760	4.57	21.84
	6.50	0	250	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,660	1,120	1,810	5.02	23.90
	7.00	0	250	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,220	1,120	1,860	5.48	26.01

注1．軟岩Ⅰ以上が露岩するときは、ブロック積み控長aを確保したうえで、断面を省略し着岩する。

寸法及び材料表

寸法表 (mm)							材料表 (1基当たり)		寸法表 (mm)				材料表 (1基当たり)		寸法表 (mm)				材料表 (1基当たり)					
H(m)	a	b	c	h1	h2	T	N1＝ 0.3						N1＝ 0.4						N1＝ 0.5					
							SL	b1	b2	b3	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	SL	b1	b2	b3	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	SL	b1	b2	b3	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
1.00	350	50	300	300	280	300	1,450	740	810	420	0.25	2.09	1,490	760	830	440	0.26	2.16	1,550	790	860	450	0.27	2.23
1.50	350	50	300	300	280	300	1,970	740	860	420	0.37	3.08	2,030	760	880	440	0.38	3.18	2,110	790	910	450	0.40	3.29
2.00	350	100	300	300	300	300	2,510	790	960	470	0.54	4.39	2,590	810	980	490	0.56	4.51	2,690	840	1,010	510	0.58	4.67
2.50	350	100	300	300	300	300	3,030	790	1,010	470	0.69	5.53	3,130	810	1,030	490	0.71	5.67	3,250	840	1,060	510	0.73	5.87
3.00	350	100	300	300	300	300	3,550	790	1,060	470	0.85	6.72	3,670	810	1,080	490	0.87	6.89	3,810	840	1,110	510	0.90	7.12
3.50	350	150	300	300	350	300	—	—	—	—	—	—	4,260	870	1,190	540	1.11	8.68	4,420	900	1,220	560	1.14	8.95
4.00	350	150	300	300	350	300	—	—	—	—	—	—	4,800	870	1,240	540	1.29	10.06	4,980	900	1,270	560	1.33	10.36
4.50	350	150	300	300	350	300	—	—	—	—	—	—	5,340	870	1,290	540	1.48	11.48	5,540	900	1,320	560	1.52	11.83
5.00	350	150	300	300	350	300	—	—	—	—	—	—	5,870	870	1,340	540	1.68	12.96	6,100	900	1,370	560	1.73	13.34
5.50	350	200	300	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,710	960	1,480	620	2.05	15.69
6.00	350	200	300	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,270	960	1,530	620	2.28	17.37
6.50	350	200	300	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,830	960	1,580	620	2.51	19.09
7.00	350	200	300	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,390	960	1,630	620	2.75	20.86

注1．根入れ深さh1は土砂では300mmとする。

2．軟岩Ⅰ以上に岩着させる場合は、裏込め材及び天端コンクリートの形状に合わせることとし、別途設計すること。

寸法表

ブロック形式	d	N1	b4	T	SL
練 張	900	1.0	1,280	500	(H+600)×1,414
	900	1.2	1,410	500	(H+600)×1,562
	900	1.5	1,630	500	(H+600)×1,803
	900	1.8	1,860	500	(H+600)×2,059
	900	2.0	2,020	500	(H+600)×2,236
平 張	600	1.0	850	500	(H+600)×1,414
	600	1.2	940	500	(H+600)×1,562
	600	1.5	1,090	500	(H+600)×1,803
	600	1.8	1,240	500	(H+600)×2,059
	600	2.0	1,350	500	(H+600)×2,236

〔現場打仕様〕

1．コンクリート 18－8－40BB

2．型枠 無筋コンクリート

小口止（止壁）

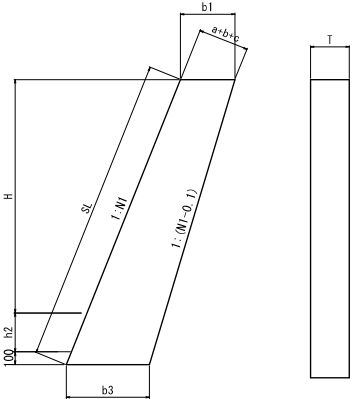
記 号

図面番号 1-1-4

兵 庫 県

小口止（隔壁）

コンクリートブロック積み用（前面に水位ある場合）

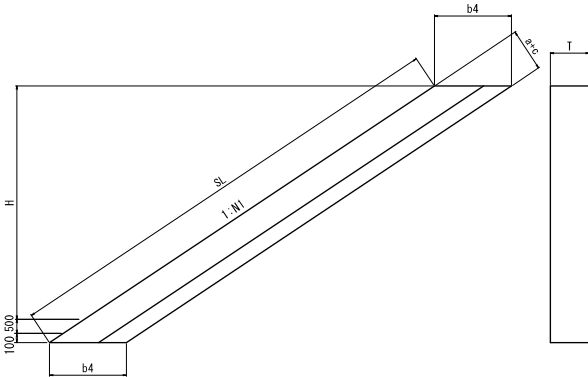


寸法及び材料表

区分	寸法表 (mm)						材料表 (1基当たり)		寸法表 (mm)			材料表 (1基当たり)		寸法表 (mm)			材料表 (1基当たり)				
	H (m)	a	b	c	h 2	T	N1= 0.3			N1= 0.4			N1= 0.5								
							SL	b1	型枠 (㎡)	SL	b1	型枠 (㎡)	SL	b1	型枠 (㎡)						
道路・その他	1.00	350	50	300	280	300	1,450	740	880	0.34	2.67	1,490	760	900	0.34	2.74	1,550	790	930	0.36	2.84
	1.50	350	50	300	280	300	1,970	740	930	0.47	3.73	2,030	760	950	0.48	3.82	2,110	790	980	0.50	3.96
	2.00	350	100	300	300	300	2,510	790	1,030	0.66	5.12	2,590	810	1,050	0.67	5.24	2,690	840	1,080	0.69	5.42
	2.50	350	100	300	300	300	3,030	790	1,080	0.81	6.33	3,130	810	1,100	0.83	6.48	3,250	840	1,130	0.86	6.69
	3.00	350	100	300	300	300	3,550	790	1,130	0.98	7.59	3,670	810	1,150	1.00	7.77	3,810	840	1,180	1.03	8.01
	3.50	350	150	300	350	300	—	—	—	—	—	4,260	870	1,270	1.27	9.73	4,420	900	1,300	1.30	10.02
	4.00	350	150	300	350	300	—	—	—	—	—	4,800	870	1,320	1.46	11.19	4,980	900	1,350	1.50	11.51
	4.50	350	150	300	350	300	—	—	—	—	—	5,340	870	1,370	1.66	12.69	5,540	900	1,400	1.71	13.05
	5.00	350	150	300	350	300	—	—	—	—	—	5,870	870	1,420	1.87	14.24	6,100	900	1,450	1.92	14.64
	5.50	350	200	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,710	950	1,560	2.27	17.13
	6.00	350	200	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,270	950	1,610	2.51	18.89
	6.50	350	200	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,830	950	1,660	2.75	20.69
	7.00	350	200	300	400	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,390	950	1,710	3.00	22.54
河川・砂防	1.00	350	0	300	250	300	1,410	680	820	0.30	2.45	1,460	700	850	0.32	2.54	1,510	730	870	0.32	2.61
	1.50	350	0	300	250	300	1,940	680	870	0.43	3.45	2,000	700	900	0.45	3.58	2,070	730	920	0.46	3.67
	2.00	350	0	300	250	300	2,460	680	920	0.56	4.50	2,540	700	950	0.59	4.66	2,630	730	970	0.60	4.78
	2.50	350	0	300	250	300	2,980	680	970	0.71	5.60	3,070	700	1,000	0.73	5.79	3,190	730	1,020	0.75	5.94
	3.00	350	0	300	250	300	3,500	680	1,020	0.85	6.75	3,610	700	1,050	0.88	6.98	3,750	730	1,070	0.90	7.16
	3.50	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	4,150	700	1,100	1.05	8.21	4,310	730	1,120	1.07	8.42
	4.00	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	4,690	700	1,150	1.21	9.50	4,870	730	1,170	1.24	9.73
	4.50	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	5,230	700	1,200	1.39	10.83	5,430	730	1,220	1.42	11.09
	5.00	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	5,770	700	1,250	1.57	12.22	5,990	730	1,270	1.61	12.50
	5.50	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,550	730	1,320	1.80	13.96
	6.00	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,100	730	1,370	2.00	15.47
	6.50	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,660	730	1,420	2.21	17.03
	7.00	350	0	300	250	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8,220	730	1,470	2.43	18.64

注、軟岩Ⅰ以上が露岩するときは、ブロック積み控長aを確保したうえで、断面を省略し着岩する。

コンクリートブロック張用（平板ブロック a = 1 8 0 mm、練張りブロック a = 3 5 0 mm）



寸法表

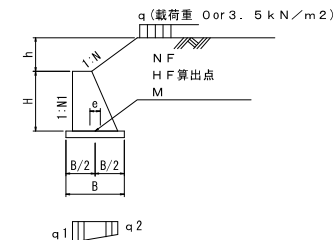
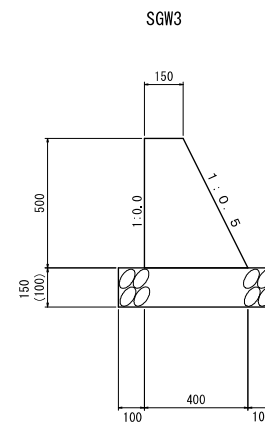
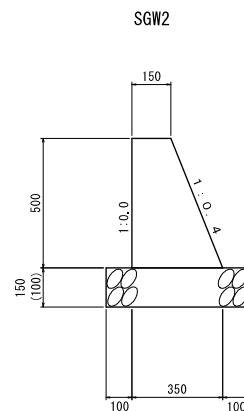
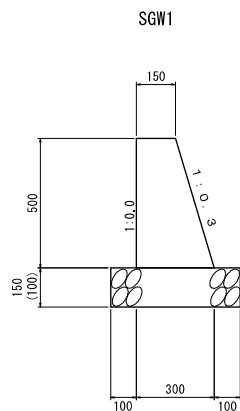
ブロック形式	a	c	N1	b4	T	SL
練 張	350	200	1.0	780	300	(H+600) × 1,414
	350	200	1.2	860	300	(H+600) × 1,562
	350	200	1.5	1,000	300	(H+600) × 1,803
	350	200	1.8	1,140	300	(H+600) × 2,059
	350	200	2.0	1,230	300	(H+600) × 2,236
平 張	180	220	1.0	570	300	(H+600) × 1,414
	180	220	1.2	630	300	(H+600) × 1,562
	180	220	1.5	730	300	(H+600) × 1,803
	180	220	1.8	830	300	(H+600) × 2,059
	180	220	2.0	900	300	(H+600) × 2,236

〔現場打仕様〕

- コンクリート 1 8－ 8－ 4 0 B B
- 型枠 無筋コンクリート

小口止（隔壁）	
記 号	———
図面番号	1-1-5
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝0.5）



※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑动安全率	S G W 断面形状番号
											q 1	q 2		
0.50	0.0	C 1	水平	0.00	0.00	0.300	3.21	0.745	0.148	0.046	2.1	1	2.59	SGW 1
				0.00	3.50	0.350	4.23	1.35	0.202	0.048	2.2	2	1.88	SGW 2
				1.5	1.00	3.50	4.72	1.84	0.231	0.049	2.5	2	1.54	SGW 2
		C 2	水平	0.00	0.00	0.350	3.67	0.887	0.187	0.051	2.0	1	2.48	SGW 2
				0.00	3.50	0.350	4.25	1.54	0.232	0.055	2.4	1	1.66	SGW 2
				1.8	1.00	3.50	5.39	2.11	0.259	0.048	2.3	4	1.53	SGW 3

材料表

S G W 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		
					基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
SGW 1	0.50	0.30	0.113	1.022	0.075	0.050	0.200
SGW 2	0.50	0.35	0.125	1.039	0.083	0.055	0.200
SGW 3	0.50	0.40	0.138	1.059	0.090	0.060	0.200

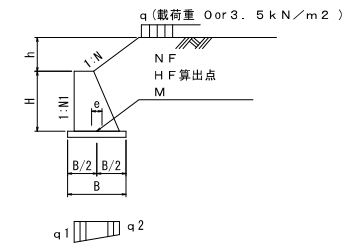
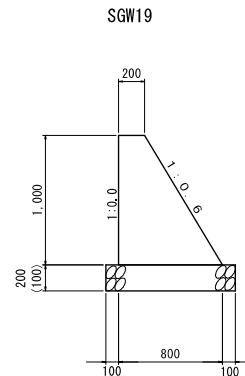
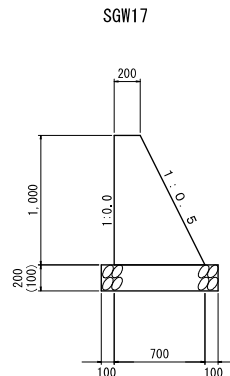
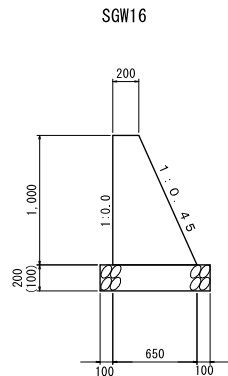
- 注
1. 本図は、1 m 当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は10 m 以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5 m 以下の間隔で、深さ約1.5 cm のV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	0or3.5
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

現場打小型擁壁（H＝0.5）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1(1)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝1． 0）



設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m³	
	コンクリート	kN/m³	23
載 荷 重	q	kN/m²	0or3.5
コンクリート設計基準強度	δ_{ck}	N/mm²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	F_s	—	1.5

※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN.m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑动安全率	SGW 断面形 状番号
											q 1	q 2		
											(kN/m²)	(kN/m²)		
1. 00	0. 0	C 1	水平	0. 00	0. 00	0. 650	13. 3	3. 25	1. 37	0. 103	40	1	2. 46	SGW16
				0. 00	3. 50	0. 650	14. 6	4. 38	1. 53	0. 105	44	1	1. 99	SGW16
			1. 5	1. 00	3. 50	0. 700	19. 2	7. 49	1. 92	0. 100	51	4	1. 54	SGW17
		C 2	水平	0. 00	0. 00	0. 700	14. 3	3. 70	1. 57	0. 110	40	1	2. 31	SGW17
				0. 00	3. 50	0. 700	15. 7	5. 06	1. 76	0. 112	44	1	1. 86	SGW17
			1. 8	1. 00	3. 50	0. 800	21. 9	8. 44	2. 11	0. 096	47	8	1. 56	SGW19

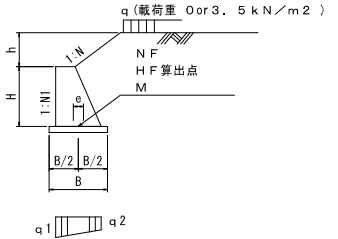
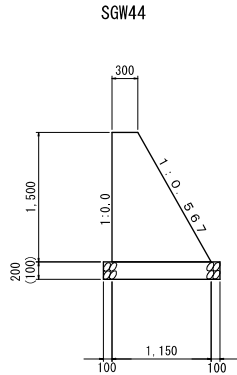
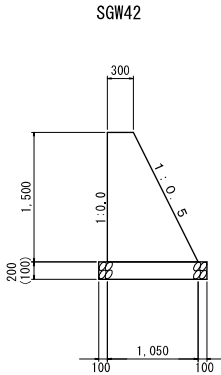
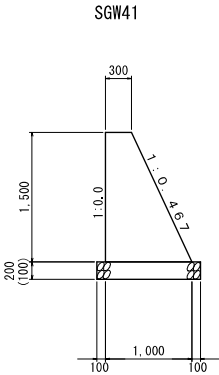
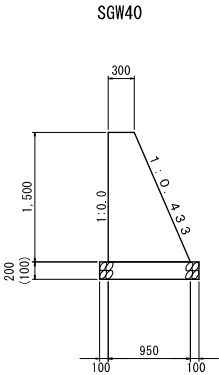
材料表

S G W	H (m)	B (m)	コンクリート (m³)	型式 (m³)	基礎材		
					基礎砕石 (m³)	均しコンクリート (m³)	型枠 (m²)
SGW16	1. 00	0. 65	0. 425	2. 097	0. 170	0. 085	0. 200
SGW17	1. 00	0. 70	0. 450	2. 118	0. 180	0. 090	0. 200
SGW19	1. 00	0. 80	0. 500	2. 166	0. 200	0. 100	0. 200

- 注
1. 本図は、1 m当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1 0 m以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5 m以下の間隔で、深さ約1.5cmのV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

現場打小型擁壁（H＝1． 0）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1(2)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝1． 5）



設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
表 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m³	
	コンクリート	kN/m³	23
載 荷 重	q	kN/m²	0or3.5
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN.m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑動安全率	SGW 断面形 状番号
											q 1 (kN/m²)	q 2 (kN/m²)		
1. 5 0	0. 0	C 1	水平	0. 0 0	0. 0 0	0. 9 5 0	2 9. 3	7. 2 5	4. 5 3	0. 1 5 5	6 1	1	2. 4 2	SGW 4 0
				0. 0 0	3. 5 0	0. 9 5 0	3 1. 1	8. 9 4	4. 9 1	0. 1 5 8	6 5	0	2. 0 9	SGW 4 0
			1. 5	1. 0 0	3. 5 0	1. 0 0 0	4 0. 7	1 6. 2	6. 4 7	0. 1 5 9	7 9	2	1. 5 0	SGW 4 1
				0. 0 0	0. 0 0	1. 0 5 0	3 2. 1	8. 3 2	5. 3 0	0. 1 6 5	5 9	2	2. 3 1	SGW 4 2
		C 2	水平	0. 0 0	3. 5 0	1. 0 5 0	3 4. 2	1 0. 4	5. 7 3	0. 1 6 7	6 4	1	1. 9 8	SGW 4 2
				1. 8	1. 0 0	3. 5 0	1. 1 5 0	4 6. 5	1 8. 4	7. 1 8	7 3	8	1. 5 2	SGW 4 4

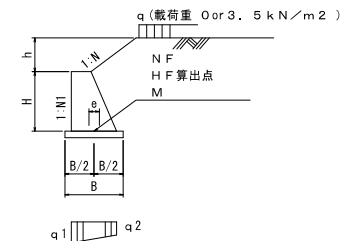
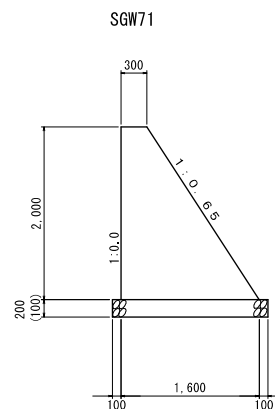
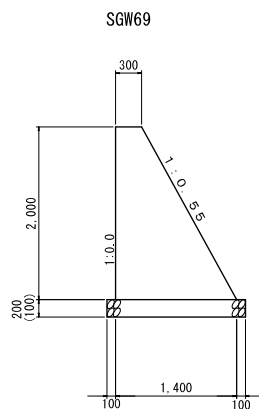
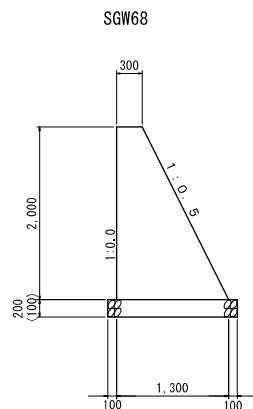
材料表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	基礎材		
					基礎砕石 (m³)	均しコンクリート (m³)	型枠 (m²)
SGW 4 0	1. 0 0	0. 7 3	0. 5 1 5	2. 0 8 9	0. 1 8 6	0. 0 9 3	0. 2 0 0
	1. 5 0	0. 9 5	0. 9 3 8	3. 1 3 5	0. 2 3 0	0. 1 1 5	0. 2 0 0
SGW 4 1	1. 0 0	0. 7 7	0. 5 3 5	2. 1 0 5	0. 1 9 4	0. 0 9 7	0. 2 0 0
	1. 5 0	1. 0 0	0. 9 7 5	3. 1 5 5	0. 2 4 0	0. 1 2 0	0. 2 0 0
SGW 4 2	1. 0 0	0. 8 0	0. 5 5 0	2. 1 1 8	0. 2 0 0	0. 1 0 0	0. 2 0 0
	1. 5 0	1. 0 5	1. 0 1 3	3. 1 7 7	0. 2 5 0	0. 1 2 5	0. 2 0 0
SGW 4 4	1. 0 0	0. 8 7	0. 5 8 5	2. 1 5 1	0. 2 1 4	0. 1 0 7	0. 2 0 0
	1. 5 0	1. 1 5	1. 0 8 8	3. 2 2 4	0. 2 7 0	0. 1 3 5	0. 2 0 0

- 注
1. 本図は、1 m 当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1 0 m 以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前面の両面に5 m 以下の間隔で、深さ約1.5cm のV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

現場打小型擁壁（H＝1． 5）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1(3)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝2.0）



設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	0or3.5
コンクリート設計基準強度	σ _{ok}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

寸法表

H (擁壁高) (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN.m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動安全率	SGW 断面形 状番号
											q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	1.300	52.6	13.3	11.1	0.212	80	1	2.38	SGW68
				0.00	3.50	1.300	55.3	15.6	11.8	0.214	84	1	2.13	SGW68
			1.5	1.00	3.50	1.400	77.8	30.0	15.6	0.200	103	8	1.55	SGW69
		C2	水平	0.00	0.00	1.400	56.3	15.0	12.7	0.226	79	1	2.25	SGW69
				0.00	3.50	1.400	59.4	17.8	13.5	0.227	84	1	2.00	SGW69
			1.8	1.00	3.50	1.600	88.3	33.6	17.0	0.192	95	15	1.58	SGW71

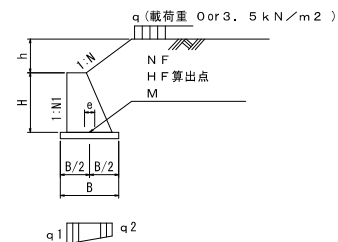
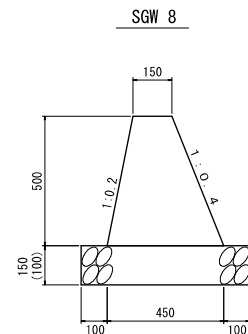
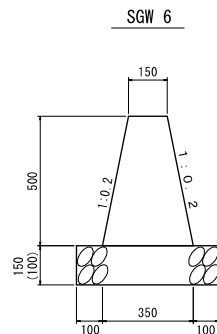
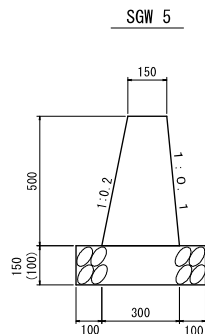
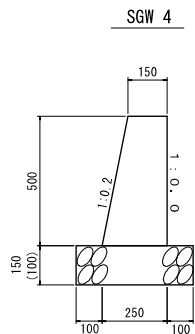
材料表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		
					基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
SGW68	1.00	0.80	0.650	2.118	0.200	0.100	0.200
	1.50	1.05	1.013	3.177	0.250	0.125	0.200
	2.00	1.30	1.600	4.236	0.300	0.150	0.200
SGW69	1.00	0.85	0.575	2.141	0.210	0.105	0.200
	1.50	1.13	1.073	3.214	0.266	0.133	0.200
	2.00	1.40	1.700	4.283	0.320	0.160	0.200
SGW71	1.00	0.95	0.625	2.193	0.230	0.115	0.200
	1.50	1.28	1.185	3.292	0.296	0.148	0.200
	2.00	1.60	1.900	4.385	0.360	0.180	0.200

- 注
1. 本図は、1m当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1.0m以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5m以下の間隔で、深さ約1.5cmのV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10cm) を使用する。

現場打小型擁壁（H＝2.0）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1(4)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝0.5）



※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	0or3.5
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑動安全率	S G W 断面形 状番号
											q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)		
0.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.561	0.011	0.004	11	9	2.72	SGW 4
				0.00	3.50	0.250	2.71	0.954	0.055	0.020	16	6	1.71	SGW 4
			1.5	1.00	3.50	0.350	3.94	1.540	0.106	0.027	16	6	1.54	SGW 6
		C2	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	2.30	SGW 4
				0.00	3.50	0.300	3.20	1.270	0.101	0.032	17	4	1.52	SGW 5
			1.8	1.00	3.50	0.450	5.22	1.980	0.122	0.023	15	8	1.58	SGW 8

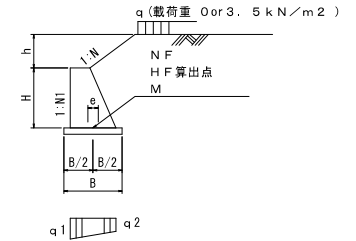
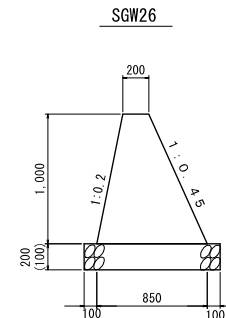
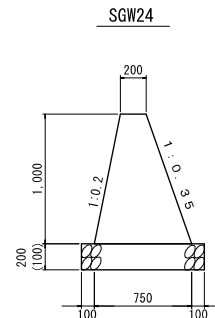
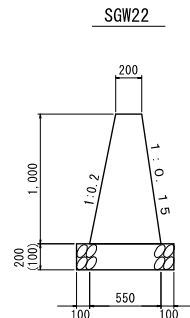
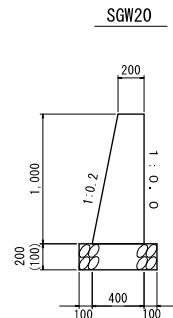
材料表

S G W 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		
					基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
SGW 4	0.50	0.25	0.100	1.010	0.068	0.045	0.200
SGW 5	0.50	0.30	0.113	1.012	0.075	0.050	0.200
SGW 6	0.50	0.35	0.125	1.020	0.083	0.055	0.200
SGW 8	0.50	0.45	0.150	1.048	0.098	0.065	0.200

- 注
1. 本図は、1 m当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は10 m以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5 m以下の間隔で、深さ約1.5 cmのV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

現場打小型擁壁（H＝0.5）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1(5)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝1． 0）



設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	0 or 3. 5
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0. 6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1. 5

※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑動安全率	S G W 断面形 状番号
											q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)		
1. 00	0. 2	C1	水平	0. 00	0. 00	0. 400	7. 87	2. 24	0. 248	0. 031	29	10	2. 10	SGW20
				0. 00	3. 50	0. 400	8. 21	3. 03	0. 442	0. 054	37	4	1. 63	SGW20
			1. 5	1. 00	3. 50	0. 750	17. 10	6. 73	0. 974	0. 057	33	12	1. 53	SGW24
		C2	水平	0. 00	0. 00	0. 400	7. 87	2. 65	0. 385	0. 049	34	5	1. 78	SGW20
				0. 00	3. 50	0. 550	10. 90	4. 16	0. 786	0. 072	35	4	1. 57	SGW22
			1. 8	1. 00	3. 50	0. 850	19. 60	7. 78	1. 110	0. 056	32	14	1. 52	SGW26

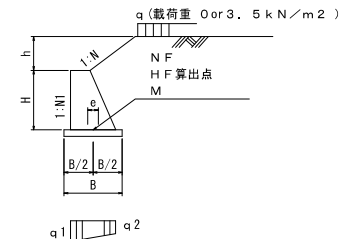
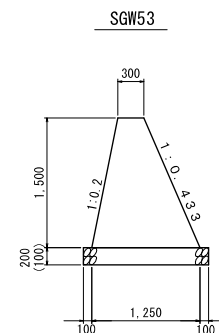
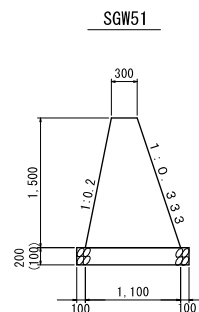
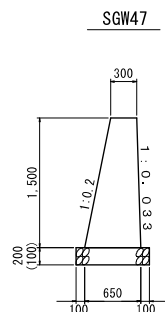
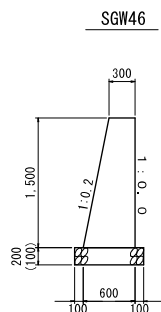
材料表

S G W 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		
					基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
SGW20	1. 00	0. 40	0. 300	2. 020	0. 120	0. 060	0. 200
SGW22	1. 00	0. 55	0. 375	2. 031	0. 150	0. 075	0. 200
SGW24	1. 00	0. 75	0. 475	2. 079	0. 190	0. 095	0. 200
SGW26	1. 00	0. 85	0. 525	2. 116	0. 210	0. 105	0. 200

- 注
1. 本図は、1 m 当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1 0 m以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5 m以下の間隔で、深さ約1. 5cmのV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

現場打小型擁壁（H＝1． 0）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1 (6)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝1． 5）



※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m³	
	コンクリート	kN/m³	23
載 荷 重	q	kN/m²	0 or 3, 5
コンクリート設計基準強度	σ c k	N/mm²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN.m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑動安全率	S G W 断面形 状番号
											q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)		
1.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.600	17.7	5.05	0.836	0.047	43	16	2.10	SGW46
				0.00	3.50	0.600	18.2	6.23	1.270	0.070	52	9	1.75	SGW46
			1.5	1.00	3.50	1.100	37.3	14.70	3.290	0.088	50	18	1.52	SGW51
			0.00	0.00	0.600	17.7	5.97	1.300	0.073	51	8	1.78	SGW46	
		C2	水平	0.00	3.50	0.650	19.5	7.69	1.990	0.102	58	2	1.52	SGW47
				1.8	1.00	3.50	1.250	42.9	17.00	3.800	0.089	49	20	1.51

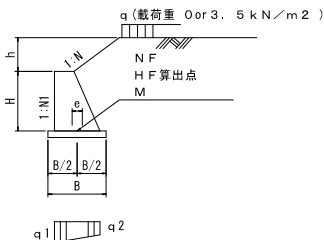
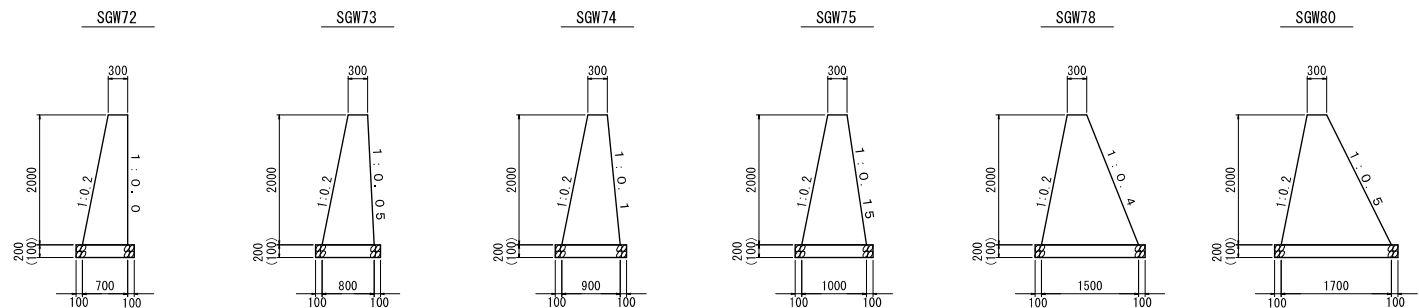
材料表

S G W 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	基礎材		
					基礎砕石 (m³)	均しコンクリート (m³)	型枠 (m²)
SGW46	1.00	0.50	0.400	2.020	0.140	0.070	0.200
	1.50	0.60	0.675	3.030	0.160	0.080	0.200
SGW47	1.00	0.53	0.415	2.020	0.146	0.073	0.200
	1.50	0.65	0.713	3.031	0.170	0.085	0.200
SGW51	1.00	0.83	0.565	2.073	0.206	0.103	0.200
	1.50	1.10	1.050	3.111	0.260	0.130	0.200
SGW53	1.00	0.93	0.615	2.108	0.226	0.113	0.200
	1.50	1.25	1.163	3.164	0.290	0.145	0.200

- 注
1. 本図は、1 m 当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1 0 m 以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5 m 以下の間隔で、深さ約1.5cm のV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

現場打小型擁壁（H＝1． 5）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1(7)
兵 庫 県	

現場打小型擁壁（H＝2.0）



※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

設計条件

項目	記号	記号	数値
擁壁高	H	m	
盛土高	h	m	
裏込土の種類	C	—	
盛土勾配	1:N	—	
高さ比	h/H	—	
単位体積重量	土	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載荷重	q	kN/m ²	0 or 3.5
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm ²	18
滑動摩擦係数	μ	—	0.6
滑動安全率	Fs	—	1.5

寸法表

H	N I	C	N	h/H	q	B	N F	H F	M	e	地盤反力度		F s	SGW
(擁壁高)	前面勾配	裏込め土の種類	盛土勾配	高さ比	載荷重 (kN/m ²)	底版幅 (m)	鉛直力 (kN)	水平力 (kN)	モーメント (kN・m)	偏心距離 (m)	q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)	滑動安全率	断面形状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.700	26.9	8.98	2.64	0.098	71	6	1.80	SGW72
				0.00	3.50	0.800	30.8	11.20	3.83	0.124	74	3	1.65	SGW73
			1.5	1.00	3.50	1.500	68.8	27.30	8.16	0.119	68	24	1.51	SGW78
				0.00	0.00	0.900	33.2	11.70	4.47	0.135	70	4	1.71	SGW74
		C2	水平	0.00	3.50	1.000	37.7	14.40	5.85	0.155	73	3	1.57	SGW75
				1.8	1.00	3.50	79.0	31.30	9.07	0.115	65	28	1.52	SGW80
			1.8	1.00	3.50	1.700	79.0	31.30	9.07	0.115	65	28	1.52	SGW80
				1.8	1.00	3.50	79.0	31.30	9.07	0.115	65	28	1.52	SGW80

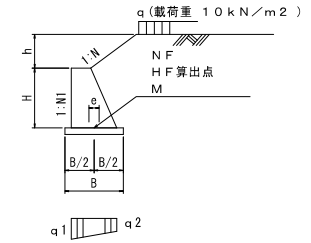
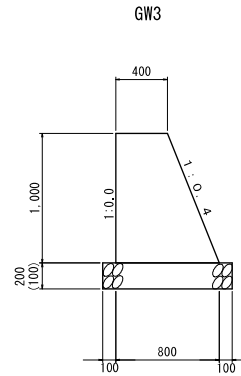
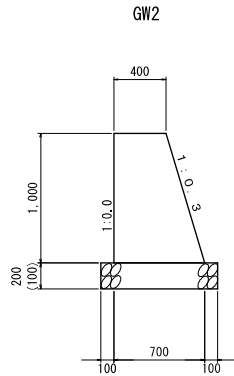
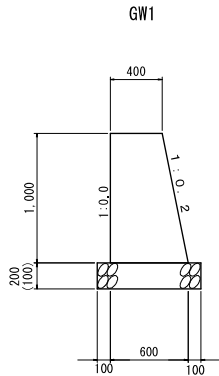
- 注 1. 本図は、1 m当りの設計であり地震を考慮していない。
2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
5. 伸縮目地の間隔は1.0 m以下とすること。
6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前面の両面に5 m以下の間隔で、深さ約1.5 cmのV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

材料表

SGW	H	B	コンクリート	型枠	基礎材		
断面形状番号	(m)	(m)	(m ³)	(m ²)	基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
SGW72	1.00	0.50	0.400	2.020	0.140	0.070	0.200
	1.50	0.60	0.675	3.030	0.160	0.080	0.200
	2.00	0.70	1.000	4.040	0.180	0.090	0.200
SGW73	1.00	0.55	0.425	2.021	0.150	0.075	0.200
	1.50	0.68	0.735	3.032	0.176	0.088	0.200
	2.00	0.80	1.100	4.042	0.200	0.100	0.200
SGW74	1.00	0.60	0.450	2.025	0.160	0.080	0.200
	1.50	0.75	0.788	3.037	0.190	0.095	0.200
	2.00	0.90	1.200	4.050	0.220	0.110	0.200
SGW75	1.00	0.65	0.475	2.031	0.170	0.085	0.200
	1.50	0.83	0.848	3.047	0.206	0.103	0.200
	2.00	1.00	1.300	4.062	0.240	0.120	0.200
SGW78	1.00	0.90	0.600	2.097	0.220	0.110	0.200
	1.50	1.20	1.125	3.145	0.280	0.140	0.200
	2.00	1.50	1.800	4.194	0.340	0.170	0.200
SGW80	1.00	1.00	0.650	2.138	0.240	0.120	0.200
	1.50	1.35	1.238	3.207	0.310	0.155	0.200
	2.00	1.70	2.000	4.276	0.380	0.190	0.200

現場打小型擁壁（H＝2.0）	
記 号	SGW
図面番号	1-2-1 (8)
兵 庫 県	

現場打擁壁 (H = 1.0)



設計条件

項 目		記号	記号	数 値
擁 壁	高	H	m	
盛 土	高	h	m	
裏 込 土 の 種 類		C	—	
盛 土 の 勾 配		1:N	—	
高 さ	比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂		kN/m ³	
	コンクリート		kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度		δ c k	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—		0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—		1.5

寸法表

H (掘壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	B 底底幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑動安全率	S G W 断面形 状番号
										q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)		
1. 0 0	0. 0	C 1	水平	0. 0 0	0. 6 0 0	15. 3	5. 5 2	1. 4 9	0. 0 9 7	5 0	1	1. 6 7	G W 1
			1. 5	0. 2 5	0. 6 0 0	15. 6	5. 8 7	1. 5 5	0. 0 9 9	5 2	0	1. 5 9	G W 1
				0. 5 0	0. 7 0 0	18. 3	6. 6 9	1. 6 9	0. 0 9 2	4 7	5	1. 6 4	G W 2
				0. 7 5	0. 7 0 0	18. 5	6. 9 1	1. 7 1	0. 0 9 3	4 7	5	1. 6 0	G W 2
				1. 0 0	0. 7 0 0	18. 6	7. 0 7	1. 7 3	0. 0 9 3	4 8	5	1. 5 8	G W 2
		C 2	水平	0. 0 0	0. 7 0 0	17. 8	6. 9 1	1. 8 8	0. 1 0 6	4 8	2	1. 5 4	G W 2
			1. 8	0. 2 5	0. 8 0 0	20. 7	7. 6 7	1. 9 5	0. 0 9 5	4 4	7	1. 6 2	G W 3
				0. 5 0	0. 8 0 0	20. 9	7. 9 4	1. 9 8	0. 0 9 5	4 5	8	1. 5 8	G W 3
				0. 7 5	0. 8 0 0	21. 1	8. 1 4	2. 0 0	0. 0 9 5	4 5	8	1. 5 5	G W 3
				1. 0 0	0. 8 0 0	21. 2	8. 2 9	2. 0 1	0. 0 9 5	4 5	8	1. 5 4	G W 3

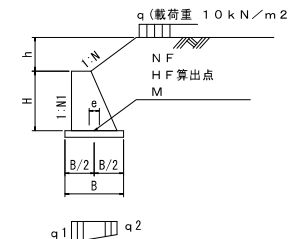
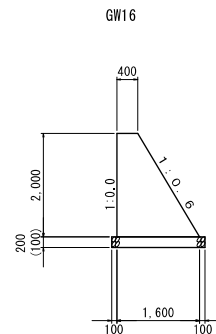
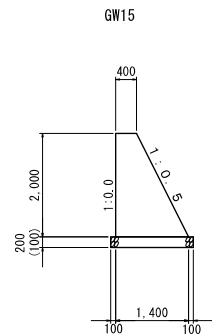
材料表

S GW 断面形状番号	H (mm)	B (mm)	コンクリート (mm ³)	型枠 (mm ²)	基礎材		
					基礎砕石 (mm ³)	均しコンクリート (mm ³)	型枠 (mm ²)
GW 1	1. 00	0. 60	0. 500	2. 020	0. 160	0. 080	0. 200
GW 2	1. 00	0. 70	0. 550	2. 044	0. 180	0. 090	0. 200
GW 3	1. 00	0. 80	0. 600	2. 077	0. 200	0. 100	0. 200

- 注
1. 本図は、1 m当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1.0 m以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前面の両面に5 m以下の間隔で、深さ約1.5 cmのV字形の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 cm) を使用する。

現場打擁壁 (H = 1. 0)	
記 号	GW
図面番号	1-2-2(1)
兵 庫 県	

現場打擁壁（H＝2． 0）



設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
表 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

※ () 内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	B 底板幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN.m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑动安全率	S G W 断面形 状番号
										q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)		
2. 0 0	0. 0	C 1	水平	0. 0 0	1. 4 0 0	6 5. 0	1 9. 9	1 3. 0	0. 2 0 0	8 6	7	1. 9 6	GW 1 5
				0. 2 5	1. 4 0 0	6 9. 8	2 3. 9	1 4. 0	0. 2 0 0	9 3	7	1. 7 5	GW 1 5
				0. 5 0	1. 4 0 0	7 3. 3	2 6. 8	1 4. 6	0. 2 0 0	9 7	8	1. 6 4	GW 1 5
				0. 7 5	1. 4 0 0	7 5. 8	2 9. 0	1 5. 1	0. 2 0 0	1 0 1	8	1. 5 7	GW 1 5
			1. 5	1. 0 0	1. 4 0 0	7 7. 8	3 0. 6	1 5. 5	0. 2 0 0	1 0 3	8	1. 5 2	GW 1 5
				0. 0 0	1. 4 0 0	6 5. 2	2 2. 6	1 4. 7	0. 2 2 6	9 2	1	1. 7 3	GW 1 5
		C 2	水平	0. 2 5	1. 4 0 0	6 9. 4	2 6. 5	1 5. 8	0. 2 2 8	9 8	1	1. 5 7	GW 1 5
				0. 5 0	1. 6 0 0	8 3. 7	3 0. 6	1 6. 3	0. 1 9 5	9 1	1 4	1. 6 4	GW 1 6
				0. 7 5	1. 6 0 0	8 6. 5	3 2. 9	1 6. 7	0. 1 9 3	9 3	1 5	1. 5 8	GW 1 6
				1. 0 0	1. 6 0 0	8 8. 6	3 4. 5	1 7. 0	0. 1 9 2	9 5	1 5	1. 5 4	GW 1 6

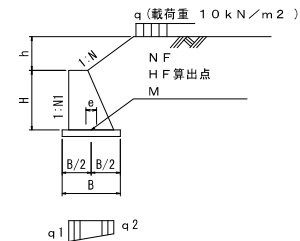
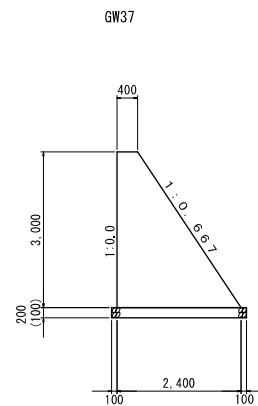
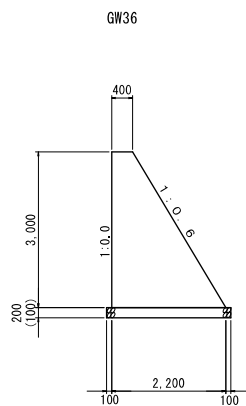
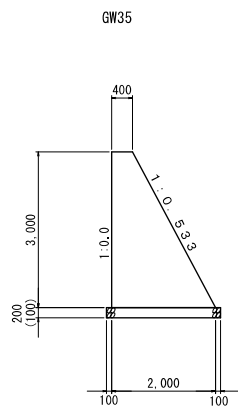
材料表

S G W 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		
					基礎砕石 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
GW 1 5	1. 0 0	0. 9 0	0. 6 5 0	2. 1 1 8	0. 2 2 0	0. 1 1 0	0. 2 0 0
	1. 5 0	1. 1 5	1. 1 6 3	3. 1 7 7	0. 2 7 0	0. 1 3 5	0. 2 0 0
	2. 0 0	1. 4 0	1. 8 0 0	4. 2 3 6	0. 3 2 0	0. 1 6 0	0. 2 0 0
GW 1 6	1. 0 0	1. 0 0	0. 7 0 0	2. 1 6 6	0. 2 4 0	0. 1 2 0	0. 2 0 0
	1. 5 0	1. 3 0	1. 2 7 5	3. 2 4 9	0. 3 0 0	0. 1 5 0	0. 2 0 0
	2. 0 0	1. 6 0	2. 0 0 0	4. 3 3 2	0. 3 6 0	0. 1 8 0	0. 2 0 0

- 注
1. 本図は、1 m 当たりの設計であり地震を考慮していない。
 2. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 3. 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所にて明記すること。
 4. 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 5. 伸縮目地の間隔は1 0 m 以下とすること。
 6. 収縮目地(施工目地)は、擁壁前面の両面に5 m 以下の間隔で、深さ約1.5cm のV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 7. 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

現場打擁壁（H＝2． 0）	
記 号	GW
図面番号	1-2-2 (2)
兵 庫 県	

現場打擁壁（H＝3． 0）



設計条件

項 目	記号	記号	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	h	m	
裏 込 土 の 種 類	C	—	
盛 土 勾 配	1:N	—	
高 さ 比	h/H	—	
単位体積重量	土 砂	kN/m³	
	コンクリート	kN/m³	23
コンクリート設計基準強度	δ c k	N/mm²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	—	0.6
滑 動 安 全 率	Fs	—	1.5

※()内は均しコンクリート厚さ。注7を参照すること。

寸法表

H (擁壁高) (m)	N I 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	h/H 高さ比	B 底板幅 (m)	N F 鉛直力 (kN)	H F 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F s 滑动安全率	SGW 断面形 状番号
										q 1 (kN/m ²)	q 2 (kN/m ²)		
3.00	0.0	C 1	水平	0.00	2.000	133	40.3	42.5	0.319	130	3	1.99	GW35
			1.5	0.25	2.000	146	50.8	46.8	0.320	143	3	1.73	GW35
				0.50	2.000	156	58.5	50.0	0.321	153	3	1.60	GW35
				0.75	2.000	163	64.2	52.4	0.321	160	3	1.53	GW35
				1.00	2.200	189	71.1	52.7	0.279	151	20	1.59	GW36
		C 2	水平	0.00	2.200	147	46.3	48.8	0.332	127	6	1.90	GW36
			1.8	0.25	2.200	161	57.5	53.1	0.331	139	7	1.68	GW36
				0.50	2.200	171	65.5	56.2	0.329	147	8	1.56	GW36
				0.75	2.400	196	73.3	56.9	0.290	141	23	1.61	GW37
				1.00	2.400	203	78.0	58.2	0.287	145	24	1.56	GW37

- 注
- 本図は、1 m当たりの設計であり地震を考慮していない。
 - 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
 - 基礎材は、再生切込砕石と均しコンクリートを使用した場合の数量を記入しているが、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材料、敷厚及び数量を該当する箇所に明記すること。
 - 水抜孔などの排水工は、現場の状況に応じて別途設計すること。
 - 伸縮目地の間隔は1 0 m以下とすること。
 - 収縮目地(施工目地)は、擁壁前背面の両面に5 m以下の間隔で、深さ約1.5cmのV字型の切りみぞを付けた目地構造を標準とする。
 - 前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10 c m) を使用する。

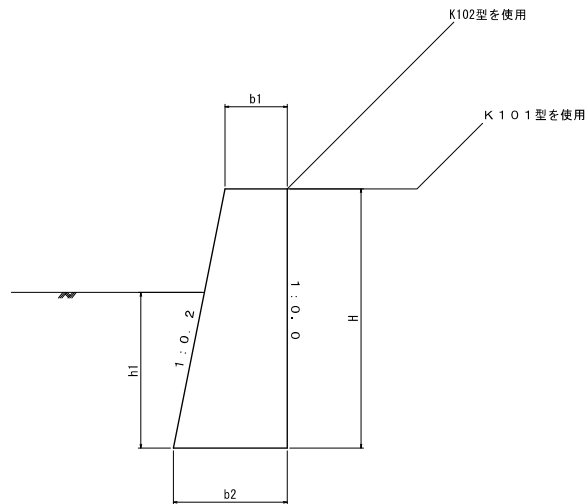
材料表

断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	(1m当たり)		
					基礎材		
					基礎砕石 (m³)	均しコンクリート (m³)	型枠 (m²)
GW 35	1.00	0.93	0.665	2.132	0.226	0.113	0.200
	1.50	1.20	1.200	3.200	0.280	0.140	0.200
	2.00	1.47	1.870	4.268	0.334	0.167	0.200
	2.50	1.73	2.663	5.332	0.386	0.193	0.200
	3.00	2.00	3.600	6.400	0.440	0.220	0.200
GW 36	1.00	1.00	0.700	2.168	0.240	0.120	0.200
	1.50	1.30	1.275	3.249	0.300	0.150	0.200
	2.00	1.60	2.000	4.332	0.360	0.180	0.200
	2.50	1.90	2.875	5.415	0.420	0.210	0.200
	3.00	2.20	3.900	6.499	0.480	0.240	0.200
GW 37	1.00	1.07	0.735	2.204	0.254	0.127	0.200
	1.50	1.40	1.350	3.303	0.320	0.160	0.200
	2.00	1.73	2.130	4.402	0.386	0.193	0.200
	2.50	2.07	3.088	5.506	0.454	0.227	0.200
	3.00	2.40	4.200	6.606	0.520	0.260	0.200

現場打擁壁（H＝3． 0）

記 号	GW
図面番号	1-2-2(3)
兵 庫 県	

現場打鉄止擁壁



[現場打仕様]

1. コンクリート 18-12-20BB
2. 型 枠 小型構造物

寸法および材料表

記 号	寸法表 (mm)				材料表 (10m当たり)		摘 要
	H	h1	b1	b2	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	
K-101	400	250	100	180	0.56	8.1	
K-102	500	300	120	220	0.85	10.1	

現場打鉄止擁壁	
記 号	K101、K102
図面番号	1-2-3
兵 庫 県	

第 2 章 側溝・水路工

第2章 側溝・水路工

2-1. 設計上の注意事項

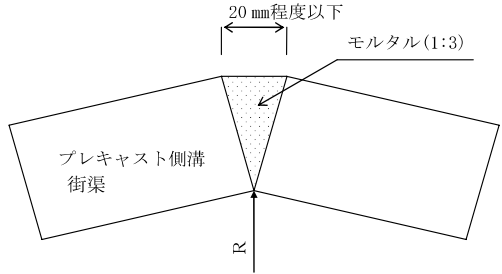
1. 側溝全般

(1) 街渠を除く側溝は歩車道とも設計幅員外に設置することを原則とする。なお、都市計画決定等で用地幅が制限され、やむを得ず歩車道の設計幅員内に設置するときは、個々に事業課と協議すること。

(2) 街渠・側溝・水路の適用範囲は、下表を標準とする。

平面曲線 縦断曲線	～30 m未満	30～60 m未満	60～120 m未満	120 m以上
～30 m未満	現場打ち			
30～60 m未満		1.0 m		
60～120 m未満			2 m	
120 m以上				4 m

注. ① 曲線半径は、道路中心線ではなく、側溝施工地点を適用するものとする。



② 縦断曲線の半径

R : 縦断曲線の半径 (m)
 $R = 100Lr/I$ Lr : 縦断曲線の曲線長 (m)
 I : 縦断勾配の代数差 (%)

③ 目地間隔は、直線部においては突合せとし、曲線部においては 20 mm程度以下とする。

(3) コンクリート 2 次製品の使用材料は、コンクリート $\sigma_{28} = 24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋 SD295 を標準とし、現場打ちコンクリートの使用材料は、鉄筋部コンクリート $\sigma_{28} = 24\text{N/mm}^2$ 、無筋部コンクリート $\sigma_{28} = 18\text{N/mm}^2$ 、鉄筋 SD345 を標準とする。

(4) 基礎材は碎石を標準とする。ただし、遮水性が必要な箇所には均しコンクリートを使用する。このとき材料は「図集」の()書の値を用いる。

2. 街渠及び側溝付き街渠

(1) 街渠のエプロン厚 (T) は下表を参考にして、交通量により使い分けるものとする。

なお、側溝付き街渠のエプロン厚 (T) は、交通量に関係なく 150 mm とする。

(アスファルト舗装要綱から抜粋)			
交通量の区分	(旧)交通量の区分	大型車交通量 (台/日・一方向)	エプロン厚 (mm)
$N_1 \sim N_3$ 交通	L 交通	100 未満	150
N_4 交通	A 交通	100 以上、250 未満	
N_5 交通	B 交通	250 以上、1,000 未満	
N_6 交通	C 交通	1,000 以上、3,000 未満	200
N_7 交通	D 交通	3,000 以上	250

(2) 街渠及び側溝付き街渠はセミフラット型歩道を標準とする。「図集」の F はセミフラット型歩道を示す。ただし、バス停留所はマウントアップ型歩道を原則とする。

(3) 街渠及び側溝付き街渠の乗り入れ部はテーパ付き歩車道境界ブロックを標準とする。

(4) 側溝付き街渠はプレキャスト側溝付き街渠 (PGU(F) 型) を標準とするが、側溝をコンクリート 2 次製品、街渠を現場打ちとすると (NGPU(F) 型) は、側溝はプレキャスト U 型側溝 (PU100 型) を使用し、街渠は NGU(F) 型を参照すること。

(5) 街渠樹 (NGUM(F) 型) の材料表において、コンクリートおよび型枠の数量は、側溝類、パイプ類等による減少量を考慮していないので、必要に応じて補正するものとする。

(6) 原則として乗入箇所には街渠樹 (集水樹) を設置しない。

3. U型側溝

- (1) U型側溝を路側に設け、側溝蓋付とする場合で道路の縦断勾配が急な場合、標準図の蓋版の排水孔では小さすぎることが考えられるので、このような場合は、鋼製側溝蓋（グレーチング）を併用し排水が十分行えるようにする（排水工指針参照）。
- (2) 車道部に接してU型側溝を設けるときには、交通量により使い分けるものとする。

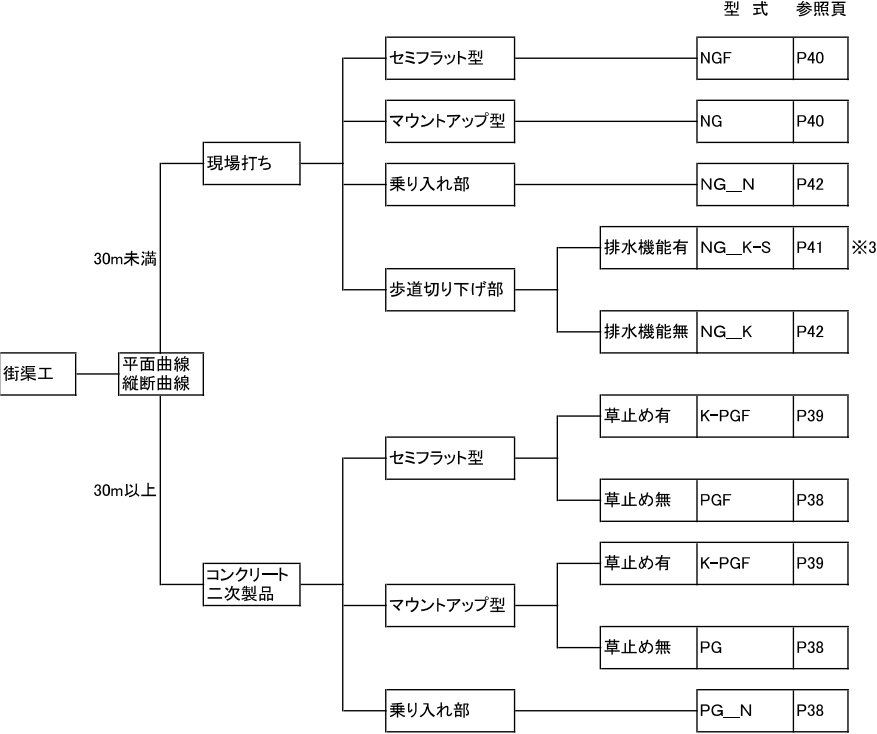
交通量の区分	(旧)交通量の区分	大型車交通量(台/日・一方向)	側 溝	参照頁
N1～N3交通	L 交通	100未満	落ちふた式U形側溝 3種(JIS 300型) [旧 JIS 200型]	P91
N4交通	A 交通	100以上、250未満		
N5交通	B 交通	250以上、1,000未満	U型側溝 (PU100型、PU200型)	P79 ～P84
N6交通	C 交通	1,000以上、3,000未満		
N7交通	D 交通	3,000以上		

- (3) 歩道部は、プレキャストU型 落ちふた式U形側溝 1種を標準とする。
- (4) 道路を横断する側溝には、コンクリート製側溝蓋を原則使用しない。
- ### 4. 集水樹
- (1) 集水樹は、一般車両の影響を考慮しない場合はMA型、影響を考慮する場合はMB型を使用する。
- (2) 集水樹の底版上面から流出パイプ入口までの高さは200mmを標準とする。
- (3) 集水樹のコンクリート量は、流入・流出のための側溝類、パイプ類による減少量を考慮していないので、必要に応じて補正するものとする。
- (4) 集水樹本体は無筋コンクリートとしているが、必要に応じて補強鉄筋を考慮すること。
- (5) 集水樹の深さが1mを超える場合は足掛金具を設けるのが望ましい。足掛金具には予め錆止めの処置を施すこと。防錆の処理方法はメッキ仕上げ、ビニール被覆等とする。

2-2. 施工上の注意事項

- (1) 街渠工を在来舗装部に設置する場合には、原則として街渠前面はカッター切断とすること。
- (2) 現場打ち側溝は、10 m間隔に目地（厚 10 mm）を設けること。
- (3) コンクリート2次製品の側溝蓋は、その表裏が判定できるように製造者が目印をつけ、施工の際誤りのないようにしておくこと。
- (4) 上記2-1.2.(6)の通り、原則として乗入箇所には街渠樹（集水樹）を設置しない。
- (5) コンクリート2次製品の荷下し保管場合は、なるべく布設地点に近く、地盤が堅固で平坦な場所を指定する。もし、適当な場所が得られないときは、枕材等を用いて製品に無理な荷重がかからず、荷くずれがないよう適宜処置を施す。
- (6) コンクリート2次製品は重量物なので、安全のため、荷卸し時および施工時には製品の下には絶対に入らないように注意する。
- (7) プレキャスト側溝付き街渠は、小運搬および据付時に弾性目地がはがれないように注意する。
- (8) プレキャスト側溝付き街渠 PGU(F)は、U形側溝相互の接合部とL形側溝相互の接合部が一致するように設置する。
- (9) プレキャスト側溝付き街渠は、連結金具ウエッジにより、L形側溝相互を連結する。
- (10) プレキャスト側溝付き街渠 PGU(F)では、U形側溝とL形側溝の接触部のモルタルは十分に充填する。不十分な場合、施工後、ガタついたり、L形側溝相互の接合部が破損することがあるので注意する。特に乗入れ部においては、注意が必要である。
- (11) プレキャスト側溝付き街渠 PGU(F)では、L形側溝の位置調整が必要な場合、鋼製または樹脂製のライナー等を用いて調整することができるが、その場合でも、U形側溝との間のモルタルは必ず充填する。
- (12) プレキャスト側溝付き街渠の敷きモルタルの施工後は、養生期間をおいた後、車両を通行させる。やむを得ず早期に開放する場合は、鉄板等を敷き、荷重が分散するように工夫する。

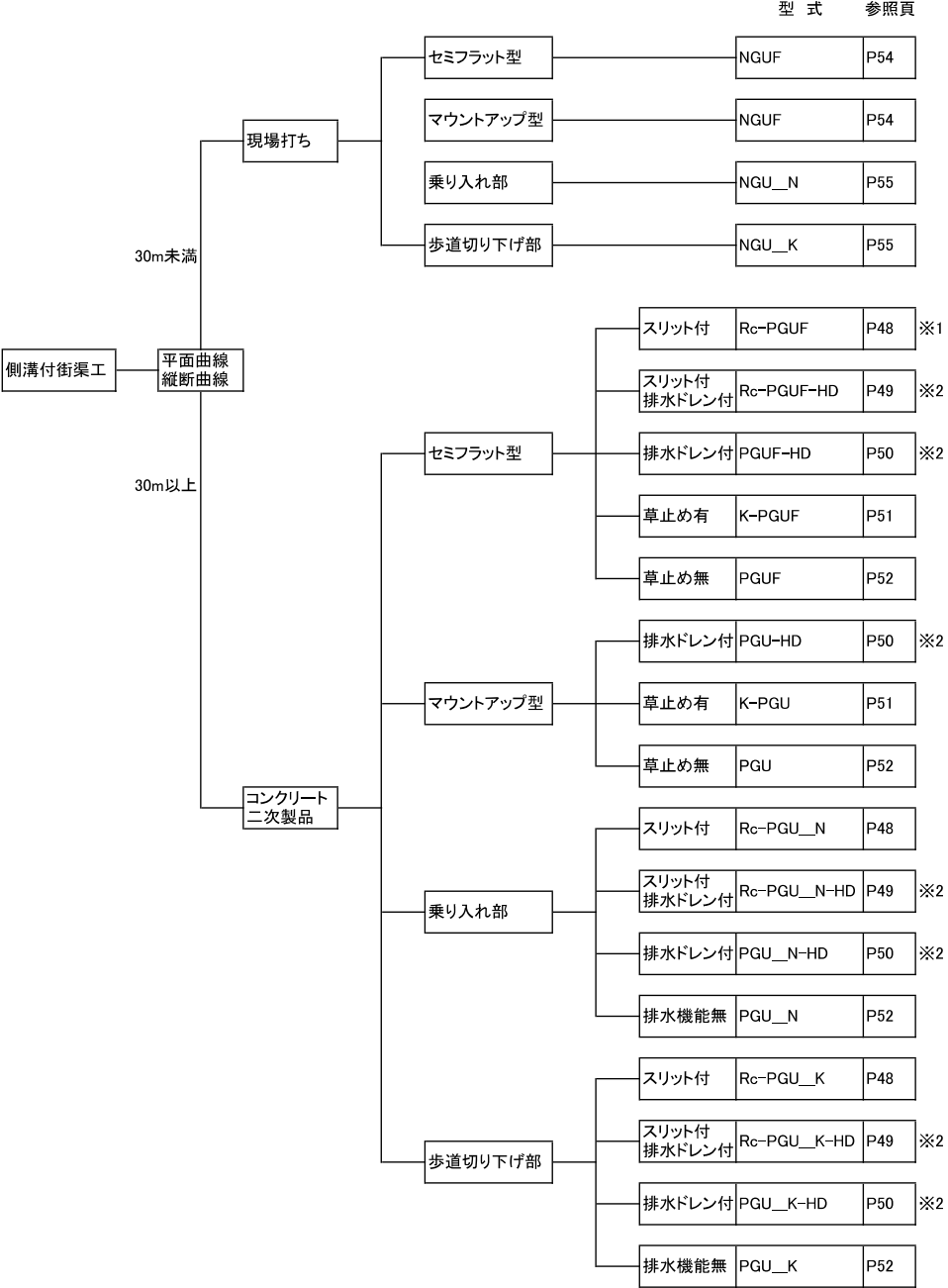
2-3. 街渠工及び側溝付街渠工選定フロー



〔縁石一体型側溝の選定について〕

- A) 道路新設事業では、街渠及び側溝付き街渠を標準とする。
B) 縁石一体型側溝は、歩道リニューアルや自転車道の整備等で採用を検討できる。
C) 縁石一体型側溝は、排水計算を伴わない場合でのみ採用できる。

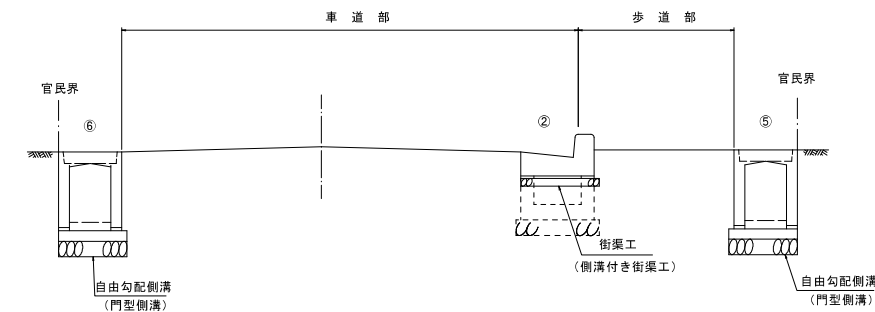
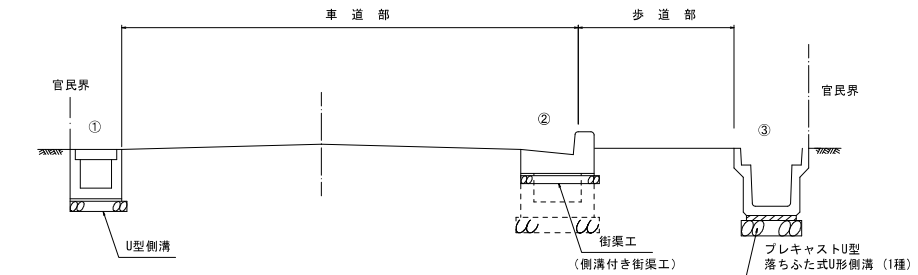
※1 L型街渠の構造は、スリット付きエプロンを標準とする。
※2 排水性舗装の場合には採用を検討すること。
※3 歩道切り下げ部は、NG_K-Sを標準とする。(排水機能有)



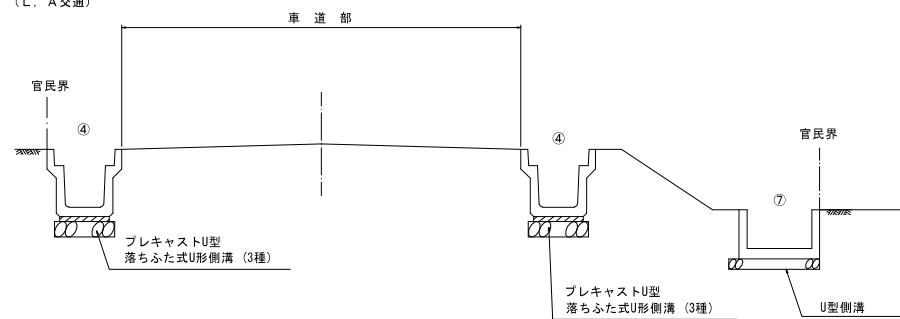
2-4. 側溝・水路の設置位置および載荷方法

〔側溝・水路の設置位置〕

(N_0 、 N_1 、 N_2 交通)
(旧B、C、D交通)

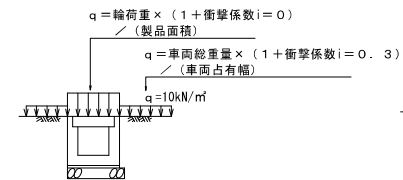


(N_1 、 N_2 、 N_4 交通)
(L、A交通)

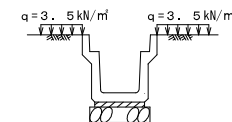


〔側溝・水路の載荷方法〕

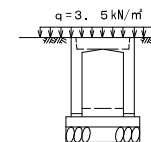
①U型側溝



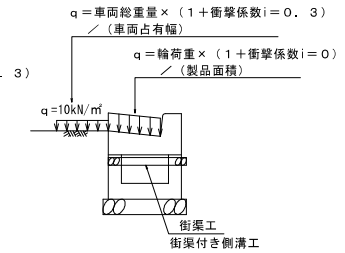
③プレキャストU型
落ちふた式U形側溝 (1種)
(輪荷重なし)



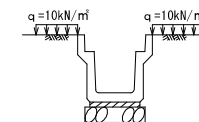
⑤自由勾配側溝 (門型側溝)



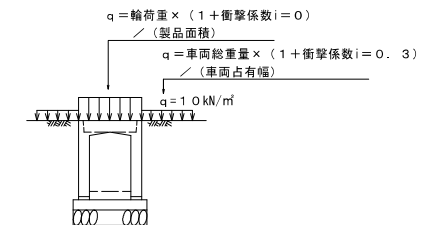
②街渠工 (側溝付き街渠工)



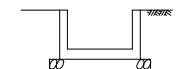
④プレキャストU型
落ちふた式U形側溝 (3種)
(輪荷重あり)



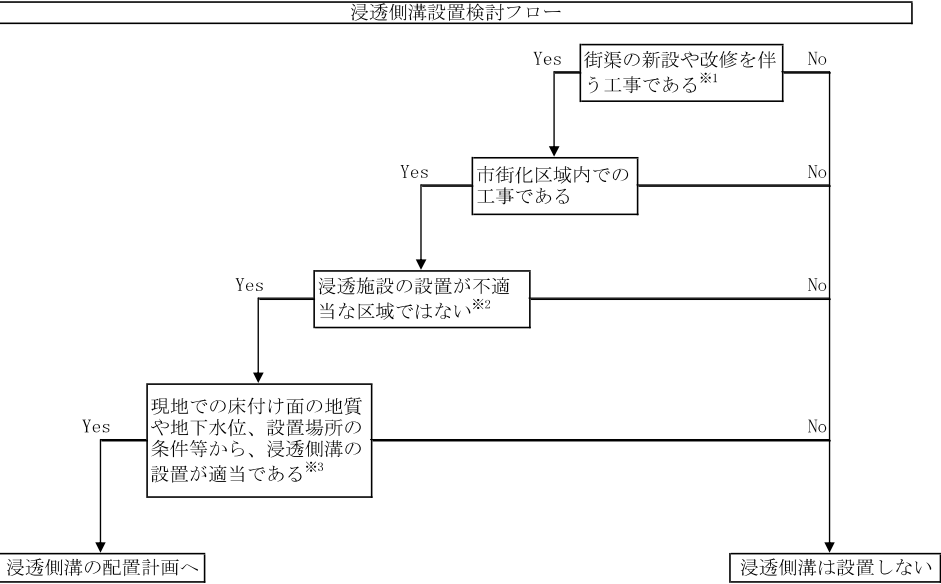
⑥自由勾配側溝 (門型側溝)



⑦プレキャストU型水路
(載荷重なし、土圧のみ)



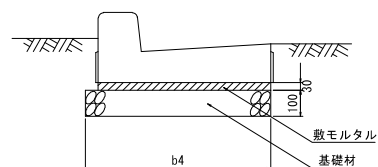
2-5. 兵庫県型浸透側溝



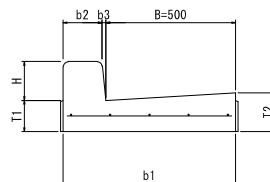
- ※1 市街地において街渠の新設や改修を伴う工事の場合は検討する事。
また、これには道路管理者以外が実施する工事も含む。
- ※2 浸透側溝の設置が不適当な箇所とは、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、土砂災害警戒区域、その他浸透側溝の設置が不適当と考えられる区域。
- ※3 現地での床付け面の地質が浸透不適である場合や、地下水位が高い(浸透側溝の底面と離隔が50cm以内)場合は、浸透能力の低下が考えられるため、浸透側溝は設置しない。また、のり面や斜面、構造物周辺、浸透施設同士の間隔が狭い場合も設置しない。

プレキャスト街渠(1)

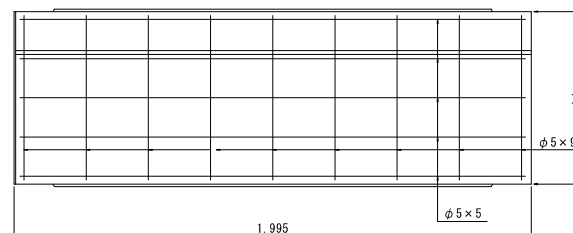
セミフラット型 (PGF500型)



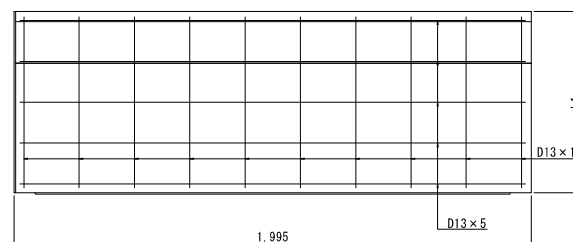
構造図



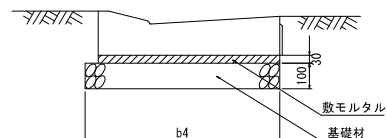
PG(F) 500型 平面図



PG500N型 平面図



乗り入れ部 (PG500N型)



寸法表及び材料表

記 号	近 畿 地 建 呼 び 名	寸 法 表 (単位mm)								質 量 (参考) (kg、PGF)		材 料 表 (10m当たり)		
		B	H	b1	b2	b3	b4	T1	T2	モ ル タ ル (m ²)		基 礎 材		
										PG	PGF	材料(m ²)	型枠(m ²)	
PG(F)515A	500A×150	500	150	665	150	15	715	120	150	522	529	0.20	0.7(0.72)	(2.0)
PG(F)520A	500A×200	500	150	665	150	15	715	170	200	679	688	0.20	0.7(0.72)	(2.0)
PG(F)525A	500A×250	500	150	665	150	15	715	220	250	836	848	0.20	0.7(0.72)	(2.0)
PG(F)515B	500B×150	500	200	700	180	20	750	120	150	609	615	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
PG(F)520B	500B×200	500	200	700	180	20	750	170	200	774	783	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
PG(F)525B	500B×250	500	200	700	180	20	750	220	250	939	951	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
PG(F)515C	500C×150	500	250	705	180	25	755	120	150	659	665	0.21	0.8(0.76)	(2.0)
PG(F)520C	500C×200	500	250	705	180	25	755	170	200	826	834	0.21	0.8(0.76)	(2.0)
PG(F)525C	500C×250	500	250	705	180	25	755	220	250	992	1,004	0.21	0.8(0.76)	(2.0)
PG515N	500B×150	500	50	700	199	1	750	120	150	643	—	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
PG520N	500B×200	500	50	700	199	1	750	170	200	628	—	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
PG525N	500B×250	500	50	700	199	1	750	220	250	794	—	0.21	0.8(0.75)	(2.0)

注1. Fはセミフラット型歩道を表す。Fがないものはマウントアップ型歩道を表す。

2. マウントアップ型歩道に用いる街渠は、歩道側天端の曲面を設けない。

3. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。

〔適用範圍〕

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

1. コンクリート強度

強度・応力度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

2. 鉄筋類

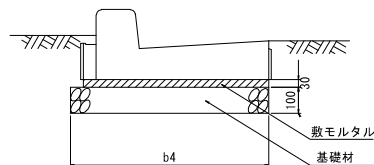
種 別	許容引張応力度 σ_{sa}
SWM-P	140N/mm ²
SD295A	160N/mm ²

プレキャスト街渠(1)	
記 号	PG(F)型
図面番号	2-1(1)
兵 庫 県	

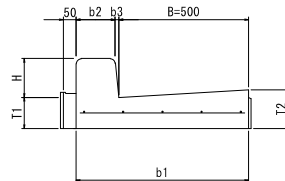
プレキャスト街渠(2)

[草止めエプロン]

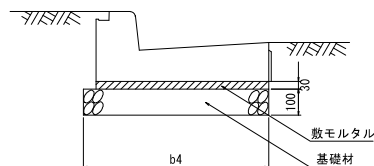
セミフラット型(K-PGF500型)



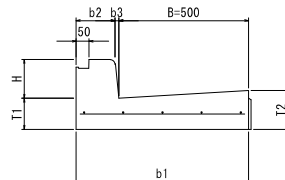
構造図



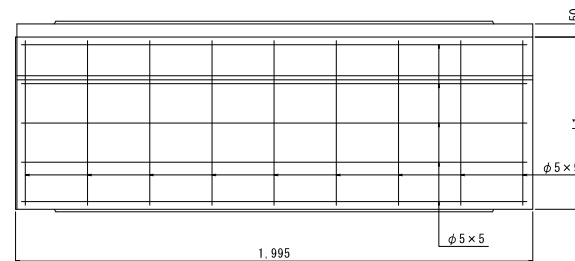
マウントアップ型(K-PG500型)



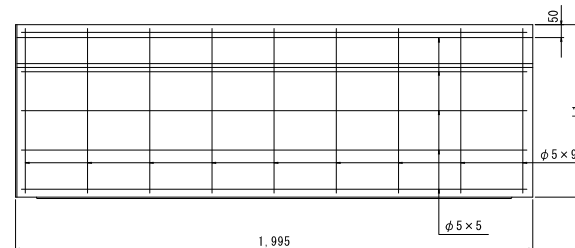
構造図



K-PGF500型 平面図



K-PG500型 平面図



注. 乗り入れ部はプレキャスト街渠(1)を適用。

[適用範囲]

- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

- コンクリート強度

強度・応力度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

- 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σ_{sa}
SWM-P	140N/mm ²
SD295A	160N/mm ²

寸法表及び材料表

記号	近畿地建呼び名	寸法表(単位mm)								質量(参考) (kg/個)	材料表(10m当たり)		
		B	H	b1	b2	b3	b4	T1	T2		モルタル (m ³)	基礎材 材料(m ³)	型枠(m ²)
K-PGF515A	500A×150	500	150	665	150	15	765	120	150	561	0.21	0.8(0.77)	(2.0)
K-PGF520A	500A×200	500	150	665	150	15	765	170	200	733	0.21	0.8(0.77)	(2.0)
K-PGF525A	500A×250	500	150	665	150	15	765	220	250	904	0.21	0.8(0.77)	(2.0)
K-PGF515B	500B×150	500	200	700	180	20	800	120	150	647	0.23	0.8(0.80)	(2.0)
K-PGF520B	500B×200	500	200	700	180	20	800	170	200	827	0.23	0.8(0.80)	(2.0)
K-PGF525B	500B×250	500	200	700	180	20	800	220	250	1,007	0.23	0.8(0.80)	(2.0)
K-PG515A	500A×150	500	150	665	150	15	715	120	150	514	0.20	0.7(0.72)	(2.0)
K-PG520A	500A×200	500	150	665	150	15	715	170	200	671	0.20	0.7(0.72)	(2.0)
K-PG525A	500A×250	500	150	665	150	15	715	220	250	828	0.20	0.7(0.72)	(2.0)
K-PG515B	500B×150	500	200	700	180	20	750	120	150	601	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
K-PG520B	500B×200	500	200	700	180	20	750	170	200	766	0.21	0.8(0.75)	(2.0)
K-PG525B	500B×250	500	200	700	180	20	750	220	250	931	0.21	0.8(0.75)	(2.0)

注1. Fはセミフラット型歩道を表す。Fがないものはマウントアップ型歩道を表す。

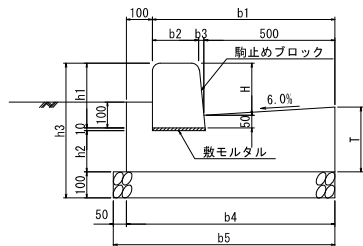
2. マウントアップ型歩道に用いる街渠は、歩道側天端の曲面を設けない。

3. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。

プレキャスト街渠(2)	
記号	K-PG(F)型
図面番号	2-1(2)
兵庫県	

現場打街渠(1)

セミフラット型（NGF500型）

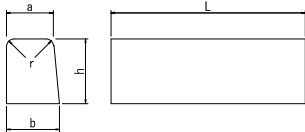


寸法及び材料表

記 号	寸 法 表 (単位mm)										材 料 表 (10m当たり)						摘 要
	H	T	b1	b2	b3	b4	b5	h1	h2	h3	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	モルタル (m ³)	ブロック (個)	基 礎 材		
															材料(m ³)	型枠(m ²)	
NGF515A	150	150	665	150	15	765	815	200	60	370	0.94	3.2	0.02	16.5	0.8(0.82)	(2.0)	[現場打仕様] 1. コンクリート 18-12-20BB 2. 型枠 小型構造物
NGF520A	150	200	665	150	15	765	815	200	110	420	1.33	4.2	0.02	16.5	0.8(0.82)	(2.0)	
NGF525A	150	250	665	150	15	765	815	200	160	470	1.71	5.2	0.02	16.5	0.8(0.82)	(2.0)	
NGF515B	200	150	700	180	20	800	850	250	60	420	0.97	3.2	0.02	16.5	0.9(0.85)	(2.0)	
NGF520B	200	200	700	180	20	800	850	250	110	470	1.37	4.2	0.02	16.5	0.9(0.85)	(2.0)	
NGF525B	200	250	700	180	20	800	850	250	160	520	1.77	5.2	0.02	16.5	0.9(0.85)	(2.0)	
NGF515C	250	150	705	180	25	805	855	300	60	470	0.97	3.2	0.02	16.5	0.9(0.86)	(2.0)	
NGF520C	250	200	705	180	25	805	855	300	110	520	1.37	4.2	0.02	16.5	0.9(0.86)	(2.0)	
NGF525C	250	250	705	180	25	805	855	300	160	570	1.77	5.2	0.02	16.5	0.9(0.86)	(2.0)	

注. 基礎の（ ）内は均しコンクリートとしたときの数量

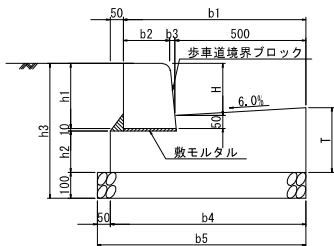
駒止めブロック



駒止めブロック寸法表

駒止め ブロック	寸法表（単位mm）					1個当たり 重量(kg)	摘要
	a	b	h	r	L		
A型	150	170	200	20	600	44	
B型	180	205	250	30	600	66	
C型	180	210	300	30	600	81	

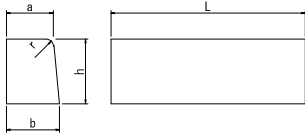
マウントアップ型（NG500型）



寸法及び材料表

記 号	寸 法 表（単位mm）										材 料 表（10m当たり）						摘 要
	H	T	b1	b2	b3	b4	b5	h1	h2	h3	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	モルタル (m ³)	ブロック (個)	基 礎 材		
															材料(m ³)	型枠(m ²)	
NG515A	150	150	665	150	15	715	765	200	60	370	0.80	2.1	0.03	16.5	0.8(0.77)	(2.0)	歩車道境界 ブロック JIS A 5371
NG520A	150	200	665	150	15	715	765	200	110	420	1.16	3.1	0.03	16.5	0.8(0.77)	(2.0)	
NG525A	150	250	665	150	15	715	765	200	160	470	1.52	4.1	0.03	16.5	0.8(0.77)	(2.0)	
NG515B	200	150	700	180	20	750	800	250	60	420	0.82	2.1	0.03	16.5	0.8(0.80)	(2.0)	
NG520B	200	200	700	180	20	750	800	250	110	470	1.20	3.1	0.03	16.5	0.8(0.80)	(2.0)	
NG525B	200	250	700	180	20	750	800	250	160	520	1.57	4.1	0.03	16.5	0.8(0.80)	(2.0)	
NG515C	250	150	705	180	25	755	805	300	60	470	0.83	2.1	0.03	16.5	0.8(0.81)	(2.0)	
NG520C	250	200	705	180	25	755	805	300	110	520	1.20	3.1	0.03	16.5	0.8(0.81)	(2.0)	
NG525C	250	250	705	180	25	755	805	300	160	570	1.58	4.1	0.03	16.5	0.8(0.81)	(2.0)	

歩車道境界ブロック（JIS）



歩車道境界ブロック寸法表（JIS寸法表）

歩車道境界 ブロック	寸法表（単位mm）					1個当たり 重量(kg)	摘要
	a	b	h	r	L		
A型	150	170	200	20	600	44	歩車道境界 ブロック JIS A 5371
B型	180	205	250	30	600	66	
C型	180	210	300	30	600	81	

注1. 街渠工はセミフラット型歩道を標準とする。ただし、バス停留所はマウントアップ型歩道とする。

2. 基礎の（ ）内は均しコンクリートとしたときの数量

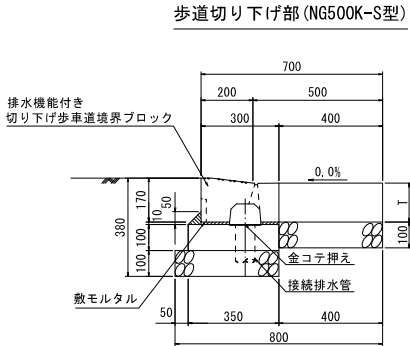
現場打街渠(1)

記 号	NG(F)型
図面番号	2-1(3)
兵 庫 県	

現場打街渠(2)

(排水機能付き切り下げ歩車道境界ブロック)

※ 歩道切り下げ部には、排水機能付き切り下げ歩車道境界ブロック(NG500-S型)を標準とする。



対応曲線一覧表

製品規格	対応R	1/4円 使用数量	参考重量 (kg)
曲線物	2R	1.6R ~ 2.0R	5
	3R	2.0R ~ 3.0R	8
	4R	3.0R ~ 4.0R	10
	6R	4.0R ~	16
直線物	8.0R ~		53

注1. この表の適用が困難な場合は現場打ちとする。

寸法及び材料表

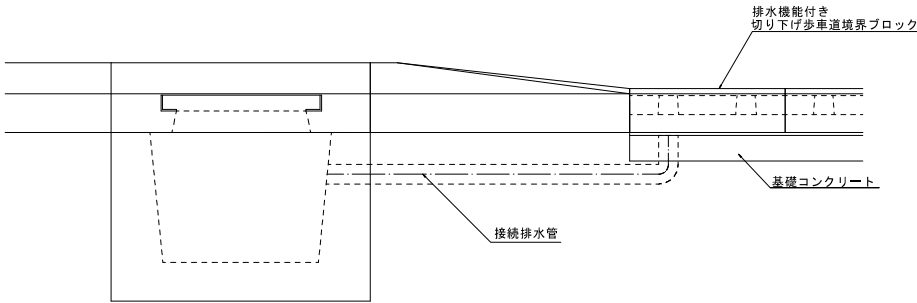
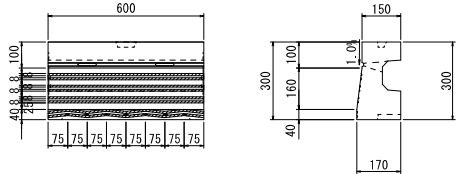
記 号	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10m当たり)						摘 要
	ブロック 種類	T	h	b1	b2	b3	b4	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	モルタル (m ³)	ブロック (個)	基 礎 材		
												材料(m ³)	型枠(m ²)	
NG515K-S	K-S	150	—	—	—	—	—	0.95	3.5	0.03	16.5	0.8(0.80)	(3.0)	
NG520K-S	K-S	200	—	—	—	—	—	1.15	4.0	0.03	16.5	0.8(0.80)	(3.0)	
NG525K-S	K-S	250	—	—	—	—	—	1.35	4.5	0.03	16.5	0.8(0.80)	(3.0)	

- 注 1. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。
2. 接続排水管(VPφ75以上)は別途計上のすること。
3. 基礎コンクリートの通水部となるところは金コテ押えとすること。
4. 製品布設1本毎に内部水路内に敷きモルタル等が残留していないか確認のこと。

[現場打仕様]
1. コンクリート 18-12-20BB
2. 型枠 小型構造物

接 続 縦 断 図

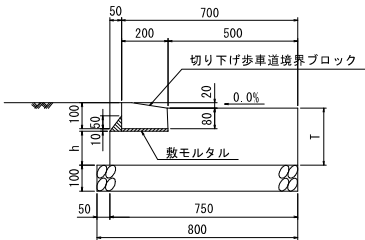
排水機能付き切り下げ歩車道境界ブロック



現場打街渠(2)	
記 号	NG-K型
図面番号	2-1(4)
兵 庫 県	

現場打街渠(3)

歩道切り下げ部（NG500K型）



寸法及び材料表

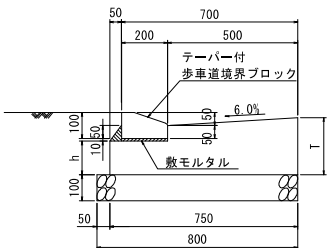
記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)						材 料 表 (10m当たり)						摘 要
		T	h	b1	b2	b3	b4	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	モルタル (m ³)	ブロック (個)	基 礎 材		
												材料(m ²)	型枠(m ²)	
NG515K	K型	150	60	—	—	—	—	0.90	2.1	0.03	16.5	0.8(0.80)	(2.0)	
NG520K	K型	200	110	—	—	—	—	1.27	3.1	0.03	16.5	0.8(0.80)	(2.0)	
NG525K	K型	250	160	—	—	—	—	1.65	4.1	0.03	16.5	0.8(0.80)	(2.0)	

注. 基礎の () 内は均しコンクリートとしたときの数量

[現場打仕様]

1. コンクリート 18-12-20BB
2. 型枠 小型構造物

乗り入れ部 (NG500N型)

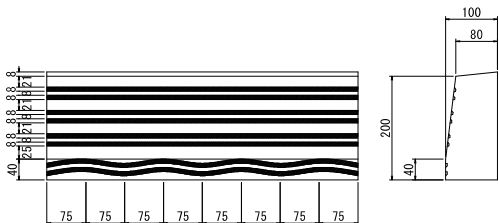


寸法及び材料表

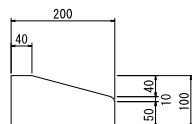
記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)						材 料 表 (10m当たり)						摘 要
		T	h	b1	b2	b3	b4	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	モルタル (m ³)	ブロック (個)	基 礎 材		
												材料 (m ²)	型枠 (m ²)	
NG515N	N型	150	60	—	—	—	—	0.82	2.1	0.03	16.5	0.8 (0.80)	(2.0)	
NG520N	N型	200	110	—	—	—	—	1.20	3.1	0.03	16.5	0.8 (0.80)	(2.0)	
NG525N	N型	250	160	—	—	—	—	1.57	4.1	0.03	16.5	0.8 (0.80)	(2.0)	

注. 基礎の () 内は均しコンクリートとしたときの数量

歩車道境界ブロック(歩道切り下げ部) K型

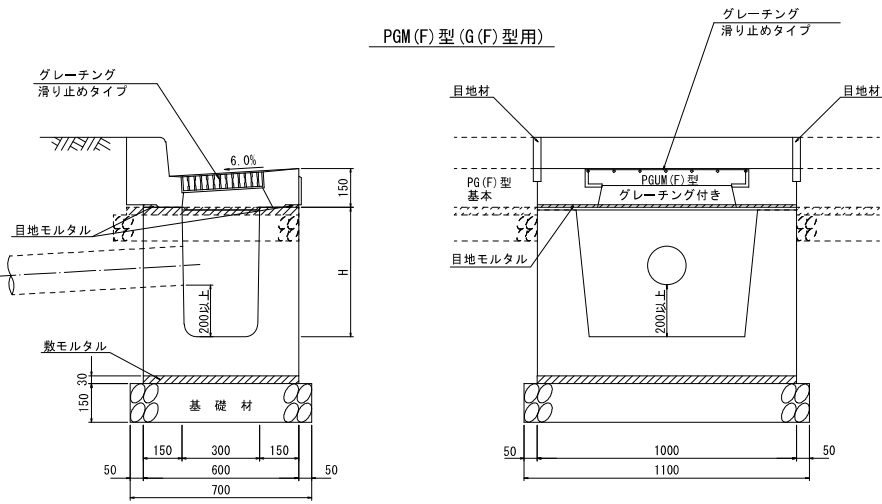


歩車道境界ブロック（乗り入れ部）N型



現場打街渠(3)	
記 号	NG型
図面番号	2-1(5)
兵 庫 県	

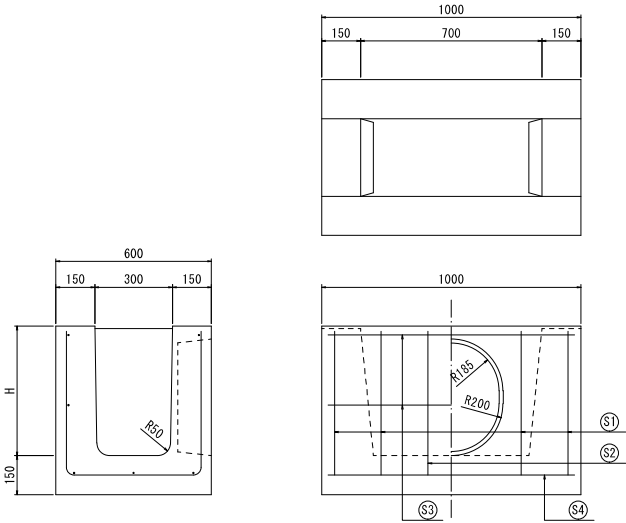
プレキャスト街渠樹



寸法表及び材料表

記 号	寸法表 (mm)	鉄 筋 表				質量 (参考) (kg/個)	材 料 表 (10箇所当たり)				摘 要
		径 × 本数					樹	モルタル	基 礎 材		
		(S1)	(S2)	(S3)	(S4)				(個)	(m ³)	
PGM (F) 50	500	D10 × 4	D10 × 2	D6 × 3	D6 × 3	680	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	
PGM (F) 60	600	D10 × 4	D10 × 2	D6 × 4	D6 × 3	795	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	
PGM (F) 70	700	D10 × 4	D10 × 2	D6 × 4	D6 × 3	910	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	
PGM (F) 80	800	D10 × 4	D10 × 2	D6 × 4	D6 × 3	1,135	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	

- 注1. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。
2. 乗り入れ部には原則として使用しない。
3. 横引管の管種、径、構造については、上載荷重や排水量等の条件により選定する。



- [適用範囲]
1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

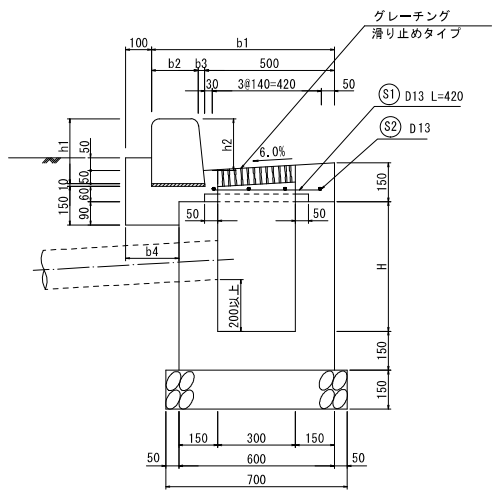
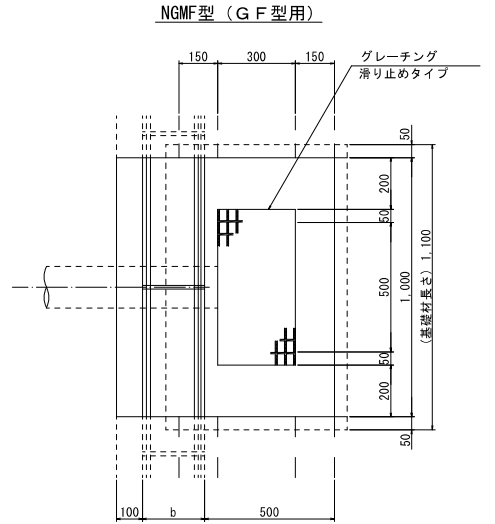
強度・応力度	側 溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ 圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

2. 鉄筋類

種 別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

プレキャスト街渠樹	
記 号	PGM(F)型
図面番号	2-1 (6)
兵 庫 県	

現場打街渠柵(1)

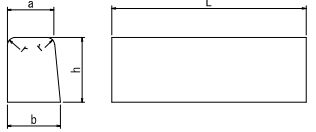


寸法及び材料表

記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10箇所当たり)											摘 要	
									街 渠 部					樹 部							
		H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	コンクリート δ ck=18N/mm ² (m ²)	コンクリート δ ck=24N/mm ² (m ²)	モルタル (m ²)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート δ ck=18N/mm ² (m ²)	型枠 (m ²)	基 礎 材			
																			材料(m ³)		型枠(m ²)
NGMF50A	A	500	200	150	665	150	15	165	0.42	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	2.85	33.8	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF60A	A	600	200	150	665	150	15	165	0.42	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	3.24	39.0	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF70A	A	700	200	150	665	150	15	165	0.42	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	3.63	44.2	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF50B	B	500	250	200	700	180	20	200	0.47	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	2.85	33.8	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF60B	B	600	250	200	700	180	20	200	0.47	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	3.24	39.0	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF70B	B	700	250	200	700	180	20	200	0.47	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	3.63	44.2	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF50C	C	500	300	250	705	180	25	205	0.48	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	2.85	33.8	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF60C	C	600	300	250	705	180	25	205	0.48	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	3.24	39.0	1.2(1.16)	(5.4)		
NGMF70C	C	700	300	250	705	180	25	205	0.48	0.44	0.02	4.7	11	25	16.5	3.63	44.2	1.2(1.16)	(5.4)		

- 注 1. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。
2. 乗り入れ部には原則として使用しない。
3. 横引管の管種、径、構造については、上載荷重や排水量等の条件により選定する。

駒止めブロック

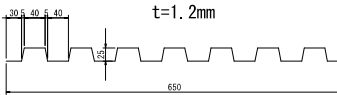


駒止めブロック寸法表

駒止め ブロック	寸 法 表 (単位mm)					1 個 当 た り 重 量 (kg)	摘 要
	a	b	h	r	L		
A 型	150	170	200	20	600	44	
B 型	180	205	250	30	600	66	
C 型	180	210	300	30	600	81	

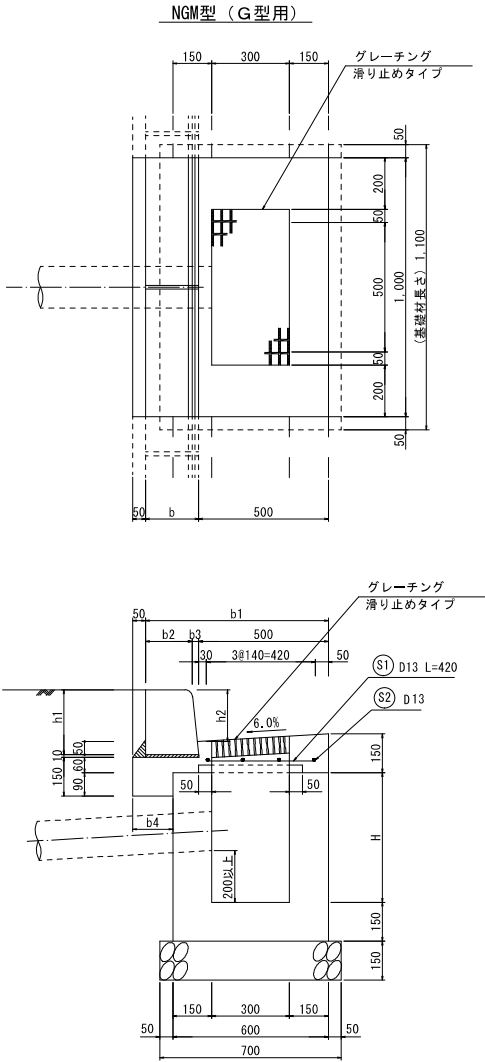
[現場打仕様]

- コンクリート 柵部 18-12-20BB
エプロン部 24-12-20BB
- 型枠 柵部 小型構造物
エプロン部 小型構造物
- 鉄筋 SD345
- グレーチング柵蓋 T-25
289×600×65
- デッキプレート (通称キーストンプレート) 13.60kg/m²
AKD12 (JIS G3352)



現場打街渠柵(1)	
記 号	NGMF型
図面番号	2-1(7)
兵 庫 県	

現場打街渠柵(2)

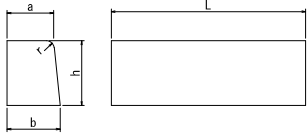


寸法及び材料表

記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10箇所当たり)												摘 要
									街 渠 部						構 部						
		H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	コンクリート δ ck=18N/mm ² (m ²)	コンクリート δ ck=24N/mm ² (m ²)	モルタル (m ²)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート δ ck=18N/mm ² (m ²)	型枠 (m ²)	基 礎 材			
																			材料(m ³)	型枠(m ²)	
NGM50A	A	500	200	150	665	150	15	115	0.23	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	2.85	33.8	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM60A	A	600	200	150	665	150	15	115	0.23	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	3.24	39.0	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM70A	A	700	200	150	665	150	15	115	0.23	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	3.63	44.2	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM50B	B	500	250	200	700	180	20	150	0.29	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	2.85	33.8	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM60B	B	600	250	200	700	180	20	150	0.29	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	3.24	39.0	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM70B	B	700	250	200	700	180	20	150	0.29	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	3.63	44.2	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM50C	C	500	300	250	705	180	25	155	0.29	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	2.85	33.8	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM60C	C	600	300	250	705	180	25	155	0.29	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	3.24	39.0	1.2(1.16)	(5.4)		
NGM70C	C	700	300	250	705	180	25	155	0.29	0.44	0.03	3.6	11	25	16.5	3.63	44.2	1.2(1.16)	(5.4)		

- 注 1. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。
2. 乗り入れ部には原則として使用しない。
3. 横引管の管種、径、構造については、上載荷重や排水量等の条件により選定する。

歩車道境界ブロック (J I S)

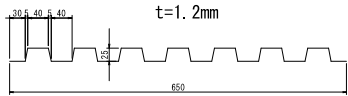


歩車道境界ブロック寸法表 (J I S 寸法表)

歩車道境界 ブロック	寸法表 (単位mm)						1個当たり 重量 (kg)	摘要
	a	b	h	r	L			
A型	150	170	200	20	600		44	歩車道境界 ブロック J I S A 5371
B型	180	205	250	30	600		66	
C型	180	210	300	30	600		81	

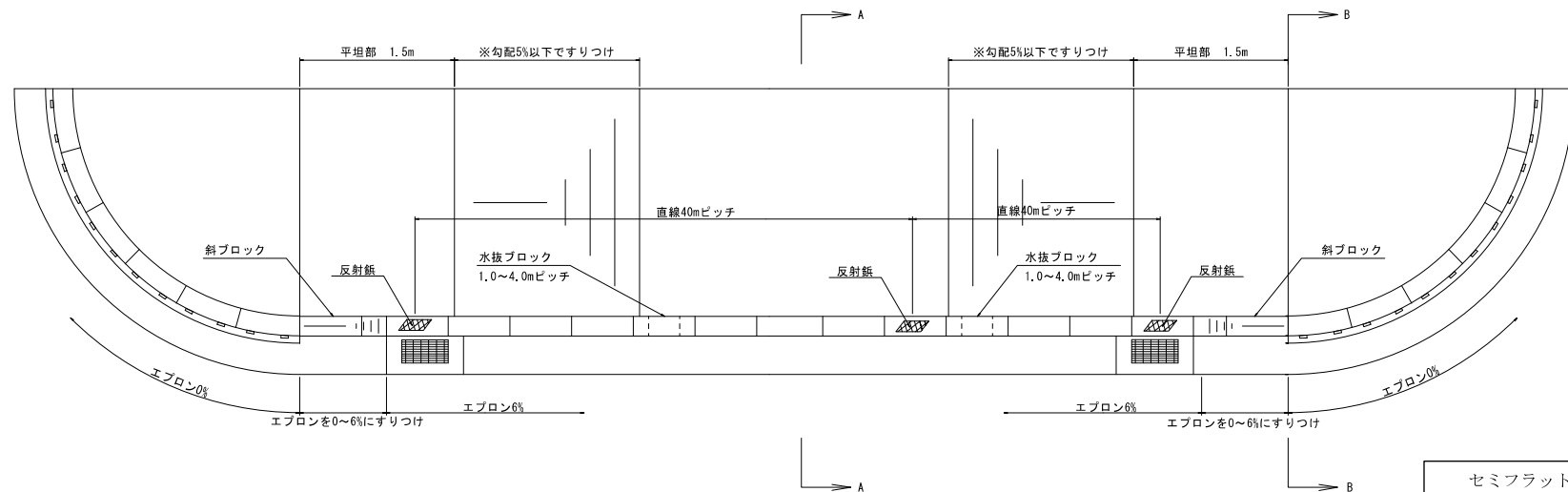
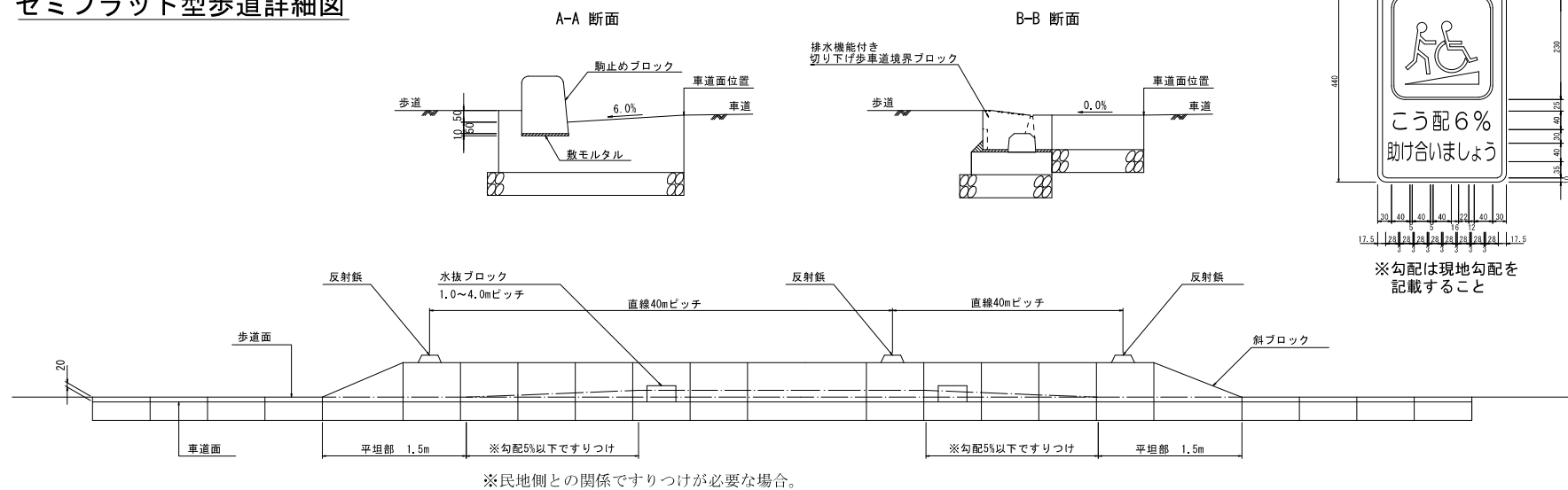
[現場打仕様]

- コンクリート 柵部 18-12-20BB
エプロン部 24-12-20BB
- 型枠 柵部 小型構造物
エプロン部 小型構造物
- 鉄筋 SD345
- グレーチング柵蓋T-25
289×600×65
- デッキプレート (通称キーストンプレート) 13.60kg/m²
AKD12 (J I S G3352)



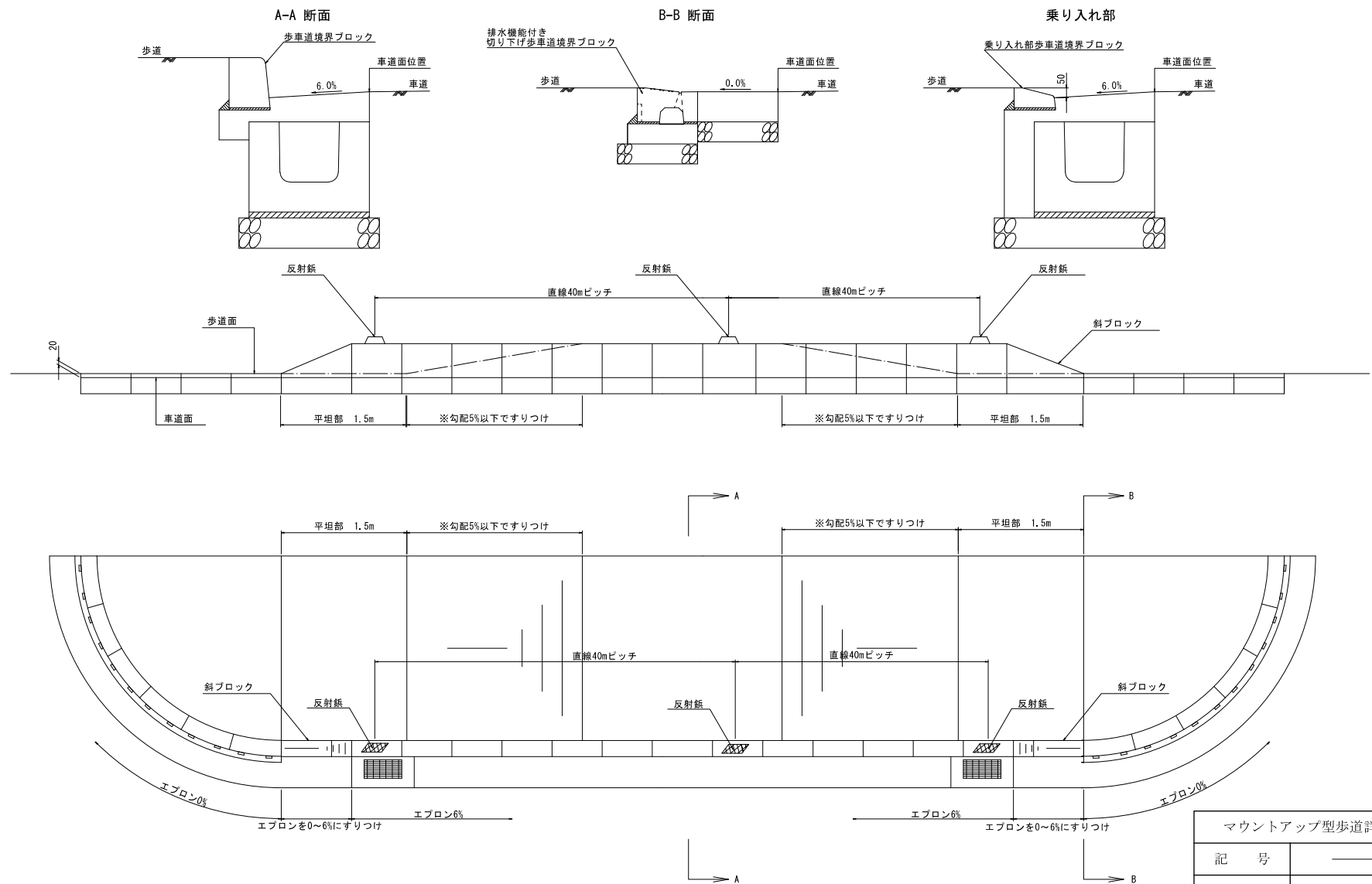
現場打街渠柵(2)	
記 号	NGM型
図面番号	2-1(8)
兵 庫 県	

セミフラット型歩道詳細図



セミフラット型歩道詳細図	
記 号	—
図面番号	2-1(9)
兵 庫 県	

マウントアップ型歩道詳細図

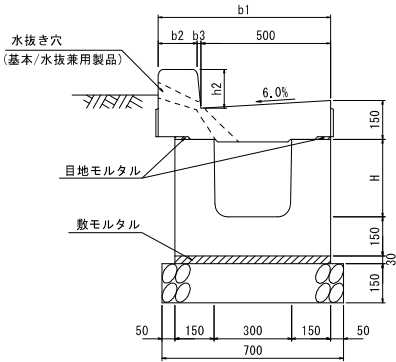


マウントアップ型歩道詳細図	
記 号	—
図面番号	2-1 (10)
兵 庫 県	

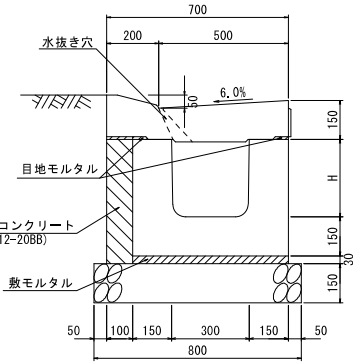
プレキャスト側溝付き街渠(1)

[スリット付き エブロン]

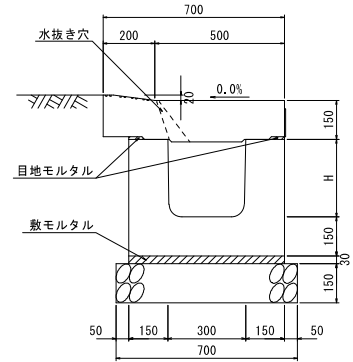
セミフラット型 (Rc-PGUF500型)



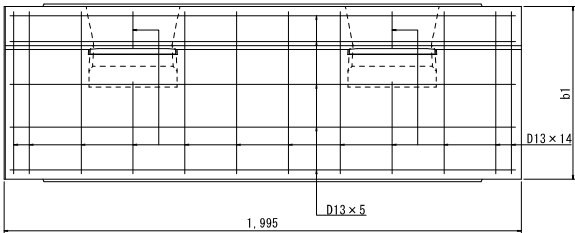
乗り入れ部 (Rc-PGU500N型)



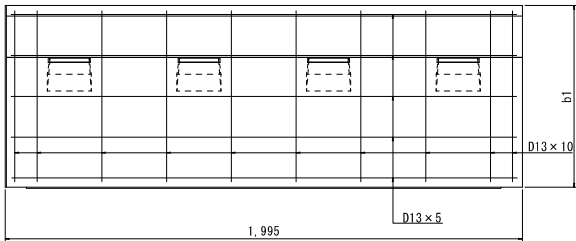
歩道切り下げ部 (Rc-PGU500K型)



Rc-PGUF500型 平面図



Rc-PGUN500N (K) 型 平面図



寸法表

街渠	各2次製品記号			寸法表 (mm)				
	街渠	側溝		H	h2	b1	b2	b3
Rc-PGUF530A	Rc-PGUFA	PU133		300	150	665	150	15
Rc-PGUF540A	Rc-PGUFA	PU134		400	150	665	150	15
Rc-PGUF550A	Rc-PGUFA	PU135		500	150	665	150	15
Rc-PGU530N	Rc-PGUN	PU133		300	—	—	—	—
Rc-PGU540N	Rc-PGUN	PU134		400	—	—	—	—
Rc-PGU550N	Rc-PGUN	PU135		500	—	—	—	—
Rc-PGU530K	Rc-PGUK	PU133		300	—	—	—	—
Rc-PGU540K	Rc-PGUK	PU134		400	—	—	—	—
Rc-PGU550K	Rc-PGUK	PU135		500	—	—	—	—

材料表

街渠 (本)	側溝 (本)	モルタル (m ³)	基礎材		備考
			材料 (m ²)	型枠 (m ²)	
5	2.5	0.18	1.1 (1.05)	(3.0)	乗り入れ部
			1.2 (1.20)		

注. 製品数量は標準長の場合。

補強コンクリート材料表

街渠	各2次製品記号			寸法表 (mm)		材料表	
	街渠	側溝		H		コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
Rc-PGU530N	Rc-PGUN	PU133		300		0.48	4.8
Rc-PGU540N	Rc-PGUN	PU134		400		0.58	5.8
Rc-PGU550N	Rc-PGUN	PU135		500		0.68	6.8

[適用範囲]

- セミフラット型街渠 Aタイプ、乗り入れ部及び歩道切り下げ部は、スリット付を標準とする。
- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。
- 図に示す水抜き穴の位置及び形状は参考とする。

[2次製品仕様]

- コンクリート強度

強度・応力度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

- 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

[現場打仕様]

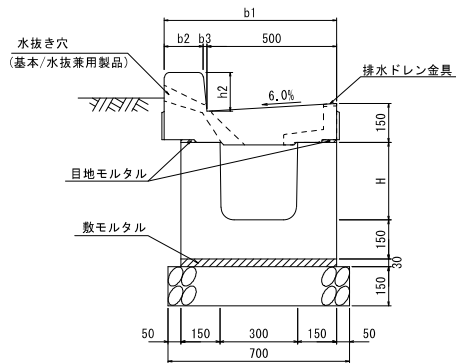
- コンクリート 18-12-20BB 小型構造物
- 型枠

プレキャスト側溝付き街渠(1)	
記号	Rc-PGU (F) 型
図面番号	2-2-1 (1)
兵庫県	

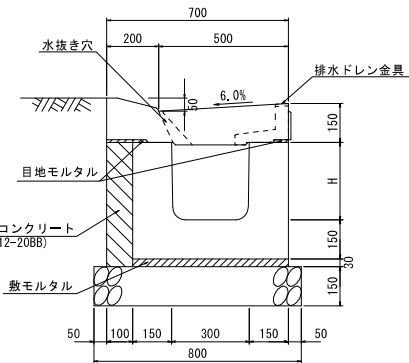
プレキャスト側溝付き街渠(2)

[スリット付き 排水ドレンエブロン(排水性舗装対応型エブロン)]

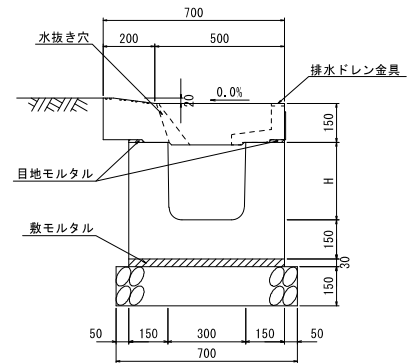
セミフラット型(Rc-PGUF500-HD型)



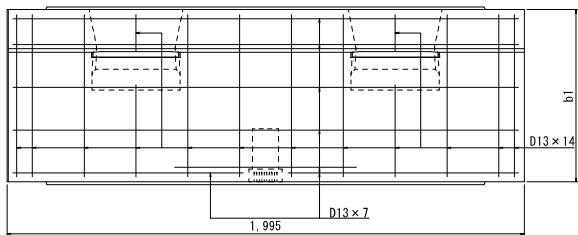
乗り入れ部(Rc-PGU500N-HD型)



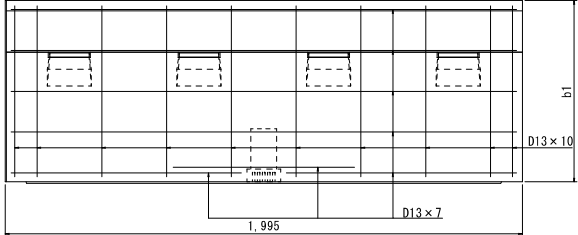
歩道切り下げ部(Rc-PGU500K-HD型)



Rc-PGUF500型 平面図



Rc-PGUN500N(K)型 平面図



寸法表

街渠	各2次製品記号			寸法表 (mm)				
	街渠	側溝		H	h2	b1	b2	b3
Rc-PGUF530A-HD	Rc-PGUFA-HD	PU133		300	150	665	150	15
Rc-PGUF540A-HD	Rc-PGUFA-HD	PU134		400	150	665	150	15
Rc-PGUF550A-HD	Rc-PGUFA-HD	PU135		500	150	665	150	15
Rc-PGU530N-HD	Rc-PGUN-HD	PU133		300	—	—	—	—
Rc-PGU540N-HD	Rc-PGUN-HD	PU134		400	—	—	—	—
Rc-PGU550N-HD	Rc-PGUN-HD	PU135		500	—	—	—	—
Rc-PGU530K-HD	Rc-PGUK-HD	PU133		300	—	—	—	—
Rc-PGU540K-HD	Rc-PGUK-HD	PU134		400	—	—	—	—
Rc-PGU550K-HD	Rc-PGUK-HD	PU135		500	—	—	—	—

材料表

街渠(本)	側溝(本)	モルタル(m ³)	基礎材		備考
			材料(m ³)	型枠(m ²)	
5	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	乗り入れ部
			1.2(1.20)		

注. 製品数量は標準長の場合。

補強コンクリート材料表

街渠	各2次製品記号			寸法表(mm)		材料表	
	街渠	側溝		H		コンクリート(m ³)	型枠(m ²)
Rc-PGU530N-HD	Rc-PGUN-HD	PU133		300		0.48	4.8
Rc-PGU540N-HD	Rc-PGUN-HD	PU134		400		0.58	5.8
Rc-PGU550N-HD	Rc-PGUN-HD	PU135		500		0.68	6.8

[適用範囲]

- セミフラット型街渠 Aタイプ、乗り入れ部及び歩道切り下げ部は、スリット付を標準とする。
- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。
- 図に示す水抜き穴・排水ドレン金具の位置及び形状は参考とする。

[2次製品仕様]

- コンクリート強度

強度・応力度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

- 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

[現場打仕様]

- コンクリート
- 型枠

18-12-20BB
小型構造物

プレキャスト側溝付き街渠(2)

記号 Rc-PGU(F)型

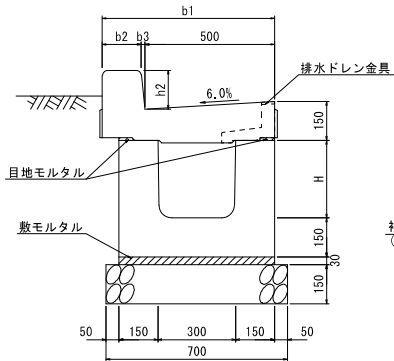
図面番号 2-2-1(2)

兵庫県

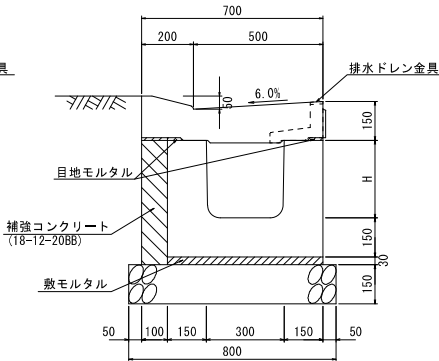
プレキャスト側溝付き街渠(3)

[排水ドレンエプロン(排水性舗装対応型エプロン)]

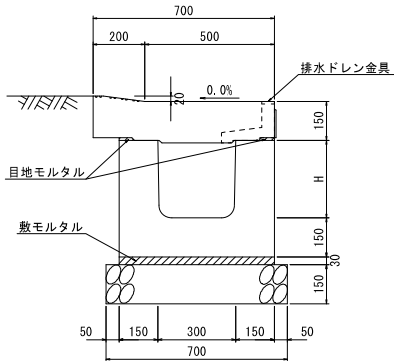
セミフラット型 (PGUF500-HD型)



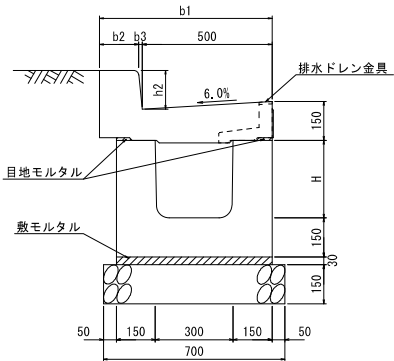
乗り入れ部 (PGUF500N-HD型)



歩道切り下げ部 (PGU500K-HD型)



マウントアップ型 (PGU500-HD型)



寸法表

各2次製品記号			寸法表 (mm)					
街渠	街渠	側溝	H	h2	b1	b2	b3	
PGU (F) 530A-HD	PGU (F) A-HD	PU133	300	150	665	150	15	
PGU (F) 540A-HD	PGU (F) A-HD	PU134	400	150	665	150	15	
PGU (F) 550A-HD	PGU (F) A-HD	PU135	500	150	665	150	15	
PGU (F) 530B-HD	PGU (F) B-HD	PU133	300	200	700	180	20	
PGU (F) 540B-HD	PGU (F) B-HD	PU134	400	200	700	180	20	
PGU (F) 550B-HD	PGU (F) B-HD	PU135	500	200	700	180	20	
PGU (F) 530C-HD	PGU (F) C-HD	PU133	300	250	705	180	25	
PGU (F) 540C-HD	PGU (F) C-HD	PU134	400	250	705	180	25	
PGU (F) 550C-HD	PGU (F) C-HD	PU135	500	250	705	180	25	
PGU530N-HD	PGUN-HD	PU133	300	—	—	—	—	
PGU540N-HD	PGUN-HD	PU134	400	—	—	—	—	
PGU550N-HD	PGUN-HD	PU135	500	—	—	—	—	
PGU530K-HD	PGUK-HD	PU133	300	—	—	—	—	
PGU540K-HD	PGUK-HD	PU134	400	—	—	—	—	
PGU550K-HD	PGUK-HD	PU135	500	—	—	—	—	

材料表

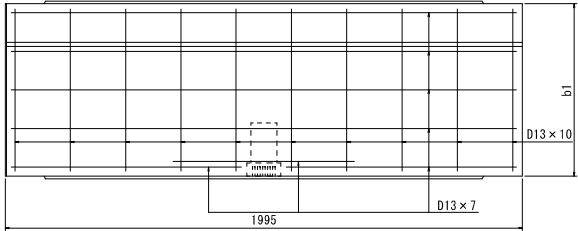
各2次製品記号			基礎材		備考
街渠(本)	側溝(本)	モルタル(m ²)	材料(m ²)	型枠(m ²)	
5	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	

注: 製品数量は標準長の場合。

補強コンクリート材料表

各2次製品記号			寸法表 (mm)		材料表	
街渠	街渠	側溝	H	コンクリート(m ²)	型枠(m ²)	
PGU530N-HD	PGUN-HD	PU133	300	0.48	4.8	
PGU540N-HD	PGUN-HD	PU134	400	0.58	5.8	
PGU550N-HD	PGUN-HD	PU135	500	0.68	6.8	

平面図



[適用範囲]

- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。
- 図に示す排水ドレン金具の位置及び形状は参考とする。

[2次製品仕様]

1. コンクリート強度

強度・応力度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

2. 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

[現場打仕様]

1. コンクリート

2. 型枠

18-12-20BB
小型構造物

プレキャスト側溝付き街渠(3)

記号 PGU (F) -HD型

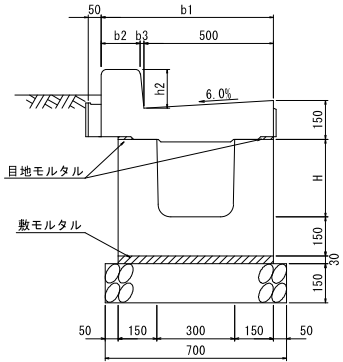
図面番号 2-2-1(3)

兵庫県

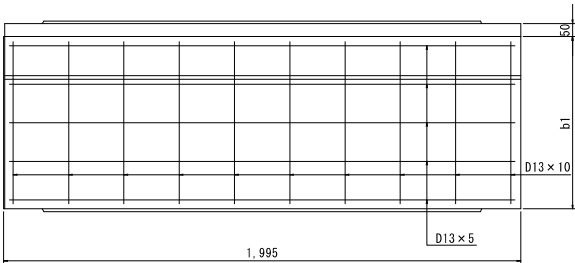
プレキャスト側溝付き街渠(4)

[草止めエブロン]

セミフラット型 (K-PGUF500型)



K-PGUF500型 平面図



寸 法 表

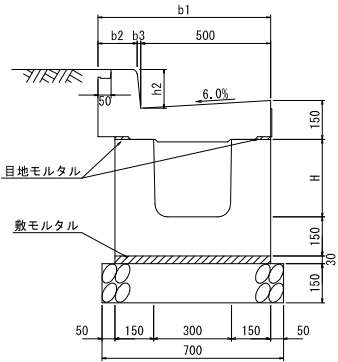
各2次製品記号		寸 法 表 (mm)					
街 渠	側 溝	H	h2	b1	b2	b3	
K-PGU (F) 530A	K-PGU (F) A	PU133	300	150	665	150	15
K-PGU (F) 540A	K-PGU (F) A	PU134	400	150	665	150	15
K-PGU (F) 550A	K-PGU (F) A	PU135	500	150	665	150	15
K-PGU (F) 530B	K-PGU (F) B	PU133	300	200	700	180	20
K-PGU (F) 540B	K-PGU (F) B	PU134	400	200	700	180	20
K-PGU (F) 550B	K-PGU (F) B	PU135	500	200	700	180	20

材 料 表

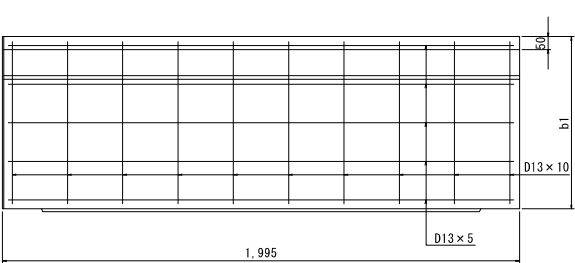
		(10m当たり)			
街渠(本)	側溝(本)	モルタル (m ³)	基 礎 材	備 考	
5	2.5	0.18	材料(m ³) 1.1(1.05)	型枠(m ²) (3.0)	

注. 製品数量は標準長の場合。

マウントアップ型 (K-PGU500型)



K-PGU500型 平面図



[適用範囲]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

1. コンクリート強度

強度・応力度	側 溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ 圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

2. 鉄筋類

種 別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

プレキャスト側溝付き街渠(4)

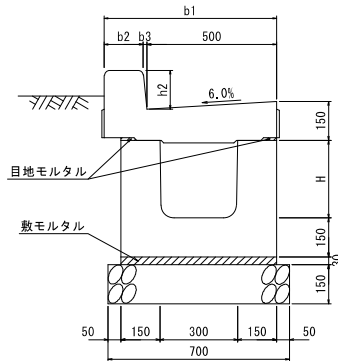
記 号 K-PGU (F) 型

図面番号 2-2-1 (4)

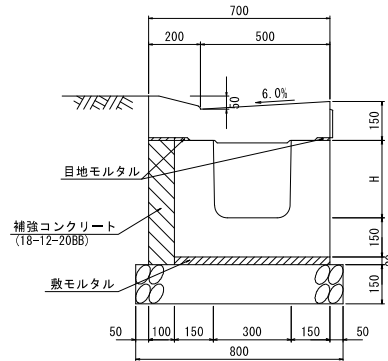
兵 庫 県

プレキャスト側溝付き街渠(5)

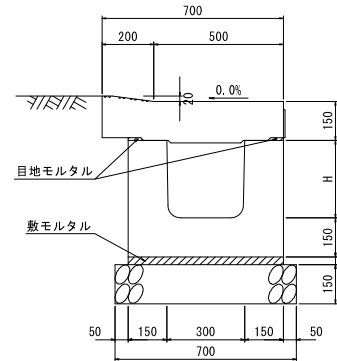
セミフラット型 (PGUF500型)



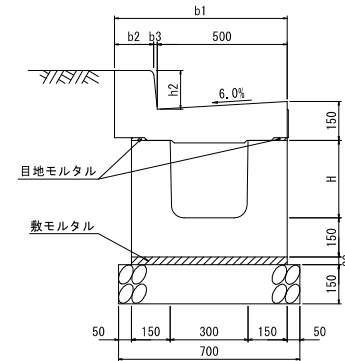
乗り入れ部 (PGU500N型)



歩道切り下げ部 (PGU500K型)



マウントアップ型 (PGU500型)



寸法表

街渠	各2次製品記号		寸法表 (mm)					
	街渠	側溝	H	h2	b1	b2	b3	
PGU(F)530A	PGU(F)A	PU133	300	150	665	150	15	
PGU(F)540A	PGU(F)A	PU134	400	150	665	150	15	
PGU(F)550A	PGU(F)A	PU135	500	150	665	150	15	
PGU(F)530B	PGU(F)B	PU133	300	200	700	180	20	
PGU(F)540B	PGU(F)B	PU134	400	200	700	180	20	
PGU(F)550B	PGU(F)B	PU135	500	200	700	180	20	
PGU(F)530C	PGU(F)C	PU133	300	250	705	180	25	
PGU(F)540C	PGU(F)C	PU134	400	250	705	180	25	
PGU(F)550C	PGU(F)C	PU135	500	250	705	180	25	
PGU530N	PGUNB	PU133	300	—	—	—	—	
PGU540N	PGUNB	PU134	400	—	—	—	—	
PGU550N	PGUNB	PU135	500	—	—	—	—	
PGU530K	PGUNK	PU133	300	—	—	—	—	
PGU540K	PGUNK	PU134	400	—	—	—	—	
PGU550K	PGUNK	PU135	500	—	—	—	—	

材料表

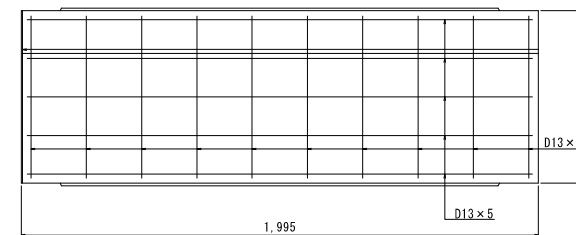
街渠(本)	側溝(本)	モルタル (m ³)	基礎材		備考
			材料(m ³)	型枠(m ²)	
5	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	乗り入れ部
			1.2(1.20)		

注. 製品数量は標準長の場合。

補強コンクリート材料表

街渠	各2次製品記号		寸法表(mm)		材料表	
	街渠	側溝	H	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	
PGU530N	PGUNB	PU133	300	0.48	4.8	
PGU540N	PGUNB	PU134	400	0.58	5.8	
PGU550N	PGUNB	PU135	500	0.68	6.8	

平面図



[適用範囲]

- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

- コンクリート強度

強度・応力度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

[現場打仕様]

- コンクリート 18-12-20BB 小型構造物
- 型枠

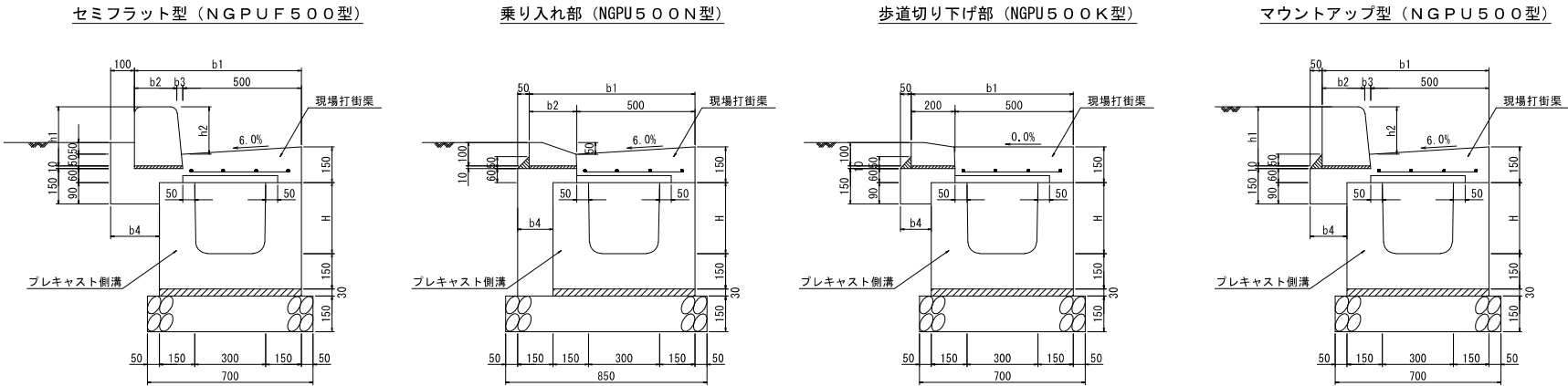
- 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

プレキャスト側溝付き街渠(5)	
記号	PGU(F)型
図面番号	2-2-1(5)
兵庫県	

プレキャスト側溝付き現場打街渠

[(側溝部) プレキャスト側溝 + (街渠部) 現場打街渠]

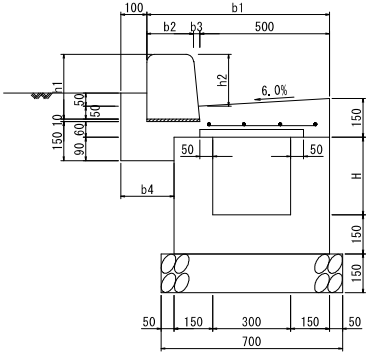


- 注 1. 側溝部はプレキャスト側溝付き街渠 (P52) を参照すること。
2. 街渠部は現場打側溝付き街渠 (P54, P55) を参照すること。

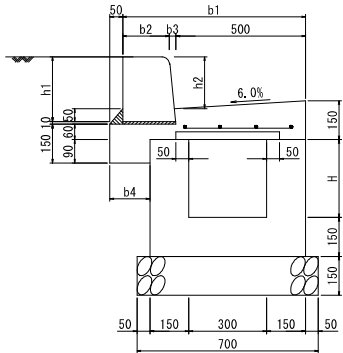
プレキャスト側溝付き現場打街渠	
記 号	NGPU (F) 型
図面番号	2-2-1 (6)
兵 庫 県	

現場打側溝付き街渠(1)

セミフラット型 (NGUF500型)



マウントアップ型 (NGU500型)

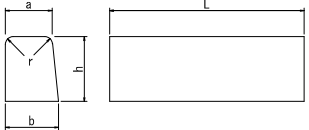


寸法及び材料表

記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10m当たり)										
									街 渠 部					側 溝 部					
		H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	コンクリート c/c=180mm ² (m ²)	コンクリート c/c=240mm ² (m ²)	モルタル (m ³)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート c/c=180mm ² (m ²)	型枠 (m ²)	基礎 材 材料(m ³)	型枠(m ²)
NGUF530A	A	300	200	150	665	150	15	165	0.42	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF540A	A	400	200	150	665	150	15	165	0.42	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF550A	A	500	200	150	665	150	15	165	0.42	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF530B	B	300	250	200	700	180	20	200	0.47	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF540B	B	400	250	200	700	180	20	200	0.47	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF550B	B	500	250	200	700	180	20	200	0.47	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF530C	C	300	300	250	705	180	25	205	0.48	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF540C	C	400	300	250	705	180	25	205	0.48	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGUF550C	C	500	300	250	705	180	25	205	0.48	0.68	0.02	4.7	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1(1.05)	(3.0)

注. 基礎材の () 内は均しコンクリートとしたときの数量。

駒止めブロック



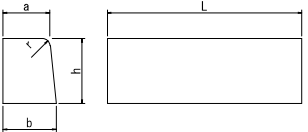
駒止めブロック寸法表

駒止めの ブロック	寸法表 (単位mm)					1個当たり 重量(kg)	摘要
	a	b	h	r	L		
A型	150	170	200	20	600	44	
B型	180	205	250	30	600	66	
C型	180	210	300	30	600	81	

寸法及び材料表

記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10m当たり)										
		H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	街 渠 部						側 溝 部				
									コンクリート φc/c=180mm ² (m ²)	コンクリート φc/c=240mm ² (m ²)	モルタル (m ³)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート φc/c=180mm ² (m ²)	型枠 (m ²)	基礎 材 材料(m ³)	型枠(m ²)
NGU530A	A	300	200	150	665	150	15	115	0.23	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU540A	A	400	200	150	665	150	15	115	0.23	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU550A	A	500	200	150	665	150	15	115	0.23	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU530B	B	300	250	200	700	180	20	150	0.29	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU540B	B	400	250	200	700	180	20	150	0.29	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU550B	B	500	250	200	700	180	20	150	0.29	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU530C	C	300	300	250	705	180	25	155	0.29	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU540C	C	400	300	250	705	180	25	155	0.29	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1(1.05)	(3.0)
NGU550C	C	500	300	250	705	180	25	155	0.29	0.68	0.03	3.6	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1(1.05)	(3.0)

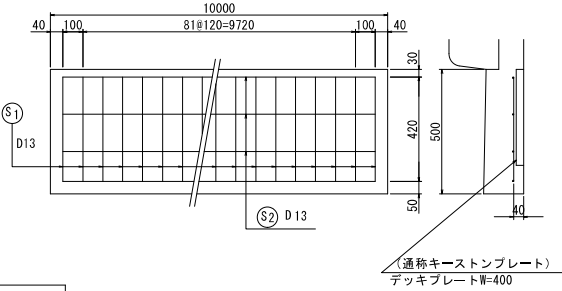
歩車道境界ブロック (JIS)



歩車道境界ブロック寸法表 (JIS寸法表)

歩車道境界 ブロック	寸法表 (単位mm)					1個当たり 重量(kg)	摘要
	a	b	h	r	L		
A型	150	170	200	20	600	44	歩車道境界 ブロック JIS A 5371
B型	180	205	250	30	600	66	
C型	180	210	300	30	600	81	
A型	150	150	100	20	600	21	切り下げ
B、C型	180	180	100	30	600	26	

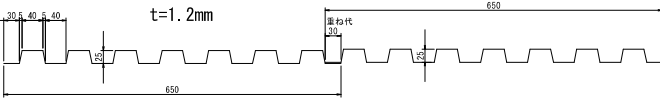
注. 街渠工はセミフラット型歩道を標準とする。ただし、バス停留所はマウントアップ型歩道とする。



	本数(10m当り)	長さ(mm)
鉄筋(S1)	84	420
鉄筋(S2)	4	9,920

[現場打仕様]

- コンクリート 側溝部 18-12-20BB
街渠部 24-12-20BB
(エプロン部のみ)
- 鉄筋 SD345
- 型枠 小型構造物
- デッキプレート (通称キーストンプレート)
13.60kg/m²
AKD12 (JISG3352)



[10m当たりの重ね箇所数]

10.00m ÷ 0.65m = 15.38箇所 ⇒ 16箇所

[10m当たりのデッキプレート面積・質量]

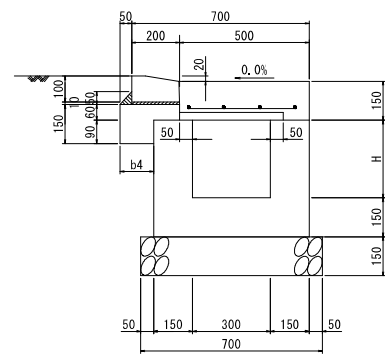
A=0.40m × 10.00m + 0.40m × 0.03m × 16箇所 = 4.19m²
W=4.19m² × 13.60kg/m² = 57.0kg

現場打側溝付き街渠(1)

記 号	NGU(F)型
図面番号	2-2-1(7)
	兵 庫 県

現場打側溝付き街渠(2)

歩道切り下げ部 (NGU500 K 型)

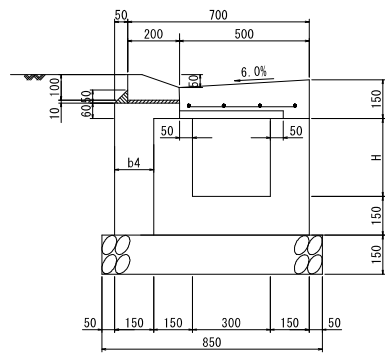


寸法及び材料表

記 号	寸 法 表 (単位mm)					材 料 表 (10m当たり)									
						街 渠 部					側 溝 部				
						コンクリート δ dk=18N/mm ² (m ²)	コンクリート δ dk=22N/mm ² (m ²)	モルタル (m ³)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート δ dk=18N/mm ² (m ²)	型枠 (m ²)	基礎 材 材料 (m ³) 型枠 (m ²)
NGU530K	300	-	-	-	150	0.29	0.75	0.03	3.6	57	75	16.5	1.80	18.0	1.1 (1.05) (3.0)
NGU540K	400	-	-	-	150	0.29	0.75	0.03	3.6	57	75	16.5	2.10	22.0	1.1 (1.05) (3.0)
NGU550K	500	-	-	-	150	0.29	0.75	0.03	3.6	57	75	16.5	2.40	26.0	1.1 (1.05) (3.0)

注. 基礎材の () 内は均しコンクリートとしたときの数量。

乗り入れ部 (NGU500 N 型)



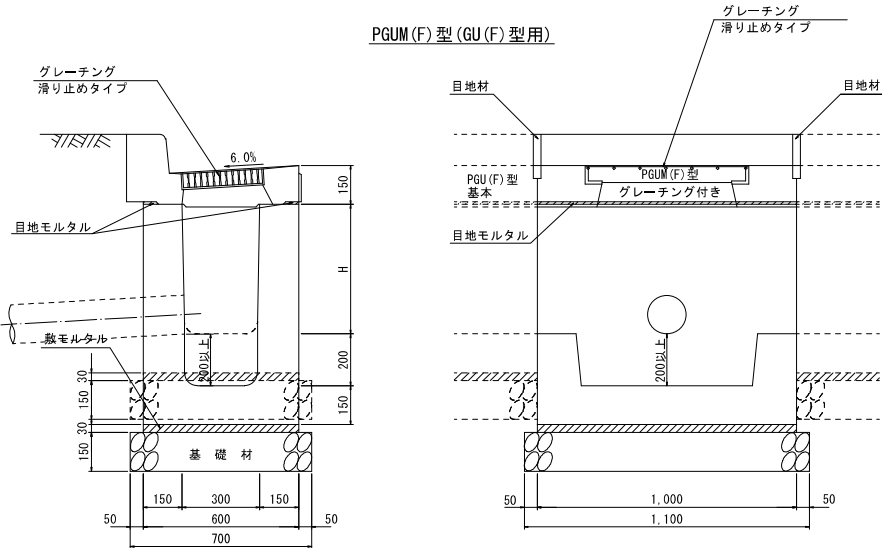
寸法及び材料表

記 号	寸 法 表 (単位mm)					材 料 表 (10m当たり)									
						街 渠 部					側 溝 部				
						コンクリート δ dk=18N/mm ² (m ²)	コンクリート δ dk=22N/mm ² (m ²)	モルタル (m ³)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート δ dk=18N/mm ² (m ²)	型枠 (m ²)	基礎 材 材料 (m ³) 型枠 (m ²)
NGU530N	300	-	-	-	150	0.83	0.68	0.03	7.2	57	75	16.5	1.80	18.0	1.3 (1.28) (3.0)
NGU540N	400	-	-	-	150	0.98	0.68	0.03	8.2	57	75	16.5	2.10	22.0	1.3 (1.28) (3.0)
NGU550N	500	-	-	-	150	1.13	0.68	0.03	9.2	57	75	16.5	2.40	26.0	1.3 (1.28) (3.0)

注. 基礎材の () 内は均しコンクリートとしたときの数量。

現場打側溝付き街渠(2)	
記 号	NGU型
図面番号	2-2-1 (8)
兵 庫 県	

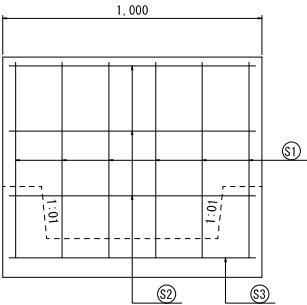
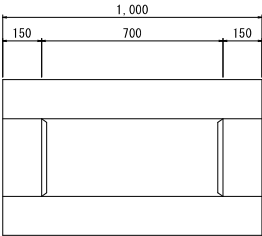
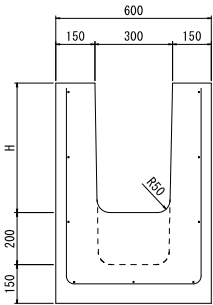
プレキャスト側溝付き街渠枳(1)



寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)	鉄 筋 表			質量 (参考) (kg/個)	材 料 表 (10箇所当たり)				摘 要	
		H	径×本数			枳 (個)	モルタル (m ³)	基 礎 材			
			①	②				③	材料 (m ³)		型枠 (m ²)
PGUM (F) 30	300	D10×6	D6×4	D6×3	625	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	PU133用	
PGUM (F) 40	400	D10×6	D6×4	D6×3	755	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	PU134用	
PGUM (F) 50	500	D10×6	D6×4	D6×3	860	10	0.18	1.2 (1.16)	(5.4)	PU135用	

注 1. 基礎の () 内は均しコンクリートとしたときの数量。
2. 乗り入れ部には原則として使用しない。



[適用範囲]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

1. コンクリート強度

強度・応力度	側 溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ 圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

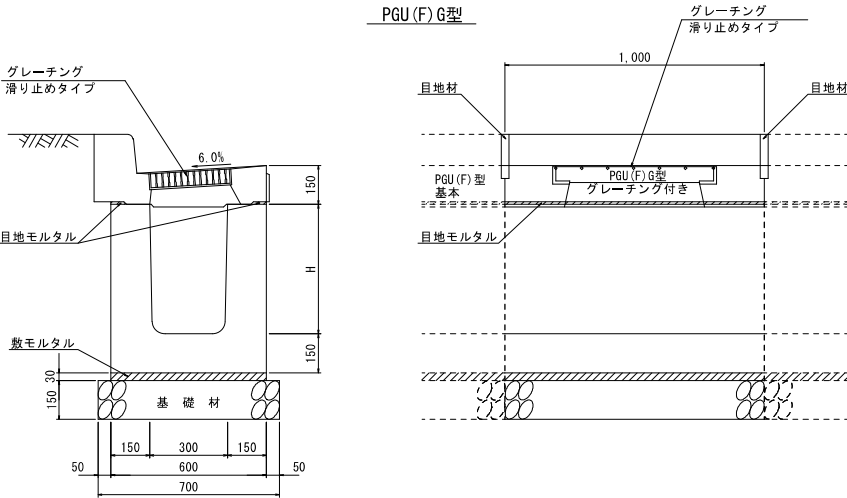
2. 鉄筋類

種 別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

プレキャスト側溝付き街渠枳(1)	
記 号	PGUM (F) 型
図面番号	2-2-1 (9)
兵 庫 県	

プレキャスト側溝付き街渠枳(2)

[呑み口用・泥溜め無し]



寸法表及び材料表

記号	寸法表(mm)	各2次製品記号		材 料 表 (10箇所当たり)					摘 要
				街渠(本)	側溝(本)	モルタル (m ³)	基 礎 材		
							材料(m ³)	型枠(m ²)	
PGU(F) 6530A	300	PGU(F) 6A	PU133	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU133用
PGU(F) 6540A	400	PGU(F) 6A	PU134	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU134用
PGU(F) 6550A	500	PGU(F) 6A	PU135	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU135用
PGU(F) 6530B	300	PGU(F) 6B	PU133	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU133用
PGU(F) 6540B	400	PGU(F) 6B	PU134	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU134用
PGU(F) 6550B	500	PGU(F) 6B	PU135	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU135用
PGU(F) 6530C	300	PGU(F) 6C	PU133	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU133用
PGU(F) 6540C	400	PGU(F) 6C	PU134	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU134用
PGU(F) 6550C	500	PGU(F) 6C	PU135	10	2.5	0.18	1.1(1.05)	(3.0)	PU135用

- 注 1. 基礎の()内は均しコンクリートとしたときの数量。
2. 乗り入れ部には原則として使用しない。
3. 側溝数量は標準長の場合。

[適用範囲]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

[2次製品仕様]

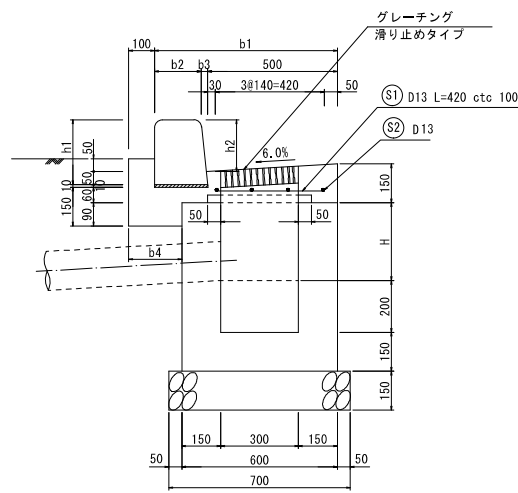
1. コンクリート強度

強度・応力度	側 溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ 圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

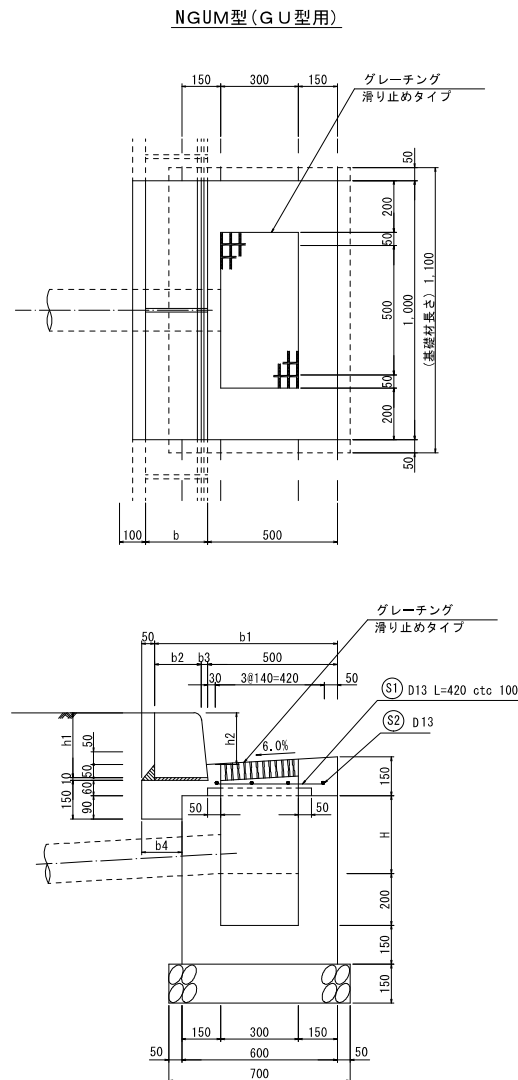
2. 鉄筋類

種 別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

プレキャスト側溝付き街渠枳(2)	
記 号	PGU(F)G型
図面番号	2-2-1(10)
兵 庫 県	



現場打側溝付き街渠柵(2)



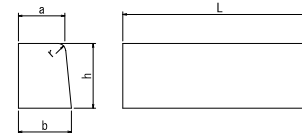
寸法及び材料表

記 号	ブロック 種類	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10箇所当たり)										
									街 渠 部						樹 部				
		H	h1	h2	b1	b2	b3	b4	コンクリート δok=18% (m ²)	コンクリート δok=24% (m ²)	モルタル (m ³)	型枠 (m ²)	デッキプレート (kg)	鉄 筋 (kg)	ブロック (個)	コンクリート δok=18% (m ²)	型枠 (m ²)	基 礎 材	
																			材料(m ²)
NGUM30A	A	300	200	150	665	150	15	115	0.23	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	2.58	33.8	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM40A	A	400	200	150	665	150	15	115	0.23	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	2.88	39.0	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM50A	A	500	200	150	665	150	15	115	0.23	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	3.18	44.2	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM30B	B	300	250	200	700	180	20	150	0.29	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	2.58	33.8	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM40B	B	400	250	200	700	180	20	150	0.29	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	2.88	39.0	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM50B	B	500	250	200	700	180	20	150	0.29	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	3.18	44.2	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM30C	C	300	300	250	705	180	25	155	0.29	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	2.58	33.8	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM40C	C	400	300	250	705	180	25	155	0.29	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	2.88	39.0	1.2(1.16)	(5.4)
NGUM50C	C	500	300	250	705	180	25	155	0.29	0.44	0.03	3.6	27	49	16.5	3.18	44.2	1.2(1.16)	(5.4)

注 1. 基礎材の () 内は均しコンクリートとしたときの数量。

2. 乗り入れ部に街渠柵は原則として使用しない。

歩車道境界ブロック (JIS)



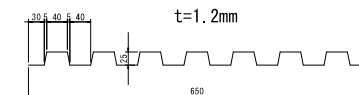
歩車道境界ブロック寸法表 (JIS寸法表)

歩車道境界 ブロック	寸法表 (単位mm)					1 個 当 ち 重 量 (kg)	摘 要
	a	b	h	r	L		

A 型	150	170	200	20	600	44	歩車道境界 ブロック JIS A 5371
B 型	180	205	250	30	600	66	
C 型	180	210	300	30	600	81	

[現場打仕様]

1. コンクリート 柵部 18-12-20BB
エプロン部 24-12-20BB
2. 型枠 柵部 小型構造物
エプロン部 小型構造物
3. 鉄筋 SD345
4. グレーチング柵蓋 T-25
289×600×65
5. デッキプレート (通称キーストンプレート) 13.60kg/m²
AKD12 (JIS G3352)



現場打側溝付き街渠柵(2)

記 号	NGUM型
図面番号	2-2-1(12)
兵 庫 県	